

飯田市議会要覧

平成 30 年 6 月

飯田市議会事務局

飯田市市民憲章

わたくしたちの飯田市は、美しい自然に恵まれ、長い歴史と尊い伝統文化に
つまれた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進してい
ます。

わたくしたちは、このまちの市民としての誇りをもち、明るく健康で豊かな
市民生活を築くために、全市民のねがいをこめてこの憲章をかかげ、たがいに
はげましあい、手をとりあって進みます。

わたくしたちは

- 1 自然を大切にし、美しい環境の飯田市をつくります。
- 2 心身をきたえ、健康で明るい飯田市をつくります。
- 3 伝統を生かし、文化の香り高い飯田市をつくります。
- 4 善意を広め、思いやりの心で幸せな飯田市をつくります。
- 5 楽しく働き、豊かな産業の飯田市をつくります。

(昭和52年7月5日 施行)

市章 ～市章の象形～
平仮名「い」を組み合わせ
「田」を形どり「いいだ」
を象形する。



目次

I	沿革	
1	沿革	1
2	人口と世帯の推移	3
3	飯田市自治基本条例	4
II	市議会の構成	
1	構成	10
2	議員名簿	12
3	正副議長及び各委員会委員名簿	13
4	監査委員及び南信州広域連合議会議員名簿	13
5	議会選出の各種委員等	14
6	各会派及び各会派の代表者氏名	16
III	市議会の活動	
1	市議会の活動状況	
	(1) 市議会招集回数 10 か年比較表	17
	(2) 議会開会状況	17
	(3) 議会審議状況	18
2	報酬・その他	19
3	定期刊行物	20
4	市議会会議録	20
5	議会事務局の事務分掌	21
IV	飯田市の概要	
1	平成 29 年度飯田市各会計及び一般会計当初予算の概要	22
2	飯田市行政組織機構図	30
3	職員の定数	32

【 資料編 】

V	市議会のあゆみ	
1	市議会議員選挙執行状況	33
2	歴代市議会議員	
(1)	歴代議長	34
(2)	歴代副議長	35
(3)	歴代総務常任委員会正副委員長	36
(4)	歴代社会文教常任委員会正副委員長	37
(5)	歴代産業建設常任委員会正副委員長	38
(6)	歴代建設環境常任委員会正副委員長	39
(7)	歴代議会運営委員会正副委員長	40
(8)	歴代監査委員（議会選出）	41
(9)	歴代事務局長	42
(10)	歴代市議会議員	43
3	1年間の記録	
(1)	付議事件及び議決結果一覧表	50
(2)	議会において執行した選挙・選任等	57
(3)	委員会活動開催状況	57
(4)	請願陳情	58
(5)	定例会の質問事項	60
(6)	本会議等傍聴状況	94
4	市議会のあゆみ（昭和46年から）	89
VI	参考資料	
1	都市宣言	104
2	市制提携に関する覚書	108
3	友好都市締結	108
4	飯田市の主要年表	109

I 沿革

1-1 飯田市の沿革

飯田市は、長野県の最南端に位置する伊那谷の中心都市である。諏訪湖に源を發し、伊那谷を南下して太平洋に注ぐ天竜川の全長のほぼ中央に位置し、東に南アルプス国立公園、西に中央アルプス県立公園をひかえ、豊かな自然、優れた景観及び四季に富んだ暮らしやすい温暖な気候に恵まれている。伊那盆地の河岸段丘に位置する市街地から南アルプスの山懐に抱かれる遠山郷までにわたる658.66平方キロメートルの市域に103,023人（平成29年4月1日現在）の人口を擁し、地域に根ざした特色ある文化や産業活動が幅広く展開されている。

現在の飯田市街は飯田城の城下町であり、街並みの様相から「小京都」と呼ばれてきたが、昭和22年4月に市街地の3分の2を焼失する大火に見舞われた。以後面目を改め、防火モデル都市、さらに近年は環境モデル都市として注目されている。

近世の太宰春台、近代の菱田春草、河竹繁俊、日夏耿之介等学芸の士の生誕地であり、りんご並木のまち、人形劇のまちとして親しまれ、名勝天龍峡があり、豪快な天竜川下りが楽しめるほか、遠山郷の霜月まつり、各地に伝わる獅子舞など、伝統文化が豊富な地である。

昭和12年4月1日に飯田町と上飯田町が合併して市制を施行、以来、15町村と合併し、今日の飯田市の市域を成している。



「伊那谷の夜明け」とまで言われ、多くの市民が期待していた中央自動車道西宮線は、昭和50年8月23日に中津川一駒ヶ根間が開通し、昭和57年11月10日に全線開通となり、飯田地方と中京圏、首都圏との経済、文化の交流が飛躍的に拡大した。

また、東海地域と飯田を結ぶ三遠南信自動車道においては、平成6年3月29日に矢筈トンネルが、平成20年4月13日には飯田山本IC一天龍峡IC間が開通し、その後も全線開通を目指しての建設が進行している。

さらに、2027年開業予定のリニア中央新幹線については、平成25年9月にルート及び長野県駅が飯田市上郷飯沼に設置される計画が公表された。三遠南信地域連携ビジョン等ともあいまって、激的に近くなる首都圏と中京圏との連結地域として本市の果たす役割が期待される。

1-2 市議会の沿革

飯田市議会は、昭和31年に1市7か村を廃し、その区域をもって市制を施行したことに伴い、旧市村の議員が引き続き市議会議員（総員149人）として在任、同年10月8日に臨時会が開かれ、初代議長に代田源六郎氏、初代副議長に伊藤清氏が選出された。

市議会議員の定数は、昭和32年3月12日の定例会において「飯田市議会議員の選挙区及び各選挙区における議員の数に関する条例」（小選挙区制）を可決、以後、議員定数の見直しと合併による増員などの変遷を経てきた。

平成19年5月、新しい時代にふさわしい地方議会の在り方を模索する中で、市民にとってわかりやすく開かれた議会を目指し「議会改革検討委員会」を設置した。委員会では、「議員の在り方の変革を目指して」ほか5項目を議論する中、平成21年4月19日執行の議員選挙から定数を29人から23人に削減し、常任委員会の所属についても複数所属とし、一人の議員が二つの常任委員会に所属することとした。平成25年4月21日執行の議員選挙後は委員会活動をさらに充実させるため、議員は一つの常任委員会に所属することとした。

飯田市議会の近年の取組として最も注目されるのは、「飯田市自治基本条例」の制定である（平成19年4月施行）。その端緒は、平成15年5月、政策立案型議会への転換を目指した議会議案検討委員会の設置にある。翌16年5月20日には、市民を委員として「わがまちの“憲法”を考える市民会議」が発足、同会議は条例の制定に向けた研究を行い、同年12月28日にその成果を最終答申書にまとめ、議長に提出した。市議会は翌17年5月に自治基本条例特別委員会を設置し、2度にわたる地区懇談会及び議会によるパブリックコメントの実施を経た後、自治基本条例の案を平成18年9月21日に議会議案として提案し、全会一致で可決した。

この条例の制定を契機に、平成20年度から「議会による行政評価」がスタートし、開かれた議会を実現するための「議会活動報告会」も同年度から開催され、「議会報告会」と名称変更して継続している。平成23年1月から、条例中の「議会の役割」について議会による検証が開始され、平成24年3月には、これまでの検討を踏まえ「議会改革・運営ビジョン」を取りまとめ、常設の機関として「議会改革推進会議」を設置した。議会改革推進会議では、1年をかけ課題として整理した29項目すべてを検討し、平成25年3月に「議会改革・運営ビジョン実現に向けた取組み（まとめ）」として取りまとめた。

その後、平成25年4月には議会報告会を含む広報広聴活動を充実させるため、「広報広聴委員会」を設置している。



人形劇フェスタのイメージキャラクター「ぼお」です。太り気味の妖精でリンゴ並木に住んでいるそうです。

2 人口と世帯の推移

(単位：世帯・人・km²)

年 月	世帯数	人口	男	女	面積
昭和31. 9	14,627	69,235			199.78
昭和36. 3	16,018	69,538			206.07
昭和39. 3	19,179	79,541			293.03
昭和54. 4	20,870	77,860	36,794	41,066	〃
昭和59. 4	21,872	78,665	37,331	41,334	〃
昭和60. 4	26,458	92,132	43,776	48,356	299.23
昭和61. 4	26,469	92,096	43,709	48,387	〃
昭和62. 4	26,573	92,179	43,783	48,396	〃
昭和63. 4	26,709	92,050	43,810	48,240	〃
平成 1. 4	26,824	91,846	43,778	48,068	〃
平成 2. 4	27,033	91,806	43,721	48,085	298.90
平成 3. 4	27,277	91,723	43,739	47,984	〃
平成 4. 4	27,467	91,612	43,695	47,917	〃
平成 5. 4	27,732	91,684	43,819	47,865	〃
平成 6. 4	32,507	106,104	50,754	55,350	325.35
平成 7. 4	32,829	106,233	50,841	55,392	〃
平成 8. 4	33,183	106,472	50,991	55,481	〃
平成 9. 4	33,577	106,495	50,971	55,524	〃
平成10. 4	33,975	106,695	51,142	55,553	〃
平成11. 4	34,233	106,464	51,093	55,371	〃
平成12. 4	34,519	106,479	51,135	55,344	〃
平成13. 4	34,870	106,456	51,093	55,363	〃
平成14. 4	35,056	106,161	50,947	55,214	〃
平成15. 4	35,382	106,078	50,893	55,185	〃
平成16. 4	35,656	105,846	50,728	55,118	〃
平成17. 4	35,807	105,411	50,511	54,900	〃
平成18. 4	37,190	107,593	51,640	55,953	658.76
平成19. 4	37,395	106,993	51,253	55,740	〃
平成20. 4	37,787	106,770	51,138	55,632	〃
平成21. 4	37,682	105,867	50,693	55,174	〃
平成22. 4	37,801	105,372	50,407	54,965	658.73
平成23. 4	37,886	104,771	50,146	54,625	〃
平成24. 4	38,087	104,291	49,931	54,360	〃
平成25. 4	39,040	105,750	50,445	55,305	〃
平成26. 4	39,108	104,954	50,076	54,878	〃
平成27. 4	39,358	104,284	49,884	54,400	658.66
平成28. 4	39,656	103,712	49,623	54,089	〃
平成29. 4	39,711	103,023	49,343	53,680	〃
平成30. 4	39,735	102,012	48,859	53,153	〃

※平成25.4以後は住民基本台帳法の改正により外国人を含む数字

特記事項

- ・昭和31年 9月 : 飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村及び下久堅村の1市7か村を合併
- ・昭和36年 3月 : 川路村を編入合併
- ・昭和39年 3月 : 上久堅村、千代村及び龍江村を編入合併
- ・昭和59年12月 : 鼎町を編入合併
- ・平成 5年 7月 : 上郷町を編入合併
- ・平成17年10月 : 上村及び南信濃村を編入合併
- ・平成22年 2月 : 天龍村との境界を修正
- ・平成26年10月 : 国土地理院が、計測方法を変更したことによる面積の修正

飯田市自治基本条例

平成18年9月21日条例第40号

一部改正：平成23年11月30日条例第25号

一部改正：平成25年3月25日条例第2号

目次

前文

第1章 総則(第1条—第3条)

第2章 自治の基本原則(第4条—第7条)

第3章 市民等の役割(第8条—第10条)

第4章 地域自治(第11条—第15条)

第5章 市政運営(第16条—第21条)

第6章 市議会の役割(第22条—第27条)

第7章 市の執行機関の役割(第28条—第34条)

第8章 住民投票(第35条)

第9章 条例の見直し(第36条)

附則

わたくしたちの住む飯田市は、美しい自然に恵まれ、地域の風土に根付いた伝統や文化に支えられた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、これまで互いに助け合い協力し、特色のある地域活動やまちづくりを実践してきました。

わたくしたちは、分権型社会や少子高齢社会の到来により、社会構造が大きく変化する中で、まちづくりに進んで参加する「ムトス」の精神を、次の時代へ確実に引き継がなくてはなりません。

わたくしたちは、飯田市市民憲章にうたわれた市民としての心構えと理念を尊重し、協働して、市民が主体の住みよいまちづくりを推進するため、ここに、新たな自治の仕組みを定める飯田市自治基本条例を制定します。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、本市の自治の基本的な原則及びまちづくりに関する市民、市議会及び市の執行機関の役割を明らかにするとともに、市政運営についての基本的な指針を定めることにより、市民が主体のまちづくりを協働して推進することを目的とします。

(条例の位置付け)

第2条 この条例は、自治及び市政に関する基本的な原則を定めた最高規範であり、市民及び市は、この条例を誠実に遵守するものとします。

2 市は、条例、規則等を解釈し、又は制定、改廃する場合には、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

3 市は、基本構想等の計画の策定、政策の立案及び実施に当たっては、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

(用語の定義)

第3条 この条例において使用する用語の意義は、次のとおりとします。

- (1) 市民 市内に住所を有する人(以下「住民」といいます。)、市内で働き、若しくは学ぶ人又は市内において活動する人若しくは団体をいいます。
- (2) 市民組織 市民により自主的に形成され、まちづくりのために、互いに協力し多様な活動を行う組織をいいます。
- (3) 事業者 市内で、事業を営む個人及び法人その他の団体をいいます。
- (4) 市 市議会及び市の執行機関で構成する地方公共団体をいいます。
- (5) 市の執行機関 市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいいます。
- (6) まちづくり 「ムトス」の言葉に象徴される、まちを活気のある明るく住みよくするための事業や活動を総称します。
- (7) 自治 市民が市政に参加し、その意思と責任に基づき市政が行われることのほか、地域の公共的活動を自ら担い、主体的にまちづくりを推進することをいいます。
- (8) 協働 まちづくりのために、市民と市とが情報を共有し、それぞれの役割を担いながら対等の立場で協力し、共に考え行動することをいいます。
- (9) 基本構想 本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本となる考え方をいいます。

第2章 自治の基本原則

(自治の基本原則)

第4条 市民と市とは、この章に掲げる自治の原則に基づき、協働して自治を推進するものとします。

(市民主体の原則)

第5条 まちづくりは、市民一人ひとりが主体となり、市民相互及び市と協調することにより推進します。

2 市民は、地域社会の一員として尊重され、その個性や能力を十分発揮することができます。

(情報共有の原則)

第6条 まちづくりは、市政についての情報が市民に公開され、市民が市政について意見を提出し、その情報や意見を市民と市とが共有することにより推進します。

(参加協働の原則)

第7条 まちづくりは、市民に市政への多様な参加の場と機会とが保障され、市民と市とが適切に役割分担し、協働することにより推進します。

第3章 市民等の役割

(市民の権利)

第8条 市民は、まちづくりの主体として、まちづくりに参加する権利を有します。

2 市民は、市政に関する計画や政策の立案段階から参加する権利を有し、意見を述べるすることができます。

- 3 市民は、市政についての情報を知る権利を有し、市に対し市が保有する情報の公開を求めることができます。

(市民の役割)

第9条 市民は、まちづくりの主体として、市と協働し、地域社会の発展に寄与するよう努めます。

- 2 市民は、互いの活動を尊重し、自らの発言と行動に責任を持つものとします。

(事業者の役割)

第10条 事業者は、地域社会の一員として、地域社会との調和を図るとともに、従業員の行う地域活動にも配慮し、まちづくりに寄与するものとします。

第4章 地域自治

(市民組織の尊重)

第11条 市は、市民組織の自主性及び自立性を尊重し、市民組織が活動するために必要な支援を行います。

- 2 市民は、市民組織がまちづくり推進の主要な担い手であることを認識し、市民組織を尊重し、守り育てるものとします。

(地域自治の推進)

第12条 市は、地域の特性と自主性が活かされた、個性豊かで魅力ある地域のまちづくりを推進するため、自治の基本原則に基づき、分権によるまちづくりの仕組みを目指します。

(地域自治区)

第13条 市は、市民に身近な事務事業を市民の意見を反映させて処理するとともに、地域の自治を促進するため、法律に基づく地域自治区を設けます。

- 2 地域自治区に置かれる地域協議会は、地域の住民により構成され、地域の意見を調整し、協働によるまちづくりを推進します。

(まちづくりのための委員会等)

第14条 市は、市民組織が地域のまちづくりに取り組むため組織する委員会等の自主的及び自立的な運営を尊重します。

(自治活動組織)

第15条 市民は、地域社会の一員として、自治活動組織(地域市民により形成され、まちづくりに取り組む市民組織をいいます。)の役割について理解を深め、協力するとともに、自治活動組織への加入に努めます。

- 2 市民は、可能な範囲内で、自治活動組織の活動に参加し、地域社会において個性や意欲を発揮することができるものとします。
- 3 自治活動組織は、地域市民の加入や参加が促進されるために必要な環境づくりに努めます。

第5章 市政運営

(協働して行う市政運営)

第16条 市は、市政に関する計画や政策の立案段階から市民の参加を促進し、市民と協働して市政運営を行います。

2 市は、市民の多様な参加の機会を整備し、協働のまちづくりを推進し、自治の拡充を図ります。

(市民意見の公募)

第17条 市は、別に定めるところにより、重要な計画及び政策の策定又は変更について事前に案を公表し、市民の意見を求めます。

2 市は、市民から提出された意見を尊重し、意見についての考え方を公表します。

(附属機関の委員の任命)

第18条 市の執行機関は、特定事項について審議又は調査等を行う附属機関に、市民の多様な意見が反映されるように委員を任命します。

(情報の公開)

第19条 市は、公正で開かれた市政の実現を図るため、市政についての情報の公開に関する総合的な施策に基づき、積極的に情報を公開します。

2 市は、市民の必要とする情報について、適切かつ速やかな提供に努めます。

(個人情報の保護)

第20条 市は、市民の個人情報に関する権利を保障するとともに、個人情報を適正に管理します。

(基本構想等)

第21条 市は、まちづくりの理念に基づき、市議会の議決を経て基本構想を定め、総合的かつ計画的な市政運営に努めます。

2 市は、基本構想、基本計画その他市の施策の基本となる計画を策定するに当たっては、市民参加の機会を保障します。

第6章 市議会の役割

(市議会の責務)

第22条 市議会は、市民の代表機関として、市という団体の意思決定機関であり、法律若しくはこれに基づく政令又は条例の定めるところにより議決の権限を行使し、市民の意思が的確に反映されるよう活動します。

2 市議会は、市の執行機関の活動を監視、評価することにより、適正な行政運営の確保に努めます。

3 市議会は、政策の立案、提言の内容の充実を図るための調査研究活動に努めます。

4 市議会は、合議体として論点、課題等について議論を深めるため、議員相互間の自由な討議を重んじて活動します。

(開かれた議会運営)

第23条 市議会は、市議会が保有する情報を公開するとともに、会議及び委員会等を公開し、並びに議会活動について市民に説明することにより、市民との情報の共有に努めます。

- 2 市議会は、市民の意見を聞くため議会活動への市民参加を推進し、市民に開かれた議会運営に努めます。
- 3 市議会は、議会報告会の開催等を通じ、前2項に規定することの実現に努めます。

(市議会議長の責務)

- 第24条 市議会議長は、市議会を代表し、公正中立に職務を遂行するとともに、円滑かつ効率的な議会運営を図るよう努めます。
- 2 市議会議長は、市議会に関する事務を統一的に処理するため、議会事務局の職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

(市議会議員の責務)

- 第25条 市議会議員は、市民の意向把握や情報収集に努め、市民全体の利益を優先して政策提言を行います。
- 2 市議会議員は、政治倫理の確立に努め、公正かつ誠実に責務を遂行し、市民の負託にこたえます。
 - 3 市議会議員は、市議会の役割及び責務を自覚し、その誠実な遂行のため自己研鑽に努めます。

(政策の調査、審議のための機関)

- 第26条 市議会は、政策の調査、立案のために必要な専門的事項に係る調査、審議を、学識経験を有する者等に求めることができます。
- 2 市議会は、前項の学識経験を有する者等の指定に当たっては、市民の多様な意見が反映されるようにします。

(市議会事務局職員の責務)

- 第27条 市議会事務局職員は、市議会の持つ権能が十分発揮されるよう、全力をあげて市議会の活動を補佐します。
- 2 市議会事務局職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

第7章 市の執行機関の役割

(市長の責務)

- 第28条 市長は、市の代表者として公正かつ誠実に市政を運営します。
- 2 市長は、自治の基本原則に基づき、市の計画及び政策の策定、実施、評価等を行います。

(市の執行機関の責務)

- 第29条 市の執行機関は、条例、予算その他の議会の議決に基づく事務及び法令、規則その他の規程に基づく事務を適正に管理、執行します。

(市の執行機関の組織運営)

- 第30条 市の執行機関は、行政組織について効率的かつ機能的なものとするとともに、相互の連携を図り、最小の経費で最大の行政効果を上げるよう運営します。
- 2 市の執行機関は、職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

(説明責任)

第31条 市の執行機関は、行政運営の透明性を高めるため、市政について、市民に分かりやすく説明する責任を果たします。

2 市長その他の執行機関は、市議会に対して、市政に関する意思決定の過程及び行政運営の状況を随時報告するものとします。

(行政評価)

第32条 市の執行機関は、市の施策や事務事業の執行状況を、基本構想等に基づき検証し、継続的な見直しを行い、効果的に執行します。

2 市の執行機関は、施策や事務事業の達成状況を公表し、市民から理解を得られる行政運営を進めます。

(財政状況の公表)

第33条 市長は、市の財源の確保とその効率的かつ効果的な運用により、財政の健全性に努めます。

2 市長は、財政状況を市民にわかりやすく公表するように努めます。

(市の執行機関の職員の責務)

第34条 市の執行機関の職員は、全体の奉仕者として、公平、公正かつ誠実に、全力をあげて職務を遂行します。

2 市の執行機関の職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

第8章 住民投票

(住民投票)

第35条 市は、市政の特に重要な事項について、直接住民の意思を確認する必要があるときは、市議会の議決を経て住民投票を実施することができます。

2 市は、住民投票の結果を尊重します。

3 住民投票の実施に関し必要な事項は、その都度条例で定めます。

第9章 条例の見直し

(条例の見直し)

第36条 市は、社会の変化に対応して、本条例が第1条の目的を達成するために必要があるときは、条例の見直しを行います。

附 則

この条例は、平成19年4月1日から施行します。

附 則(平成23年11月30日条例第25号)

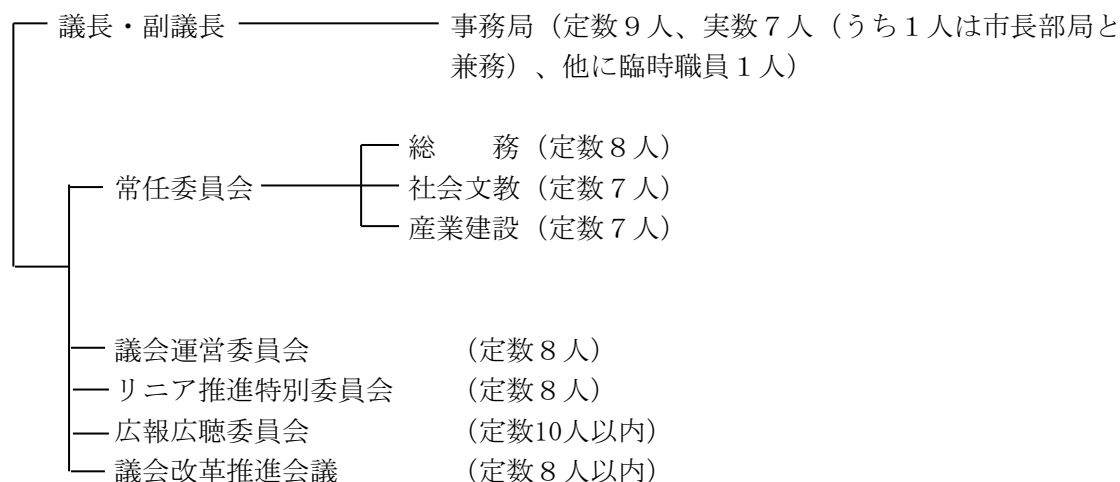
この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年3月25日条例第2号)

この条例は、公布の日から施行する。

II 市議会の構成（平成30年5月31日現在）

1 構成



※平成25年4月28日から3常任委員会単独所属体制

(1) 常任委員会

ア 所管事項

- (ア) 総務委員会：総務部、総合政策部、市民協働環境部、市長公室、危機管理室、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項
- (イ) 社会文教委員会：健康福祉部及び教育委員会の所管に属する事項並びに病院事業に関する事項
- (ウ) 産業建設委員会：リニア推進部、産業経済部、建設部、上下水道局、水道局及び農業委員会の所管に属する事項

イ 任期 2年

(2) 議会運営委員会

ア 所管事項

- (ア) 議会の運営に関する事項
- (イ) 議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
- (ウ) 議長の諮問に関する事項

イ 任期 2年

(3) リニア推進特別委員会

ア 所管事項

リニア中央新幹線の推進に関する諸課題の研究調査に関する事項

イ 任期 2年

(4) 広報広聴委員会（協議又は調整を行うための場）

ア 所管事項

- (ア) 議会広報紙の編集及び発行に関する事項
- (イ) 議会ホームページの管理運営に関する事項
- (ウ) インターネットを利用した会議公開に関する事項

- (エ) 会議傍聴の推進に関する事項
 - (オ) 市民への講座等の開催に関する事項
 - (カ) 議会報告会の企画運営及び市民意見の取扱いに関する事項
 - (キ) その他議会の広報に関する事項
- イ 任期 2年

(5) 議会改革推進会議（協議又は調整を行うための場）

ア 所管事項

- (ア) 飯田市議会の改革に関する調査研究
- (イ) 議会改革・運営ビジョン（平成22年3月22日決定）の実践状況の検証
- (ウ) 議長又は議会運営委員会から諮問された事項に関する調査審議
- (エ) その他推進会議の設置の目的のために必要な事項

(6) 議員

ア 任期 平成29年4月28日から平成33年(2021年)4月27日まで

イ 条例定数 23人

ウ 現員数 23人

(ア) 党派別

公明党 3人 日本共産党 2人 無所属 18人

(イ) 会派別

会派のぞみ 13人 会派みらい 3人 公明党 3人

市民パワー 2人 日本共産党 2人

2 議員名簿

番号	氏名	会派	期数	郵便番号	住所	自宅電話等
1	清水 優一郎	会派のぞみ	1	〒399-2223	千栄531番地	27-4858
2	岡田 倫英	会派のぞみ	1	〒395-0023	江戸浜町3661番地12	48-6074
3	塚平 一成	会派のぞみ	1	〒399-2563	時又1046番地2	26-9137
4	竹村 圭史	会派のぞみ	2	〒395-0244	山本1407番地	25-2247
5	小林 真一	公明党	1	〒399-2601	虎岩2207番地1	29-8167
6	福澤 克憲	市民パワー	1	〒395-0025	東中央通5丁目20番地4	53-1285
7	古川 仁	日本共産党	2	〒395-0803	鼎下山677番地5	53-3792
8	木下 徳康	会派のぞみ	2	〒395-0813	毛賀366番地	24-4932
9	山崎 昌伸	会派のぞみ	2	〒395-0817	鼎東鼎292番地7	23-0204
10	熊谷 泰人	会派のぞみ	2	〒395-0075	白山通り3丁目391番地1	53-4150
11	湯澤 啓次	会派のぞみ	3	〒395-0001	座光寺2570番地1	24-6698
12	永井 一英	公明党	4	〒395-0077	丸山町2丁目6725番地14	23-4021
13	福沢 清	会派みらい	3	〒395-0029	二本松333番地1	22-5620
14	木下 容子	市民パワー	5	〒395-0063	羽場町1丁目5番地7	22-5973
15	後藤 荘一	日本共産党	5	〒395-0156	中村1221番地	25-7857
16	湊 猛	会派のぞみ	3	〒399-1311	南信濃和田1343番地1	0260-34-2248
17	新井 信一郎	会派のぞみ	4	〒395-0151	北方3330番地1	25-5181
18	清水 勇	会派のぞみ	4	〒399-2221	龍江2453番地1	27-2569
19	吉川 秋利	会派のぞみ	4	〒395-0807	鼎切石4375番地	24-8268
20	木下 克志	会派のぞみ	5	〒395-0803	鼎下山665番地	24-5645
21	村松 まり子	公明党	5	〒395-0814	八幡町489番地2	24-6884
22	井坪 隆	会派みらい	6	〒395-0004	上郷黒田1826番地	23-6421
23	原 和世	会派みらい	6	〒395-0244	山本4703番地1	25-1216

年齢別議員数

(平成30年5月31日現在)

年齢	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
人員	0	2	4	4	12	1	23

当選回数別議員数

(平成30年5月31日現在)

当選回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	計
人員	5	5	3	4	4	2	23

3 正副議長及び各委員会委員名簿

(1) 議長及び副議長

(平成29年5月9日改選)

議 長	清水 勇	副 議 長	永井 一英
-----	------	-------	-------

(2) 委員会

(平成29年5月10日改選)

◎印……委員長 ○印……副委員長

委 員 会 名	委 員			
総務委員会 (8人)	◎湊 猛 木下 徳康	○木下 容子 後藤 莊一	塚平 一成 木下 克志	小林 真一 井坪 隆
社会文教委員会 (7人)	◎福沢 清 永井 一英	○山崎 昌伸 新井信一郎	清水優一郎 吉川 秋利	古川 仁
産業建設委員会 (7人)	◎湯澤 啓次 福澤 克憲	○熊谷 泰人 村松まり子	岡田 倫英 原 和世	竹村 圭史
議会運営委員会 (8人)	◎村松まり子 湊 猛	○吉川 秋利 木下 克志	小林 真一 井坪 隆	湯澤 啓次 原 和世
リニア推進特別委員会 (8人)	◎井坪 隆 湯澤 啓次	○竹村 圭史 後藤 莊一	岡田 倫英 新井信一郎	塚平 一成 村松まり子
広報広聴委員会 (8人)	◎新井信一郎 小林 真一	○古川 仁 熊谷 泰人	岡田 倫英 木下 容子	塚平 一成 原 和世
議会改革推進会議 (8人)	◎後藤 莊一 福澤 克憲	○木下 徳康 山崎 昌伸	清水優一郎 福沢 清	小林 真一 吉川 秋利

4 監査委員及び南信州広域連合議会議員名簿

(1) 監査委員 (選任に同意)

(平成29年5月10日選任)

推 薦 基 準	任 期	氏 名
議員から1人を推薦 市長が議会の同意を得る。	4 年	木下 克志

(2) 南信州広域連合議会議員

(平成29年5月10日選任)

推薦基準	任期	氏名
議員から12人 正副議長(2) 3常任委員長(3) 会派按分(7)	4年 (2年で改選)	清水 勇 永井 一英 湊 猛 福沢 清 湯澤 啓次 熊谷 泰人 木下 容子 新井信一郎 吉川 秋利 木下 克志 村松まり子 井坪 隆

5 議会選出の各種委員等

(1) 附属機関等の委員名簿

(平成29年5月10日選任)

名称	推薦基準	任期	氏名
青少年問題協議会 (2人)	社文委員2	2年	福沢 清 山崎 昌伸
民生委員推薦会 (2人)	社文正副委員長	3年	福沢 清 山崎 昌伸
都市計画審議会 (5人)	総務1・社文1 産建2・ リニア1	2年	湊 猛 福沢 清 湯澤 啓次 熊谷 泰人 井坪 隆
国民保護協議会 (3人)	3常任委員長	2年	湊 猛 福沢 清 湯澤 啓次

(2) その他の団体の役員

(平成29年5月10日選任)

名称	推薦基準	任期	氏名
一般国道151号(飯田～豊橋)改良促進期成同盟会	議長	2年	【理事】清水 勇
一般国道153号改良期成同盟会	議長	2年	【理事】清水 勇
国道153号飯田南バイパス整備促進期成同盟会	議長	2年	【監事】清水 勇
天竜川上流治水促進期成同盟会	議長	2年	【理事】清水 勇
伊那テクノバレー地域センター(1人)	議長	在職期間	【地域評議員】清水 勇
リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会(7人)	正副議長 3常任委員長 監査委員 リニア推進特別委員長	在職期間	【副会長】清水 勇 【理事】永井 一英 湊 猛 福沢 清 湯澤 啓次 井坪 隆 【監事】木下 克志
三遠南信道路建設促進南信地域期成同盟会(3人)	正副議長 監査委員	2年	【副会長】清水 勇 【理事】永井 一英 【監事】木下 克志

三遠南信自動車道飯喬道路3工区建設促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 下久堅・千代・龍江	1年	【顧問】清水 勇 永井 一英 湯澤 啓次 熊谷 泰人 小林 真一 清水 優一郎
国道256号改良促進期成同盟会 (3人)	正副議長 産建委員長	2年	【理事】清水 勇 永井 一英 湯澤 啓次
主要地方道飯田富山佐久間線改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 下久堅・千代・龍江	2年	【理事】清水 勇 永井 一英 湯澤 啓次 熊谷 泰人 小林 真一 清水 優一郎
主要地方道飯島飯田線改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 座光寺・上郷 橋北・橋南・羽場 丸山・東野・鼎・伊賀良	2年	【監事】清水 勇 湯澤 啓次 【理事】永井 一英 岡田 倫英 熊谷 泰人 井坪 隆 岡田 倫英 福澤 克憲 福沢 清 木下 容子 古川 仁 山崎 昌伸 吉川 秋利 木下 克志 後藤 莊一 新井 信一郎
主要地方道飯田南木曾線改良促進期成同盟会	正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場・丸山・東野	2年	【理事】清水 勇 湯澤 啓次 熊谷 泰人 岡田 倫英 福澤 克憲 福沢 清 木下 容子 【監事】永井 一英
広域幹線林道千遠線開設期成同盟会 (2人)	議長 産建委員長	2年	【委員】清水 勇 湯澤 啓次
国道152号整備促進期成同盟会 (2人)	議長 産建委員長	2年	【理事】清水 勇 湯澤 啓次
国道418号整備促進期成同盟会 (4人)	正副議長 産建正副委員長	2年	【監事】清水 勇 湯澤 啓次 【理事】永井 一英 熊谷 泰人
都市計画道路羽場大瀬木線改良促進連絡協議会	正副議長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場・丸山・東野・鼎・伊賀良	1年	【相談役】清水 勇 永井 一英 岡田 倫英 福澤 克憲 福沢 清 木下 容子 熊谷 泰人 古川 仁 山崎 昌伸 吉川 秋利 木下 克志 後藤 莊一 新井 信一郎
松尾浄化管理センター連絡協議会	正副議長 産建委員長 地区出身議員	在任期間	【委員】清水 勇 永井 一英 湯澤 啓次 木下 徳康 村松 まり子

(3) 議員による任意の団体

名 称	基準	任期	氏 名
森林・林業・林産業活性化 促進議員連盟 (林業活性化推進飯田市 議員連盟)	各会派1 ※5名以上の会 派は2	2年	【会 長】湊 猛 【副会長】福沢 清 【幹 事】清水優一郎 小林 真一 福澤 克憲 古川 仁 【会 員】全市議会議員
スポーツ振興議員連盟	各会派1 ※5名以上の会 派は2	2年	【会 長】原 和世 【副会長】熊谷 泰人 【幹事長】古川 仁 【事務局長】竹村 圭史 【幹 事】小林 真一 福澤 克憲 【会 員】全市議会議員
三遠南信、浜松三ヶ日・豊 橋道路建設促進議員協議会	賛同議員	在職期間	【会 員】全市議会議員

6 各会派及び各会派の代表者氏名

会 派 名	代表者名	議員数	会 派 名	代表者名	議員数
会 派 の ぞ み	木下 克志	13	会 派 み ら い	原 和世	3
公 明 党	村松まり子	3			
市 民 パ ワ ー	木下 容子	2	日 本 共 産 党	後藤 荘一	2

Ⅲ 市議会の活動

1 市議会の活動状況

(1) 市議会招集回数10か年比較表

年次		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
区分	招集回数										
	定例会	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	臨時会	0	2	0	2	0	1	1	1	0	1
会期日数		89	112	102	105	101	101	93	102	98	100
本会議日数		20	22	17	18	17	19	18	18	17	19
議案件数		171	197	199	287	218	228	226	208	172	173

(2) 議会開会状況（平成29年1月から平成30年12月まで）

	会 議	会 期	会期日数	本会議日数
1	第1回定例会	2月23日～3月23日	29	4
1	第1回臨時会	5月9日～5月10日	2	2
2	第2回定例会	6月1日～6月23日	23	4
3	第3回定例会	9月5日～9月28日	24	4
4	第4回定例会	11月28日～12月19日	22	5
計			100	19

(3) 議会審議状況（平成29年1月から平成29年12月まで）

区分		会別	第1回 定例会	第1回 臨時会	第2回 定例会	第3回 定例会	第4回 定例会	計
市長 提出議案	予算・決算		19		3	21	10	53
	条例		11		7	7	9	34
	その他		20	3	4	8	7	42
	計(A)		50	3	14	36	26	129
議員 提出議案	条例			1				1
	その他		1		1	6	1	9
	計(B)		1	1	1	6	1	10
報告	専決処分		2	10	2	4	3	21
	その他				12	1		13
	計(C)		2	10	14	5	3	34
審議件数(A+B+C)			53	14	29	47	30	173
議決状況	原案可決（同意・認定・承認を含む）		51	11	15	43	28	148
	報告（議決を要しないもの）		2	3	14	4	2	25
	修正可決							0
	否決							0
	継続審査							0
	審議未了							0

2 報酬その他

(1) 報酬

役 職	報酬月額	役 職	給料月額
議 長	499,000 円	市 長	876,000 円
副議長	436,000 円	副市長	720,000 円
議 員	407,000 円	教育長	634,000 円
改定日	平成 11 年 4 月 1 日	改定日	平成 27 年 12 月 24 日

*平成29年4月分から平成31年3月分まで、飯田市特別職の常勤の職員の給料月額は、上記の表に掲げる額とする。

報酬額の改定推移

(単位：千円)

種 別	改定年月日	S61	S62	S63	H 1	H 3	H 4	H 5	H 7	H 9	H11
		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	10.1	7.1	4.1
議 長		331	339	352	369	413	437	469	485	494	499
副 議 長		278	285	296	310	352	372	410	424	432	436
議 員		259	266	277	290	325	343	383	396	403	407

(2) 期末手当

6 月期支給額 報酬×1.45×155/100

12月期支給額 報酬×1.45×170/100

※ 平成29年4月から平成31年3月までの間に支給される期末手当は、議長90,000円、副議長78,000円、議員72,000円をそれぞれ支給すべき額から減ずる。

(3) 費用弁償

(6)の表の規定に基づき往復の交通費のみ支給する。

(4) 研修旅費

議 員 1 人 当 り 年 額	
常 任 委 員 会	実 費
議 会 運 営 委 員 会	実 費
海 外 研 修 視 察	所要額の 3 / 4 (交付金)

(5) 政務活動費

議員 1 人当り年額140,000円

(6) 飯田市議員等の旅費額

(平成3年4月1日改正)

旅費の区分 職務の区分	車 賃		日 当	宿 泊 料		食卓料 (1夜につき)
	交通機関 のある場 合	交通機関 のない場 合(1キロメ ートルにつき)		県内	県外	
議員、教育委員、選挙管理委員、 公平委員、監査委員、農業委員、 選挙長、固定資産評価審査委員及 び固定資産評価員	実費	円 37	円 2,600	円 11,800	円 13,100	円 2,600

3 定期刊行物

(1) 飯田市議会だより

ア 創刊 昭和46年4月1日

イ 発行回数 年4回(4月、7月、10月及び1月(定例会終了の翌月)。このほか臨時号)

ウ 発行部数 各33,000部

エ 印刷 オフセット印刷(A4版 1回平均10ページ)160号から表紙、裏表紙のみカラー刷り

(2) 飯田市議会要覧

ア 発行回数 年1回(例年6月発行)

イ 発行部数 150部

4 市議会会議録

(1) 各定例会及び臨時会の会議録

ア 発行回数 年4回(次回定例会の招集日までに発行)

イ 発行部数 31部

ウ 印刷 オフセット印刷(A4版)

(2) 全員協議会、常任委員会及び特別委員会の会議録

発行部数 1部

(3) 会議録検索システム

ア 平成4年第2回定例会以降の本会議、全員協議会、各委員会のデータが検索可能

イ 平成15年11月から、インターネットによる会議録検索に対応

5 議会事務局の事務分掌

(1) 庶務係

- ア 公印の管理に関する事。
- イ 文書の收受、発送及び保存に関する事。
- ウ 予算及びその経理に関する事。
- エ 議員の身分、人事、福利厚生、共済等に関する事。
- オ 議員の報酬、費用弁償等に関する事。
- カ 議長会等に関する事。
- キ 儀式及び交際に関する事。
- ク 議会関係各室の管理に関する事。
- ケ 職員の人事、服務、給与等に関する事。
- コ 議決証明等に関する事。
- サ 物品の出納保管に関する事。
- シ 議会乗用車の管理に関する事。
- ス 他の係の所管に属さない事項に関する事。

(2) 議事係

- ア 本会議に関する事。
- イ 常任委員会、特別委員会、協議会等に関する事。
- ウ 議会において行う選挙等に関する事。
- エ 公聴会、参考人等に関する事。
- オ 議案その他付議事件に関する事。
- カ 議員の出欠席に関する事。
- キ 議事日程及び諸報告に関する事。
- ク 請願及び陳情に関する事。
- ケ 会議録その他の会議記録の調製及び保管に関する事。
- コ 議会の傍聴に関する事。
- サ その他議事に関する事。

(3) 調査係

- ア 議会、委員会等から命じられた事項の調査に関する事。
- イ 市政の調査及び研究に関する事。
- ウ 各種資料の収集、整理及び発行に関する事。
- エ 議員の研修に関する事。
- オ 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。
- カ 法令等の調査研究に関する事。
- キ 議会広報に関する事。
- ク 照会事項の回答に関する事。
- ケ 議会図書室に関する事。
- コ 視察に関する事。

IV 飯田市の概要

1 平成30年度飯田市各会計及び一般会計当初予算の概要

平成30年度 飯田市各会計予算の総額

会 計 名		予 算 額		比 較	
		30年度 (A)	29年度 (B)	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
一 般 会 計		45,860,000	45,730,000	130,000	0.3
国民健康保険特別会計	事業勘定	9,165,000	11,515,000	△ 2,350,000	△ 20.4
	直診勘定	6,300	4,700	1,600	34.0
後期高齢者医療特別会計		1,365,500	1,304,200	61,300	4.7
介護保険特別会計		11,515,100	10,829,800	685,300	6.3
地方卸売市場事業特別会計		16,900	15,000	1,900	12.7
駐車場事業特別会計		70,500	70,000	500	0.7
墓地事業特別会計		16,300	15,000	1,300	8.7
介護老人保健施設事業特別会計		711,400	706,300	5,100	0.7
ケーブルテレビ放送事業特別会計		82,700	96,100	△ 13,400	△ 13.9
病院事業会計		15,309,900	15,413,900	△ 104,000	△ 0.7
水道事業会計		4,855,600	4,387,200	468,400	10.7
下水道事業会計		6,334,200	6,376,000	△ 41,800	△ 0.7
特別会計の計		49,449,400	50,733,200	△ 1,283,800	△ 2.5
計		95,309,400	96,463,200	△ 1,153,800	△ 1.2

(単位:千円、%)

主 な 内 容		
		一般
保険給付費 6,359,290 事業費納付金 2,466,673 総務費 127,232 保健事業費 76,475		国保
三穂診療所、上村歯科診療所		
後期高齢者医療広域連合納付金 1,332,006		後高
保険給付費 10,760,790 地域支援事業費 475,005		介護
卸売市場費 16,786		市場
市営駐車場の管理運営 64,896 基金積立金 5,504		駐車
霊園の管理運営 8,774 造成事業 938 基金積立金 6,588		墓地
施設管理費 632,972 施設事業費 78,428		老施
竜東維持管理費 50,842 遠山郷維持管理費 18,978 公債費 11,664		ケテ
収益的収入 12,699,000 収益的支出 13,093,000		病院
資本的収入 1,311,700 資本的支出 2,216,900		
収益的収入 2,294,300 収益的支出 2,079,400		水道
資本的収入 1,700,600 資本的支出 2,776,200		
収益的収入 4,273,200 収益的支出 3,714,100		下水
資本的収入 1,278,100 資本的支出 2,620,100		
		特会
		計

平成30年度 一般会計 歳入 (主な内容と増減内訳)

区 分	予 算 額		(A)の 構成比	増 減	
	30年度(A)	29年度(B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 市 税	13,081,000	13,104,000	28.5	△ 23,000	△ 0.2
2 地 方 譲 与 税	446,000	434,000	1.0	12,000	2.8
3 利 子 割 交 付 金	19,000	15,000	0.0	4,000	26.7
4 配 当 割 交 付 金	53,000	49,000	0.1	4,000	8.2
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	56,000	56,000	0.1	0	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	2,128,000	2,080,000	4.6	48,000	2.3
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	108,000	86,000	0.2	22,000	25.6
8 地 方 特 例 交 付 金	60,000	50,000	0.1	10,000	20.0
9 地 方 交 付 税	10,920,000	11,141,000	23.8	△ 221,000	△ 2.0
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	17,000	18,000	0.0	△ 1,000	△ 5.6
11 分 担 金 及 び 負 担 金	802,764	772,764	1.8	30,000	3.9
12 使 用 料 及 び 手 数 料	537,636	537,108	1.2	528	0.1
13 国 庫 支 出 金	5,568,022	5,356,340	12.1	211,682	4.0
14 県 支 出 金	2,878,624	2,860,032	6.3	18,592	0.7
15 財 産 収 入	34,596	33,459	0.1	1,137	3.4
16 寄 附 金	164,279	207,000	0.4	△ 42,721	△ 20.6
17 繰 入 金	1,241,312	811,965	2.7	429,347	52.9
18 繰 越 金	600,000	600,000	1.3	0	0.0
19 諸 収 入	2,701,767	2,784,932	5.9	△ 83,165	△ 3.0
20 市 債	4,443,000	4,733,400	9.7	△ 290,400	△ 6.1
合 計	45,860,000	45,730,000	100.0	130,000	0.3

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

主 内 容	増減(A)-(B)の主な内容	
市民税 5,855,000 (個人 4,804,000 法人 1,051,000) 固定資産税 5,583,000 軽自動車税 350,000 市たばこ税 614,000 入湯税 3,000 都市計画税 676,000	市税は現年課税分で比較 個人 82,000 法人 32,000 固定資産税 △102,000 軽自動車税 13,000 市たばこ税 △30,000	市税
地方揮発油譲与税 123,000 自動車重量譲与税 323,000	自動車重量 14,000 地方揮発油 △2,000	地譲
	利子割交付金 4,000	利子
	配当割交付金 4,000	配当
		株式
地方消費税率引上げによる増収分855,978千円は全額を社会保障施策に充当 (充当内訳:社会福祉 510,344 社会保険 301,154 保健衛生 44,480)	地方消費税交付金 48,000	消費
	自動車取得税交付金 22,000	自取
	地方特例交付金 10,000	地特
普通交付税 9,920,000 特別交付税 1,000,000	普通交付税 △221,000	地交
	交通安全対策特別交付金 △1,000	交通
民生費負担金 701,276 (保育料 613,157 老人措置 79,447) 農林費負担金 52,060 (非補助土地改良 50,000) 総務費負担金 46,746 (航空写真撮影及び地図データ作成業務合同実施 25,092、戸籍システム共同利用 16,529)	航空写真撮影及び地図データ作成合同実施負担金 25,092 民間保育所保護者負担金 14,312 公立保育所長時間延長保育保護者負担金 △4,350 図書館システム運営負担金 △4,220	分負
住宅使用料 149,657 ごみ処理手数料 137,827 休日夜間急患診療所使用料 44,766 道路河川占用料 37,500 文化会館使用料 20,100 斎苑使用料 19,275 戸籍手数料 18,462 地域振興住宅使用料 15,562 住民票手数料 11,595 建築確認手数料 11,000 印鑑等諸証明手数料 10,230	休日夜間急患診療所使用料 1,852 住宅使用料 1,216 住民票手数料 926 広域的体育施設使用料 △1,959 最終処分場搬入ごみ処理手数料 △1,814	使手
【負担金】 民生費 3,939,126 (児童手当 1,196,213 障がい児・者 1,077,662 民間保育所 916,283 生活保護 504,551 児童扶養 144,025) 衛生費 69,000 (保険基盤安定) 【補助金】 総務費 28,735 (社会保険・税番号制度) 民生費 276,944 (民間保育所整備 145,846 子ども・子育て 62,808) 衛生費 13,529 (環境保全 6,324 保健衛生 2,647 妊娠・出産支援 2,100) 商工費 7,790 (地方創生 5,800 文化財保護 1,000 市街地 990) 土木費 816,498 (道路 640,143 橋りょう 118,580 住宅 27,702) 消防費 11,860 (災害対策) 教育費 383,252 (文化財保護 317,626 文化芸術振興 24,000)	民間保育所負担金 152,738 文化財保護補助金 144,920 ICアクセス道路整備事業補助金 132,000 道整備交付金 24,150 障害児施設措置費等負担金 17,996 障害者自立支援給付費負担金 17,156 個人番号カード交付事業費補助金 8,198 子ども・子育て支援整備交付金 5,714 地域生活支援事業補助金 5,250 民間保育所等整備交付金 △113,475 社会資本整備総合交付金 △104,736 児童手当負担金 △71,939 現年度分低所得者保険料軽減負担金 △5,293	国庫
【負担金】 民生費 1,495,297 (障がい児・者 523,826 民間保育所 484,670 児童手当 260,900 後期高齢者医療 206,402) 衛生費 226,425 (保険基盤安定) 【補助金】 総務費 44,341 (合併特例交付金 38,400) 民生費 559,202 (医療給付 202,251 老人福祉 126,735 民間保育所 123,626 地域子育て支援 64,562) 農林費 231,496 (林業振興 122,627 農政対策 54,953 農業振興 39,389 国土調査 7,875) 【委託費】 総務費 226,437 (県民税 166,650 知事選挙 34,850)	民間保育所負担金 81,531 知事選挙委託金 34,850 障害児通所給付費等負担金 8,998 障害者自立支援給付費負担金 8,578 県議会議員選挙委託金 7,732 介護予防拠点整備事業補助金 6,800 県民税取扱委託金 6,180 子育て支援対策臨時特例交付金 △74,030 地域医療介護総合確保基金補助金 △37,589 児童手当負担金 △15,286 延長保育促進事業補助金 △6,510 重度訪問介護等市町村支援事業補助金 △6,030	県費
財産貸付収入 20,431 基金運用収入 6,960 不動産売却収入 6,501	基金利子 1,362、教職員住宅貸付料 △1,425	財産
ふるさと寄附金 150,000 奨学資金 6,000 文化会館寄附金 4,309	文化会館寄附金 4,309 ふるさと寄附金 △50,000	寄附
財調 500,000 減債 360,000 ふるさと 16,691 リニア 234,829 庁舎 46,869 社会福祉施設 35,242 過疎 24,589 地域雇用 20,420 財産区事務 2,672	財政調整 100,000 減債 60,000 ふるさと 10,691 リニア 234,829 庁舎建設 28,853 財産区議会議員選挙繰入金 △11,442	繰入
		繰越
貸付金元利収入 1,622,255 (商工制度資金 1,400,000 生活資金 170,000) 受託事業収入 574,654 (産業振興と人材育成の拠点 179,000 道路橋りょう測量設 計業務 157,412 埋蔵文化財調査受託事業収入 99,930 産業振興と人材育成の拠点整備事業受託 △370,000)	道路橋りょう測量設計業務受託 157,412 埋蔵文化財調査受託事業収入 99,930 産業振興と人材育成の拠点整備事業受託 △370,000	諸収
合併特例債 872,200 (社会教育施設 861,300 観光 10,900) 過疎対策事業債 102,500 (公共交通体系 37,500 林道 29,800 道路 17,000 教育 13,300 自治振興 4,900) その他 3,468,300 土木 859,400 衛生 273,400 民生 187,300 消防 186,800 総務 148,500 教育 132,100 農林 97,800 臨時財政対策債 1,583,000	合併特例 358,600 公共事業 89,800 地域活性化 79,700 上下水道事業 67,200 義務教育施設整備 28,400 緊急防災・減災 15,400 介護サービス事業 △608,000 臨時財政対策債 △177,000 公営住宅 △79,500 社会福祉施設整備 △49,500 一般補助施設整備等 △29,600	市債

平成30年度 一般会計 目的別歳出 (主な内容と増減内訳)

区 分	予 算 額		(A)の構成比	増 減	
	30年度 (A)	29年度 (B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 議 会 費	276,135	277,507	0.6	△ 1,372	△ 0.5
2 総 務 費	4,507,200	4,338,697	9.8	168,503	3.9
3 民 生 費	15,187,806	15,482,394	33.1	△ 294,588	△ 1.9
4 衛 生 費	4,632,255	5,038,233 #	10.1	△ 405,978	△ 8.1
5 労 働 費	249,114	263,448	0.5	△ 14,334	△ 5.4
6 農 林 水 産 業 費	1,191,592	1,238,140	2.6	△ 46,548	△ 3.8
7 商 工 費	2,546,191	3,043,640	5.6	△ 497,449	△ 16.3
8 土 木 費	5,463,163	5,415,555	11.9	47,608	0.9
9 消 防 費	1,462,696	1,374,714	3.2	87,982	6.4
10 教 育 費	5,170,017	4,335,859	11.3	834,158	19.2
11 災 害 復 旧 費	4,300	4,300	0.0	0	0.0
12 公 債 費	5,129,431	4,877,413	11.2	252,018	5.2
13 諸 支 出 金	100	100	0.0	0	0.0
14 予 備 費	40,000	40,000	0.1	0	0.0
合 計	45,860,000	45,730,000	100.0	130,000	0.3

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

主 な 内 容	増 減 の 主 な 内 容	
議会費 276,135	議会一般経費 △1,274	議会
リニア駅周辺整備事業 251,707 総務一般管理費 147,378 住民情報システム管理費 141,046 リニア代替地整備事業 138,280 中山間地域振興事業 125,184 市民バス等運行業務 114,479 課税事務委託費 110,449 地域自治支援事業 104,200 南信州広域連合負担金(一般会計) 101,732 リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立金 100,000 自治振興センター管理費 88,463 ふるさと飯田応援隊募集事業 82,897	リニア代替地整備事業 138,280 中山間地域振興事業 64,343 課税事務委託費 43,003 リニア駅周辺整備事業 41,266 知事選挙費 34,850 大学とのネットワーク構築事業 27,534 地域振興住宅整備事業 17,700 リニア推進事業 △86,594 市議会議員選挙費 △48,411 情報管理費 △28,448 ふるさと飯田応援隊募集事業 △26,296 戸籍住民基本台帳事務費 △19,683	総務
民間保育所運営費 2,505,795 児童手当費 1,718,015 介護保険特別会計繰出金 1,637,783 後期高齢者医療関係一般経費 1,083,457 総合支援介護給付事業 1,006,924 総合支援訓練等給付事業 708,304 生活保護措置費 672,735 民間保育所施設整備事業 445,205 児童扶養手当費 432,076 養護老人ホーム措置事業 348,164 障害児通所支援費 314,627 後期高齢者医療特別会計繰出金 305,696 障害者医療費給付事業 268,187 子ども医療費給付事業 247,786	民間保育所運営費 342,221 介護保険特別会計繰出金 99,389 障害児通所支援費 35,993 後期高齢者医療関係一般経費 33,457 総合支援訓練等給付事業 30,903 特別養護老人ホーム飯田荘建設事業 △599,698 児童手当費 △102,510 特別養護老人ホーム等建設補助事業 △37,589 特別養護老人ホーム運営支援事業 △19,775	民生
病院事業会計負担金 1,380,015 水道費 721,668 国民健康保険特別会計繰出金 580,741 ごみ収集処理費 294,837 予防接種事業(子ども) 182,185 南信州広域連合負担金(竜水園) 117,830 南信州広域連合負担金(焼却場) 117,359 妊婦健診事業 115,780 予防接種事業(高齢者) 71,993 がん検診事業 68,626 一般廃棄物最終処分場管理費 61,491	水道費 49,969 病院事業会計負担金 28,900 予防接種事業(高齢者) 5,648 すこやか親子・子育て支援事業 5,082 南信州広域連合負担金(焼却場) △473,471 新エネルギー推進リーディング事業 △6,559 ごみ収集処理費 △6,386 家庭生ごみ分別収集推進事業 △5,723	衛生
勤労者協調融資 170,000 勤労者福祉センター管理費 19,073 飯田勤労者共済会補助事業 12,586 労働諸費 9,906	雇用対策事業 1,860 桐林勤労者福祉センター管理費 △17,521	労働
林道改良事業(補助) 170,513 市単土地改良事業 107,633 農業基盤整備資金償還補助事業 101,103 非補助土地改良事業 50,000 農作物鳥獣被害対策事業 48,698 中山間地域等直接支払事業 34,631 意欲ある農業者支援事業 32,827 林道舗装事業 32,008 国土保全特別対策事業 26,700 農業委員会活動推進事業 23,484 農業総務費 20,343	農作物鳥獣被害対策事業 8,374 農業総務費 5,954 果樹・野菜等振興事業 3,800 農業基盤整備資金償還補助事業 △17,199 林道改良事業(補助) △11,165 新規就農者支援事業 △7,477 林道開設事業 △6,529 市単土地改良事業 △6,399 意欲ある農業者支援事業 △4,578	農林
中小企業金融対策事業 1,500,000 産業振興と人材育成の拠点整備事業 228,189 産業用地整備事業 73,670 企業立地促進事業補助金 62,000 南信濃観光施設管理費 46,248 地場産業等振興事業 43,982 人形とけい塔管理事業 38,276	産業用地整備事業 43,670 人形とけい塔管理事業 38,089 産業振興と人材育成の拠点整備事業 △382,854 天龍峡活性化事業 △226,695 企業立地促進事業補助金 △25,000	商工
下水道費 1,933,900 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 595,412 改築補助事業 240,000 防災・安全交付金事業(道路整備) 234,870 橋りょう長寿命化修繕事業 219,396 道路補修事業 214,041 道路舗装補修事業 200,960 道整備交付金事業 141,000 除雪費 99,731 市道改良事業 99,038	改築補助事業 240,000 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 237,412 道整備交付金事業 48,300 公営住宅整備事業(補助) △153,528 社会資本整備総合交付金事業(市街地整備) △101,600 防災・安全交付金事業(道路整備) △98,130 橋りょう耐震整備事業 △86,700	土木
南信州広域連合負担金(消防) 982,161 消防団運営事業 182,757 防災対策推進事業 110,210 消防体制強化整備事業(単独) 52,852	防災対策推進事業 75,834 消防団詰所整備事業 29,000 水防費 △8,484 消防体制強化整備事業(単独) △8,259	消防
公民館等耐震化整備事業 908,169 恒川遺跡群保存活用事業(補助) 398,187 情報通信技術活用教育推進事業(小・中) 235,489 調理業務委託費 190,975 学校教育振興事業(小・中) 158,895 体育施設管理費 145,990 学校管理一般経費(小・中) 141,212 学校施設大規模改修事業(小・中) 130,961 公民館管理・運営費 118,324	公民館等耐震化整備事業 595,853 恒川遺跡群保存活用事業(補助) 182,465 埋蔵文化財調査事業(その他) 99,930 情報通信技術活用教育推進事業(小・中) 94,493 学校施設大規模改修事業(小・中) 54,731 私立認定こども園施設整備事業補助金 △285,207 歴史研究所事務所移転事業 △47,549	教育
土木施設単独災害復旧 2,000 林道単独災害復旧 1,300		災害
長期債元金 4,882,444 長期債利子 244,987 一時借入金利子 2,000	元金 275,476 利子 △23,458	公債
学術研究振興基金積立 100		諸支
予備費 40,000		予備

平成30年度 一般会計 性質別歳出 (主な増減内訳)

	30年度予算額		29年度予算額		増減	
	(A)	構成比	(B)	構成比	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 人件費	5,868,281	12.8	5,796,500	12.7	71,781	1.2
2 扶助費	8,702,012	19.0	8,393,587	18.4	308,425	3.7
3 公債費	5,129,431	11.2	4,877,413	10.7	252,018	5.2
小計	19,699,724	43.0	19,067,500	41.8	632,224	3.3
4 物件費	6,065,874	13.2	6,141,129	13.4	△ 75,255	△ 1.2
5 維持補修費	673,630	1.5	671,361	1.5	2,269	0.3
6 補助費等	6,589,130	14.4	7,108,536	15.5	△ 519,406	△ 7.3
7 積立金	100,100	0.2	100,100	0.2	0	0.0
8 投資・出資金	926,010	2.0	811,091	1.8	114,919	14.2
9 貸付金	1,634,435	3.6	1,631,900	3.6	2,535	0.2
10 繰出金	3,786,770	8.3	3,669,702	8.0	117,068	3.2
11 投資的経費	6,344,327	13.8	6,488,681	14.2	△ 144,354	△ 2.2
補助	2,713,013	5.9	2,562,142	5.6	150,871	5.9
単独	3,631,314	7.9	3,926,539	8.6	△ 295,225	△ 7.5
普通建設費	6,340,027	13.8	6,484,381	14.2	△ 144,354	△ 2.2
補助	2,713,013	5.9	2,562,142	5.6	150,871	5.9
単独	3,627,014	7.9	3,922,239	8.6	△ 295,225	△ 7.5
災害復旧費	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
補助	0	0.0	0	0.0	0	0.0
単独	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
12 予備費	40,000	0.1	40,000	0.1	0	0.0
合計	45,860,000	100.0	45,730,000	100.0	130,000	0.3

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合がある。

単位：千円

増減の主な内容		
市町村共済負担金 26,180 職員給与 24,028 退職手当 12,356 委員等報酬 7,545		人件
民間保育所運営費 342,221 障害者支援給付 40,429 要保護準要保護児童生徒援助 20,846 子ども医療費給付事業 8,641 児童手当 △101,190 生活保護措置費 △2,144		扶助
元金 275,476 利子 △23,458		公債
		小計
情報通信技術活用教育推進事業 73,609 課税事務委託 43,003 リニア駅周辺整備事業 42,429 リニア推進事業 △87,431 情報管理費 △28,775 コンピュータシステム運営事業 △23,227 戸籍住民基本台帳事務費 △19,682 桐林勤労者福祉センター管理費 △17,000 住民情報システム管理費 △16,052 総務一般管理費 △13,453 子ども医療費給付事業 △12,972 老人福祉一般経費 △10,333		物件
りんご並木管理費 1,355 堆肥センター運営事業 1,151		維持
いいだ人形劇フェスタ開催事業 44,000 人形劇のまち国際化推進事業 10,324 下水道費 23,200 広域連合負担金(焼却場) △473,471 特別養護老人ホーム等建設補助金 △37,589 病院事業負担金 △29,825 特養運営支援補助金 △19,775 ふるさと飯田応援隊募集事業 △19,500 農業基盤整備資金償還補助事業 △17,199		補助
		積立
病院事業出資金 58,725 水道事業出資金 56,194		投資
奨学金貸与事業 2,040 福祉医療費貸付金事業 495		貸付
介護保険 99,389 後期高齢者医療 31,405 国民健康保険 4,016 地方卸売市場 1,858 ケーブルテレビ △11,700 介護老人保健施設 △7,900		繰出
		投資
		補助
		単独
		普建
改築補助事業 240,000 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 237,412 恒川遺跡群保存活用事業 182,465 道整備交付金事業 48,300 橋りょう長寿命化修繕事業 35,194 民間保育所施設整備事業 17,314 私立認定こども園施設整備事業補助金 △285,207 公営住宅整備事業 △153,528 防災・安全交付金事業(道路整備) △98,130 社会資本整備総合交付金事業(市街地整備) △89,600		補助
公民館等耐震化整備事業 595,853 リニア代替地整備事業 138,280 防災対策推進事業 106,408 埋蔵文化財調査事業 100,042 中山間地域振興事業 60,009 学校施設大規模改修事業 54,731 大学とのネットワーク構築事業 25,158 特別養護老人ホーム飯田荘建設事業 △599,698 産業振興と人材育成の拠点整備事業 △382,854 天龍峡活性化事業 △230,420 橋りょう耐震整備事業 △86,700		単独
		災害
		補助
		単独
		予備

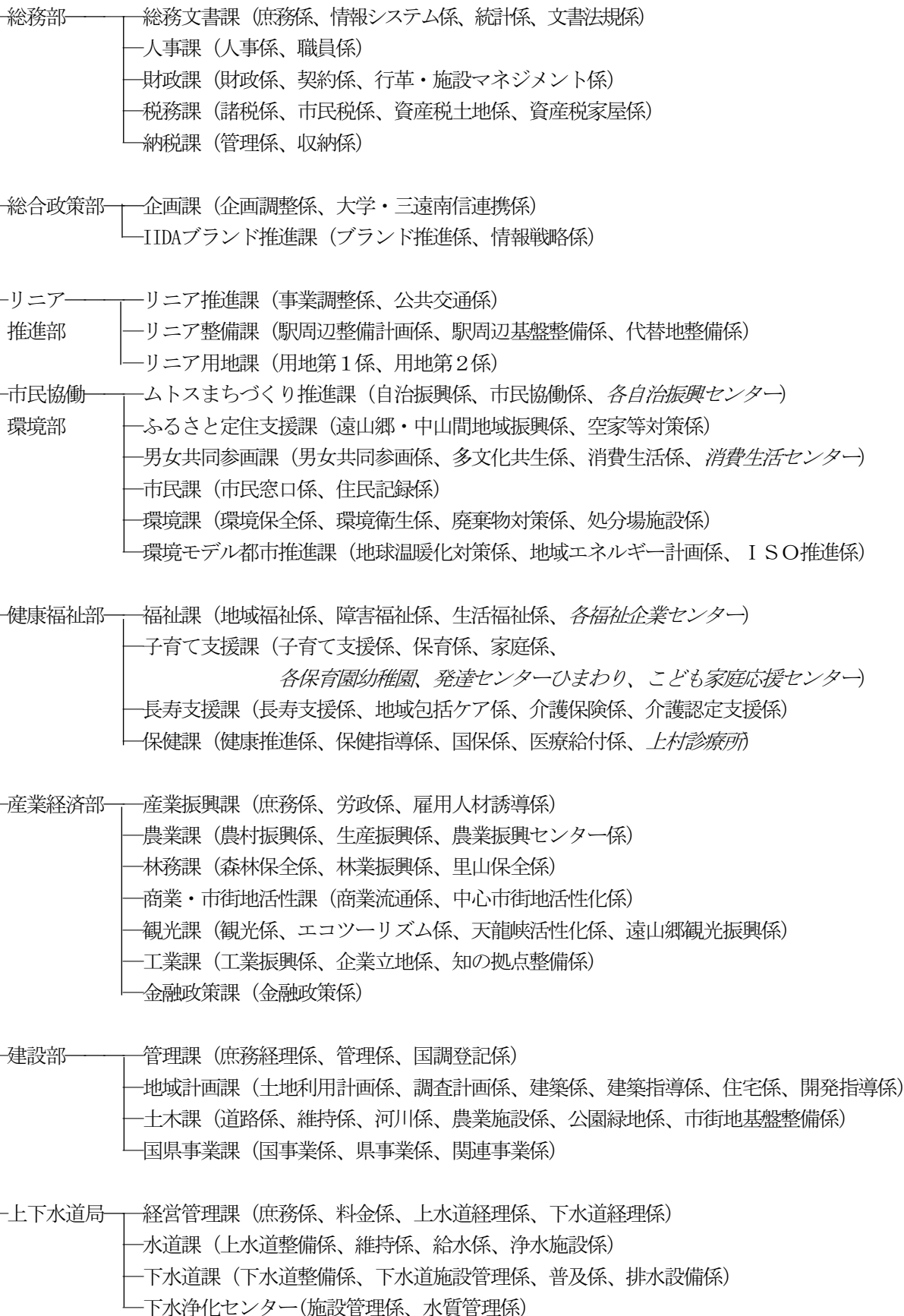
2 飯田市行政組織機構図 (H30. 4. 1)

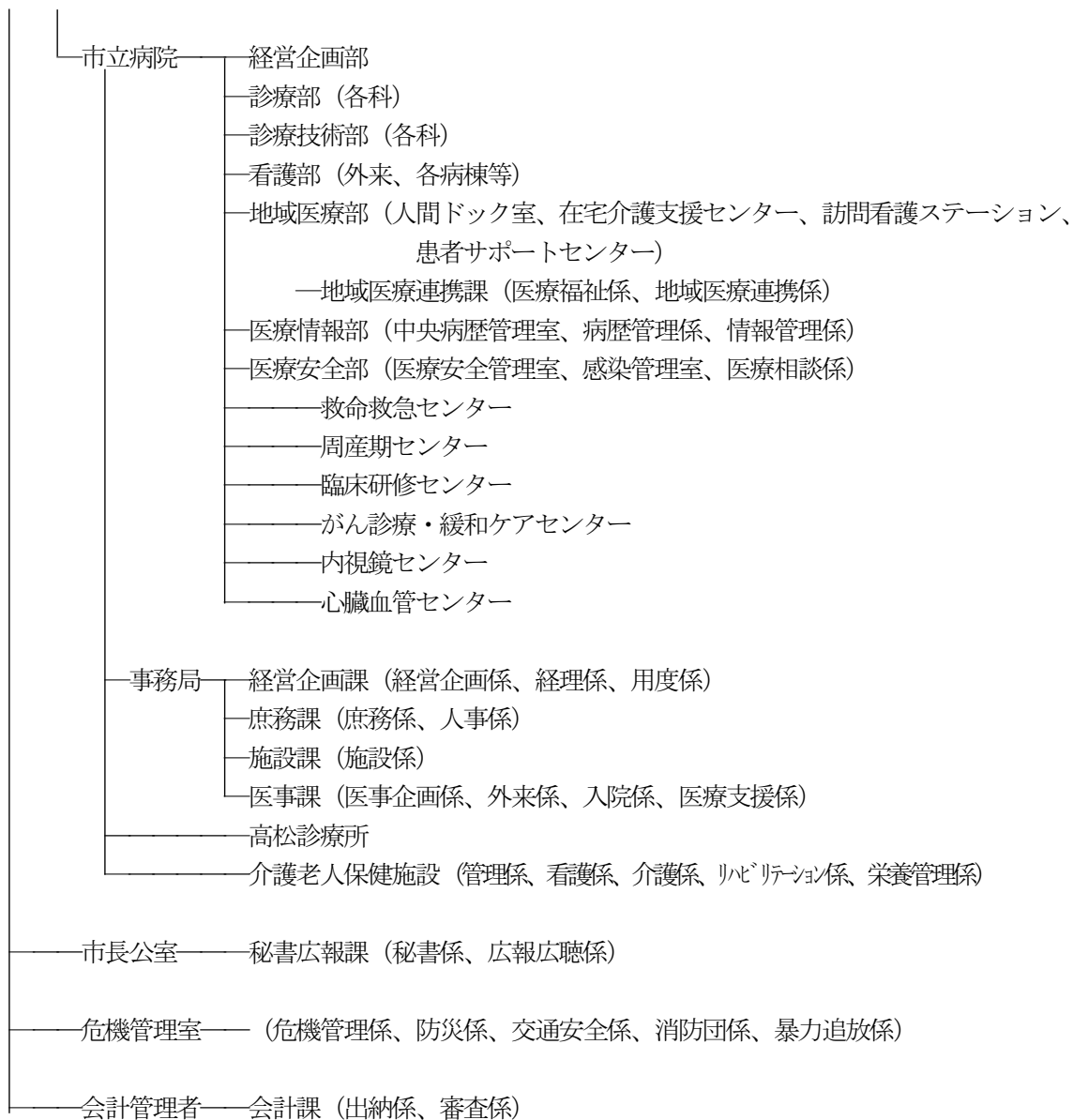
部等 課等 (係・出先機関:正規職員の配置のあるもの)

○市長事務部局

市長

副市長



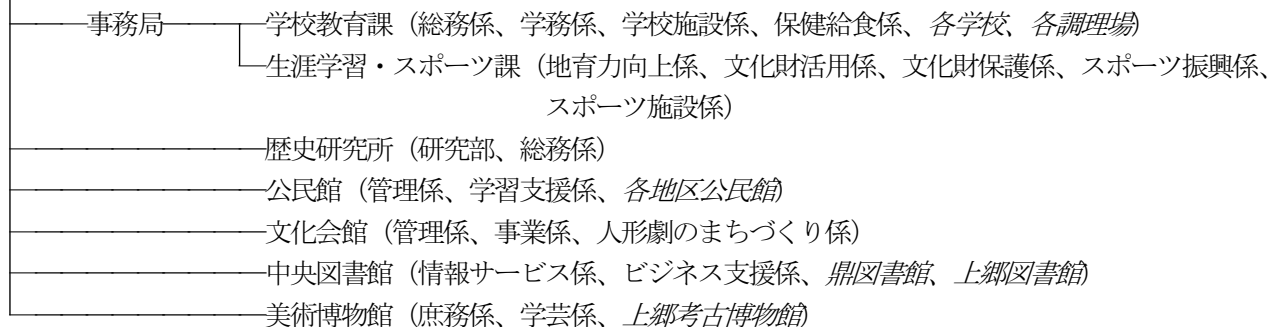


○市議会、行政委員会

市議会—事務局— (庶務係、議事係、調査係)

教育委員会

教育長



選挙管理委員会—事務局 (選挙係、啓発係)

公平委員会— (事務職員)

監査委員—事務局 (監査係)

農業委員会—事務局 (農地係、振興係)

固定資産評価審査委員会— (書記)

3 職員の定数

(平成30年4月1日現在)

区 分	定 数 (人)	実 数 (人)
市長の事務部局の職員	755	631
議会の事務部局の職員	9	6
教育委員会の事務部局及び教育機関の職員	150	129
選挙管理委員会の事務部局の職員	5	3
公平委員会の事務部局の職員	2	0
	(市長部局職員兼務2)	
監査委員の事務部局の職員	4	3
農業委員会の事務部局の職員	16	5
	(市長部局職員兼務8)	
固定資産評価審査委員会の事務部局の職員	2	0
	(市長部局職員兼務2)	
病院事業の職員	750	766
水道事業の職員	32	21
小 計	1,725	1,564
市長部局付派遣職員		
(財)南信州・飯田産業センター		2
(社福)飯田市社会福祉協議会		1
飯田市土地開発公社		-
長野県後期高齢者医療広域連合		1
長野県地方税滞納整理機構		1
飯田市職員労働組合専従		2
小 計		7
派遣職員(自治法派遣)		
南信州広域連合 事務局		6
〃 飯田広域消防		-
〃 飯田環境センター		1
小 計		7
合 計		1,578

【 資 料 編 】

V 市議会のあゆみ

1 市議会議員選挙執行状況

昭和32年4月28日	合併による設置選挙
昭和35年10月25日	飯田地区補欠選挙
昭和36年4月23日	任期满了一般選挙
昭和39年5月15日	龍江・千代・上久堅3か村合併による増員選挙
昭和39年8月28日	伊賀良地区補欠選挙
昭和39年10月25日	飯田地区補欠選挙
昭和40年4月25日	任期满了一般選挙
昭和43年10月20日	補欠選挙
昭和44年4月20日	任期满了一般選挙
昭和47年10月22日	補欠選挙
昭和48年4月22日	任期满了一般選挙
昭和51年10月17日	補欠選挙
昭和52年4月17日	任期满了一般選挙
昭和55年10月19日	補欠選挙
昭和56年4月19日	任期满了一般選挙
昭和60年4月21日	任期满了一般選挙
昭和63年10月16日	補欠選挙
平成元年4月23日	任期满了一般選挙
平成4年10月18日	補欠選挙
平成5年4月25日	任期满了一般選挙
平成5年8月1日	上郷町合併による増員選挙
平成8年10月20日	補欠選挙
平成9年4月20日	任期满了一般選挙
平成12年10月15日	補欠選挙
平成13年4月22日	任期满了一般選挙
平成16年10月24日	補欠選挙
平成17年4月24日	任期满了一般選挙
平成17年10月30日	補欠選挙
平成21年4月19日	任期满了一般選挙
平成25年4月21日	任期满了一般選挙
平成29年4月16日	任期满了一般選挙

2 歴代市議会議員

(1) 歴代議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	代田源六郎	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
		昭和32. 5. 10	昭和36. 4. 27
		昭和36. 5. 15	昭和40. 4. 27
		昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
		昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
2代	辻 虎松	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
3代	近松 宗一	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
		昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
4代	伊原 悦雄	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
		昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
5代	林 昌平	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
		昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
		昭和56. 5. 7	昭和58. 4. 22
6代	松嶋 健次	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
		昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
7代	平澤 與一	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
8代	塩澤 昭	平成元. 5. 10	平成3. 1. 31
9代	竹村 仁實	平成3. 1. 31	平成3. 5. 9
10代	實原 裕	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
11代	今村 八束	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
		平成7. 5. 12	平成9. 4. 27
12代	小林 利一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 13
		平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
13代	西尾 喜好	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
14代	岩崎 和男	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
15代	熊谷 富夫	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
16代	上澤 義一	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
17代	中島武津雄	平成21. 5. 12	平成23. 5. 13
18代	上澤 義一	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
19代	林 幸次	平成25. 5. 13	平成27. 5. 12
20代	木下 克志	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
21代	清水 勇	平成29. 5. 9	

(2) 歴代副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	伊藤 清	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	片山 均	昭和32. 5. 10	昭和36. 4. 27
		昭和36. 5. 15	昭和39. 8. 1
3代	熊谷 一郎	昭和39. 9. 15	昭和40. 4. 27
		昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
4代	小林 新吾	昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
5代	市村 保人	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
6代	今村 輝男	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
		昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
7代	新井 安男	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
8代	林 昌平	昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
9代	松江 良夫	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
10代	片桐 勲	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
11代	松江 良夫	昭和56. 5. 7	昭和58. 4. 22
12代	平澤 與一	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
		昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
13代	細田 直彦	昭和62. 5. 12	昭和63. 11. 10
14代	関島 一郎	昭和63. 12. 2	平成元. 4. 27
15代	竹村 仁實	平成元. 5. 10	平成3. 1. 31
16代	松江 良夫	平成3. 1. 31	平成3. 5. 9
17代	内山 照美	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
18代	澤柳辨治郎	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
19代	松島 年一	平成7. 5. 12	平成8. 10. 31
20代	片桐 司郎	平成8. 10. 31	平成9. 4. 27
		平成9. 5. 13	平成11. 5. 13
21代	中田 佳甫	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
22代	牧内 信臣	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
23代	渡 淳	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
24代	林 幸次	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
25代	矢澤 芳文	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
26代	清水 可晴	平成21. 5. 12	平成23. 5. 13
27代	村松まり子	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
28代	木下 克志	平成25. 5. 13	平成27. 5. 12
29代	木下 容子	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
30代	永井 一英	平成29. 5. 9	

(3) 歴代総務常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	総務部委員会	木下 章雄	近松 宗一 前島 秀夫	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	島岡 利雄	伊藤 誠一	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	佐々木利夫	佐々木清信	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	熊谷 一郎	伊藤 誠一	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	〃	〃	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	近松 宗一	大平 節蔵	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	関島彦四郎	北原 正司	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	近松 宗一	前島 秀夫	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	辻 虎松	松島 健次	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	鳴海 衛	宮嶋 繁	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	総務文教委員会	市村 保人	橋部 肇	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	茂木立好則	前島 成光	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	斉藤 為良	細田 直彦	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	内田 篤	川手 守	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	〃	原 廣男	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	片桐七右衛門	前島 成光	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	細田 直彦	塩澤 文朗	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	竹村 仁實	熊谷 康登	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
19代	〃	今村 八束	今村 淳	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
20代	〃	久保田 元	吉川 昌子	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
21代	〃	松島 年一	今村 淳	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
22代	〃	小林 利一	牧内 信臣	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
23代	〃	吉村徳一郎	渡 淳	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
24代	〃	岩崎 和男	〃	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
25代	〃	熊谷 富夫	小池 清	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
26代	〃	下平 政幸	中島武津雄	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
27代	〃	上澤 義一	村松まり子	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
28代	〃	原 勉	森本美保子	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
29代	〃	林 幸次	原 和世	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
30代	〃	木下 容子	森本美保子	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
31代	総務委員会	清水 勇	原 和世	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
32代	〃	吉川 秋利	古川 仁	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
33代	〃	湊 猛	木下 容子	平成29. 5. 10	

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4 常任委員会複数所属から3 常任委員会単独所属に移行

(4) 歴代社会文教常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	社会部委員会	児島 栄次	久保田安美 宮内 昇	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	実原 徳重	知久陽之祐	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	〃	田口 秀男	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	辻 虎松	漆原 恒実	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	〃	〃	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	〃	〃	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	漆原 恒実	榊田 太一	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	佐々木清信	松江 良夫	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	斉藤 宗義	熊谷政一郎	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	林 昌平	伊東 秀彦	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	社会民生委員会	西尾 仁一	松下 茂	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	松江 良夫	片桐七右衛門	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	社会委員会	片桐 勲	佐々木文雄	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	松江 良夫	中島 勝美	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	尾沢 貞夫	片桐 芳朗	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	松下 茂	平田 友畝	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	森本 藤登	今村 八束	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	西尾 保雄	吉川 義治	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
19代	〃	〃	小林 利一	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
20代	〃	片桐 司郎	関島 秀夫	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
21代	〃	櫻井 俊夫	西尾 喜好	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
22代	〃	下平 一郎	中田 佳甫	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
23代	〃	中田 佳甫	熊谷 富夫	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
24代	〃	牛山 重一	井坪 隆	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
25代	〃	菅沼 立男	中島武津雄	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
26代	〃	柄澤 紀春	荒木 興利	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
27代	〃	原 勉	森本美保子	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
28代	〃	中島武津雄	木下 容子	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
29代	〃	森本美保子	村松まり子	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
30代	〃	木下 克志	後藤 莊一	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
31代	社会文教委員会	井坪 隆	湯澤 啓次	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
32代	〃	新井信一郎	清水 可晴	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
33代	〃	福沢 清	山崎 昌伸	平成29. 5. 10	

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4常任委員会複数所属から3常任委員会単独所属に移行

(5) 歴代産業建設常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	産業部委員会	田中 伝	宮下 綱六 宮川藤次郎	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	小林 新吾	堀 保麿	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	〃	丸山 治郎	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	葛岡 利治	〃	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	丸山 治郎	松重 新一	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	〃	宮脇 省	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	産業経済部委員会	新井 安男	原 茂	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	今村 輝男	新井 安男	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
9代	〃	林 昌平	原田 正志	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	北原 正司	小松 芳男	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	産業経済委員会	原 茂	佐々木 勝	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	北原 正司	橋部 肇	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	平沢 與一	原 廣男	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	原 康次	林 利実	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	平澤 與一	竹村 仁實	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	片桐 勲	〃	昭和58. 5. 8	昭和59. 10. 14
17代	〃	竹村 仁實	中田 修	昭和59. 10. 26	昭和60. 4. 27
18代	〃	〃	塩澤 昭	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
19代	〃	酒井 米	小林 三郎	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
20代	〃	内山 照美	下平 一郎	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	下平 一郎	小林 利一	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
22代	〃	〃	伊原 与一	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	佐藤 好英	吉川 義治	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
24代	〃	西尾 喜好	岩崎 和男	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
25代	〃	下平 政幸	熊谷 富夫	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
26代	〃	渡 淳	上澤 義一	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
27代	〃	矢澤 芳文	佐々木重光	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
28代	〃	清水 可晴	原 和世	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
29代	〃	原 和世	山崎 紀男	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
30代	〃	木下 克志	木下 容子	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
31代	〃	伊壺 敏子	吉川 秋利	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
32代	産業建設委員会	吉川 秋利	後藤 莊一	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
33代	〃	永井 一英	湊 猛	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
34代	〃	湯澤 啓次	熊谷 泰人	平成29. 5. 10	

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4常任委員会複数所属から3常任委員会単独所属に移行

(6) 歴代建設環境常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	建設部委員会	辻 虎松	竹内 兵治 伊原 悦雄	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	近松 宗一	林 省三	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	山田 亮一	伊原 悦雄	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	佐々木清信	木下 章雄	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	木下 章雄	新井 安男	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	佐々木清信	林 昌平	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	今牧 照男	〃	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	伊原 悦雄	代田 保雄	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	今牧 照男	茂木立好則	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	新井 安男	大蔵 浜雄	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	建設委員会	茂木立好則	〃	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	斉藤 宗義	今牧 泰三	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	橋部 肇	今村 馨	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	森本 藤登	木下 登	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	今村 馨	熊谷 康登	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	細田 直彦	木下 登	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	関島 一郎	酒井 米	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	〃	實原 裕	昭和62. 5. 12	昭和63. 12. 1
19代	〃	實原 裕	塩澤 昭	昭和63. 12. 2	平成元. 4. 27
20代	〃	平田 友畝	澤柳辨治郎	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	松島 年一	〃	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
22代	〃	吉川 義治	佐藤 好英	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	塩澤 俊彦	伊藤 芳之	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
24代	〃	牧内 信臣	木下 昭一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
25代	〃	實原 公男	久保田平八郎	平成11. 5. 13	平成12. 10. 21
26代	〃	菅沼 立男	〃	平成12. 10. 31	平成13. 4. 27
27代	建設環境委員会	井坪 隆	原 勉	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
28代	〃	木下 昭一	原 和世	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
29代	〃	佐々木重光	湯澤 宗保	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
30代	〃	柄澤 紀春	後藤 修三	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
31代	〃	伊壺 敏子	吉川 秋利	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
32代	〃	原 和世	永井 一英	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4常任委員会複数所属から3常任委員会単独所属に移行

(7) 歴代議会運営委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	議会運営委員会	木下 章雄	近松 宗一	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	島岡 利雄	伊藤 誠一	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 18
3代	〃	佐々木利夫	佐々木清信	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	熊谷 一郎	伊藤 誠一	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 23
5代	〃	佐々木清信	熊谷 一郎	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	近松 宗一	鳴海 衛	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	斉藤 宗義	代田 保雄	昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
8代	〃	丸山 治郎	原田 正志	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
9代	〃	新井 安男	原 茂	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
10代	〃	松江 良夫	西尾 仁一	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	〃	伊東 秀彦	太田 猶市	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	松嶋 健次	尾沢 貞夫	昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
13代	〃	尾沢 貞夫	竹村 仁實	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
14代	〃	片桐七右衛門	塩沢 文朗	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
15代	〃	木下 登	内山 照美	昭和56. 5. 8	昭和57. 3. 1
16代	〃	片桐七右衛門	〃	昭和57. 3. 1	昭和58. 4. 22
17代	〃	中島 勝美	酒井 米	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
18代	〃	内山 照美	平田 友畝	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
19代	〃	平田 友畝	松島 年一	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
20代	〃	松島 年一	久保田 元	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	吉川 義治	今村 淳	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
22代	〃	中田 佳甫	牧内 信臣	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	伊原 与一	片桐 司郎	平成7. 5. 13	平成8. 4. 22
24代	〃	澤柳辨治郎	〃	平成8. 6. 4	平成8. 10. 31
25代	〃	〃	桜井 俊夫	平成8. 10. 31	平成9. 4. 27
26代	〃	久保田平八郎	牛山 重一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
27代	〃	木下 昭一	菅沼 立男	平成11. 5. 13	平成12. 10. 30
28代	〃	〃	柄澤 紀春	平成12. 10. 31	平成13. 4. 27
29代	〃	矢澤 芳文	清水 可晴	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
30代	〃	上澤 義一	林 幸次	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
31代	〃	原 和世	下平 勝熙	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
32代	〃	下平 勝熙	木下 克志	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
33代	〃	井坪 隆	清水 勇	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
33代	〃	林 幸次	新井信一郎	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
34代	〃	清水 可晴	村松まり子	平成25. 5. 14	平成27. 5. 12
35代	〃	清水 勇	後藤 莊一	平成27. 5. 12	平成29. 4. 27
36代	〃	村松まり子	吉川 秋利	平成29. 5. 10	

(8) 歴代監査委員 (議会選出)

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	田中 悟	昭和31. 10. 1	昭和32. 4. 27
2代	佐々木清信	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	熊谷 一郎	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	関島彦四郎	昭和36. 5. 15	昭和41. 6. 15
5代	市村 保人	昭和41. 6. 17	昭和42. 6. 5
6代	宮内 昇	昭和42. 6. 6	昭和44. 4. 27
7代	市村 保人	昭和44. 5. 7	昭和46. 6. 3
8代	宮内 昇	昭和46. 6. 4	昭和50. 6. 6
9代	近松 宗一	昭和50. 6. 10	昭和52. 4. 27
10代	伊原 悦雄	昭和52. 6. 6	昭和54. 4. 13
11代	松下 茂	昭和54. 4. 16	昭和56. 5. 7
12代	西尾 保雄	昭和56. 5. 8	昭和60. 4. 27
13代	實原 裕	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
14代	松嶋 健次	昭和62. 5. 13	平成元. 4. 27
15代	小林 三郎	平成元. 5. 10	平成2. 6. 30
16代	實原 裕	平成2. 7. 16	平成3. 5. 9
17代	竹村 仁實	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
18代	〃	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
19代	實原 裕	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
20代	竹村 仁實	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
21代	片桐 司郎	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
22代	小林 利一	平成13. 5. 15	平成15. 3. 3
23代	西尾 喜好	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
24代	岩崎 和男	平成17. 5. 13	平成19. 5. 10
25代	熊谷 富夫	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
26代	上澤 義一	平成21. 5. 13	平成23. 5. 12
27代	中島武津雄	平成23. 5. 13	平成25. 4. 27
28代	〃	平成25. 5. 14	平成29. 4. 27
29代	木下 克志	平成29. 5. 10	

(9) 歴代事務局長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	林 政人	昭和31. 9. 30	昭和39. 3. 31
2代	久保 武敏	昭和39. 4. 1	昭和44. 3. 31
3代	福井 実	昭和44. 4. 1	昭和44. 10. 19
4代	村沢 光男	昭和44. 10. 20	昭和48. 6. 30
5代	酒井 篤	昭和48. 7. 1	昭和50. 3. 31
6代	宮沢 邦男	昭和50. 4. 1	昭和54. 3. 31
7代	木下 良美	昭和54. 4. 1	昭和56. 3. 31
8代	松澤 平吉	昭和56. 4. 1	昭和59. 3. 31
9代	坂下 幸彦	昭和59. 4. 1	平成元. 3. 31
10代	小木曾義信	平成元. 4. 1	平成3. 3. 31
11代	浦野 勉	平成3. 4. 1	平成6. 3. 31
12代	横田 常	平成6. 4. 1	平成9. 3. 31
13代	山岸一二三	平成9. 4. 1	平成11. 3. 31
14代	吉川 元勝	平成11. 4. 1	平成13. 3. 31
15代	中本 卓良	平成13. 4. 1	平成15. 3. 31
16代	福田 富廣	平成15. 4. 1	平成16. 3. 31
17代	大沢 英二	平成16. 4. 1	平成17. 3. 31
18代	尾澤 敏秀	平成17. 4. 1	平成19. 3. 31
19代	中井 洋一	平成19. 4. 1	平成20. 3. 31
20代	平澤 和人	平成20. 4. 1	平成20. 12. 31
21代	篠田 雅弘	平成21. 1. 1	平成25. 3. 31
22代	福澤 栄二	平成25. 4. 1	平成27. 3. 31
23代	土屋 寿憲	平成27. 4. 1	平成29. 3. 31
24代	吉川 昌彦	平成29. 4. 1	

(10)歴代市議会議員

ア 昭和31年9月30日執行（1市7か村合併）

(7) 三穂地区 12人

林 武男	林 武司	坂巻 政美	林 保	古川 舎人	佐藤 芳房
宮沢 敬信	前沢 蔵六	川井 邦	西村 文雄	川上 竹市	久保田安美

(イ) 飯田地区 29人

代田源六郎	斉藤 隆久	今村 正美	田口 秀夫	牧島 保一	大竹 四郎
井村豊太郎	井原 淳治	辻 虎松	山田 亮一	深津 一郎	酒井 府
古瀬 仁	菊池 恭平	児島 栄次	宮下 綱六	吉川 一	中田 栄
木下 一人	実原 徳重	佐々木清信	近松 宗一	木下 勝義	加藤 英男
田中 悟	早川 清雄	荒井重右衛門	長坂 晃	漆原 恒実	

(ウ) 座光地地区 16人

知久陽之祐	北原 弘	片桐 卓治	上沼 善夫	黒川 利一	今村 良美
湯沢 博司	篠田力三郎	棚田 正雄	佐々木貞雄	竹内 武男	原田 栄治
佐々木信雄	原田 幸雄	三村 利	竹内 兵治		

(エ) 竜丘地区 16人

伊原 悦雄	下平 広志	原 登	吉川 正己	中平恒三郎	今村 恵
長沼 保治	林 正司	松村 新八	前島 秀夫	北沢小太郎	沖田 武一
下田 巖	原 光人	下平 勲資	塚平 睦雄		

(オ) 松尾地区 22人

林 宗三郎	江塚 角三	斉藤 忠治	木下 徳雄	塩沢 秋生	平栗 英祐
山中 竜策	今村 輝男	小木曾嘉一	青山 孝一	常盤 喜八	福島 淡
牛草 利春	藤田 勇夫	塩沢伝之助	中山 政雄	奥田 利吉	松村 信一
熊谷 好次	金井 啓	伊与部金一	木下 章雄		

(カ) 下久堅地区 16人

平沢 清人	池田 嘉篤	吉沢 昇	羽生 一善	宮川藤次郎	森岡 清志
宮内 昇	三石 義臣	宮脇 利雄	桐生 忠治	橋爪徳次郎	三石誠一郎
羽場 義雄	木下 平治	坂井 伸一	平沢 亮治		

(キ) 伊賀良地区 22人

坂下 美富	矢沢 秀一	相原 貢	橋部 文男	今牧 泰三	伊藤 仁
佐々木省吾	元島 均治	今牧 照男	平田 武司	水野 恒夫	神部 稲男
矢沢 清志	松沢 武雄	伊藤 清	肥後 明一	平田 薫	田部 勇
鈴木 太郎	新井 一正	宮下 喜一	原 稲太郎		

(ク) 山本地区 16人

尾沢 元一	熊谷 英雄	竹村 汎愛	平岩四郎吉	竹村 央	遠山 皓
熊谷 広男	山内 精一	田中 伝	金田 伝	唐沢 茂一	玉置 敏夫
久保田久吉	金沢 重雄	熊崎 六蔵	小池 政之		

合計 149人

イ 昭和32年4月28日執行（合併による設置選挙 任期は昭和32年4月28日から昭和36年4月27日まで 8選挙区 定数36）

片山 均	伊藤 誠一	久保田一男	松沢 広	田中 伝	島岡 利雄
林 保	林 省三	北沢小太郎	伊原 悦雄	木下 章雄	伊与部金一
葛岡 利治	丸山 治郎	小林 新吾	宮脇 省	佐々木利夫	知久陽之祐
代田源六郎	実原 徳重	佐々木清信	近松 宗一	今村 正美	児島 栄次
井原 淳治	堀 保麿	福島 勝男	古瀬 仁	漆原 恒美	串原 義直
山田 亮一	深津 一郎	辻 虎松	熊谷 一郎	田口 秀男	岡島 新治

ウ 昭和35年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和35年10月26日から昭和36年4月27日まで 定数3）

新井 安男 鳴海 衛 前島 成光

エ 昭和36年4月23日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和36年4月28日から昭和40年4月27日まで9選挙区 定数28）

片山 均	浜島 惣一	伊原 春男	鳴海 衛	宮内 昇	葛岡 利治
岡村 賢作	知久陽之祐	丸山 治郎	関島彦四郎	佐々木清信	代田源六郎
代田 哲	今牧 照男	新井 安男	近松 宗一	木下 章雄	串原 義直
福島 勝男	前島 成光	小林 新吾	沢柳 敏夫	漆原 恒美	辻 虎松
竹村 央	伊藤 誠一	松重 新一	熊谷 一郎		

オ 昭和39年5月15日執行（龍江村、千代村及び上久堅村の3か村合併による増員選挙 任期は昭和39年5月15日から昭和40年4月27日まで 定数は龍江2、千代2、上久堅1の合計5）

林 昌平 松尾 純二 大平 節蔵 林 武男 斉藤 宗義

カ 昭和39年8月28日執行（伊賀良地区補欠選挙 任期は昭和39年8月29日から昭和40年4月27日まで 定数1）

代田 保雄

キ 昭和39年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和39年10月26日から昭和40年4月27日まで 定数1）

宮嶋 繁

ク 昭和40年4月25日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和40年4月28日から昭和44年4月27日まで 全市1選挙区 定数36）

林 昌平	前島 秀夫	北原 正司	鳴海 衛	辻 虎松	市村 保人
小林 新吾	代田 保雄	近松 宗一	代田源六郎	矢崎 三郎	沢柳 俊夫
榊田 太一	今村 治郎	丸山 治郎	松江 良夫	伊原 悦雄	原 茂
大蔵 浜雄	宮嶋 茂	漆原 恒美	富田 政雄	葛岡 利治	大平 節蔵
今村 輝男	新井 安男	佐々木清信	宮内 昇	熊谷 一郎	宮脇 省

前島 成光 熊谷 武志 齊藤 宗義 原田 正志 今牧 照男 関島彦四郎

ケ 昭和43年10月20日執行（補欠選挙 任期は昭和43年10月21日から昭和44年4月27日まで 定数2）

茂木立好則 内田 篤

コ 昭和44年4月20日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和44年4月28日から昭和48年4月27日まで 定数36）

池上 一雄	茂木立好則	位高 勉	永山 忠男	前島 成光	佐藤力三郎
今牧 照男	齊藤 宗義	小松 芳男	江塚 善二	宮内 昇	大蔵 浜雄
松下 茂	原 茂	原 康次	原田 正志	熊谷政一郎	西尾 仁一
中山 栄次	辻 虎松	榊田 太一	内田 篤	伊東 秀彦	北原 正司
松嶋 健次	今村 輝男	林 昌平	新井 安男	片桐 勲	近松 宗一
宮嶋 繁	熊谷 武志	市村 保人	鳴海 衛	伊原 悦雄	松江 良夫

サ 昭和47年10月22日執行（補欠選挙 任期は昭和47年10月23日から昭和48年4月27日まで 定数2）

森本 藤登 今牧 泰三

シ 昭和48年4月22日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和48年4月28日から昭和52年4月27日まで 定数36）

大蔵 浜雄	塩沢 文朗	片桐 芳朗	川手 守	前島 成光	佐藤力三郎
片桐七右衛門	伊藤 祐春	太田 猶市	佐々木 勝	平澤 與一	尾沢 貞夫
松下 茂	森本 藤登	佐々木清信	鳴海 衛	原 茂	松江 良夫
伊東 秀彦	松嶋 健次	今牧 泰三	内田 篤	西尾 仁一	橋部 肇
齊藤 為良	新井 安男	市村 保人	齊藤 宗義	今村 輝男	北原 正司
伊原 悦雄	近松 宗一	江塚 善二	宮内 昇	茂木立好則	林 昌平

ス 昭和51年10月17日執行（補欠選挙 任期は昭和51年10月18日から昭和52年4月27日まで 定数3）

熊谷 康登 西尾 保雄 片桐 勲

セ 昭和52年4月17日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和52年4月28日から昭和56年4月27日まで 定数30に減少）

片桐七右衛門	塩沢 文朗	片桐 芳朗	川手 守	熊谷 康登	齊藤 宗義
竹村 仁實	木下 登	原 広男	原 康次	松下 茂	西尾 保雄
内田 篤	森本 藤登	今村 馨	平澤 與一	片桐 勲	中島 勝美
林 利実	尾沢 貞夫	橋部 肇	細田 直彦	佐々木文雄	佐々木 勝
齊藤 為良	西尾 仁一	茂木立好則	松江 良夫	林 昌平	伊原 悦雄

ソ 昭和55年10月19日執行（補欠選挙 任期は昭和55年10月20日から昭和56年4月27日まで 定数1）

内山 照美

タ 昭和56年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和56年4月28日から昭和60年4月27日まで 定数30）

塩沢 昭	實原 裕	平田 友畝	酒井 米	前島 成光	熊谷 康登
片桐 芳朗	塩沢 文朗	中田 修	竹村 仁實	今村 馨	内山 照美
木下 登	西尾 保雄	原 康次	森本 藤登	中島 勝美	片桐七右衛門
松島 健次	原 広男	細田 直彦	平澤 與一	松下 茂	内田 篤
松江 良夫	林 昌平	片桐 勲	尾沢 貞夫	茂木立好則	伊原 悦雄

チ 昭和59年10月21日執行（補欠選挙 任期は昭和59年10月22日から昭和60年4月27日まで 定数1）

今村 八束

ツ 昭和59年12月1日執行（鼎町合併により鼎町議員が引き続いて市議会議員として在任 任期は昭和59年12月1日から昭和60年4月27日まで 定数52）

田原 慶一	武田 良人	中村 岸美	中島文三郎	木下 為輔	関島 一郎
五十君酒造大	高木 敏美	松沢アサエ	河村 弘久	水野佐知穂	村沢 延
吉川 義治	今村 淳	村沢 博	鷺見 知一	北沢 芳男	新井紀一郎
片桐 司郎	下田 武志	小林 雅夫	関島 秀夫		

テ 昭和60年4月21日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和60年4月28日から平成元年4月27日まで 定数31）

田中 秀典	下平 一郎	小林 三郎	松島 年一	澤柳辨治郎	吉川 昌子
熊谷 康登	牧内 信臣	櫻井 俊夫	久保田 元	吉川 義治	武田 良人
今村 八束	原 広男	今村 淳	塩沢 文朗	片桐 司郎	西尾 保雄
塩沢 昭	實原 裕	平田 友畝	酒井 米	関島 一郎	内山 照美
森本 藤登	松下 茂	竹村 仁實	細田 直彦	尾沢 貞夫	平澤 與一
松嶋 健次					

ト 昭和63年10月16日執行（補欠選挙 任期は昭和63年10月17日から平成元年4月27日まで 定数2）

小林 利一 長谷部徳治

ナ 平成元年4月23日執行（任期満了一般選挙 任期は平成元年4月28日から平成5年4月27日まで 定数31）

西尾 喜好	吉村徳一郎	伊原 与一	佐藤 好英	中田 佳甫	吉川 昌子
牛山 重一	牧内 信臣	塩澤 俊彦	長谷部徳治	伊藤 芳之	小林 利一

関島 秀夫	下平 一郎	渡 淳	今村 淳	櫻井 俊夫	片桐 司郎
小林 三郎	松島 年一	澤柳辨治郎	久保田 元	吉川 義治	今村 八束
西尾 保雄	塩澤 昭	實原 裕	平田 友畝	内山 照美	竹村 仁實
松江 良夫					

ニ 平成4年10月18日執行（補欠選挙 任期は平成4年10月19日から平成5年4月27日まで 定数1）

井出 健介

又 平成5年4月25日執行（任期満了一般選挙 任期は平成5年4月28日から平成9年4月27日まで 定数31）

柄澤 紀春	菅沼 立男	吉川 四郎	實原 公男	熊谷 富夫	久保田平八郎
下平 政幸	木下 昭一	牛山 重一	牧内 信臣	吉川 昌子	塩澤 俊彦
長谷部徳治	西尾 喜好	吉村徳一郎	伊原 与一	佐藤 好英	中田 佳甫
伊藤 芳之	渡 淳	今村 淳	櫻井 俊夫	片桐 司郎	小林 利一
下平 一郎	松島 年一	澤柳辨治郎	吉川 義治	今村 八束	實原 裕
竹村 仁實					

ネ 平成5年8月1日執行（上郷町編入合併に伴う増員選挙 任期は平成5年8月2日から平成9年4月27日まで 定数5）

中田 裕康 井坪 隆 岩崎 和男 岡島 豊 大坪 勇

ノ 平成8年10月20日執行（補欠選挙 任期は平成8年10月21日から平成9年4月27日まで 定数1）

矢澤 芳文

ハ 平成9年4月20日執行（任期満了一般選挙 任期は平成9年4月28日から平成13年4月27日まで 定数31）

佐藤久美子	小池 清	清水 可晴	佐々木重光	原 勉	中島武津雄
上澤 義一	荒木 興利	大坪 勇	牛山 重一	牧内 信臣	矢澤 芳文
井坪 隆	岩崎 和男	林 幸次	渡 淳	熊谷 富夫	久保田平八郎
下平 政幸	木下 昭一	西尾 喜好	柄澤 紀春	菅沼 立男	實原 公男
吉村徳一郎	佐藤 好英	中田 佳甫	小林 利一	今村 八束	片桐 司郎
竹村 仁實					

ヒ 平成12年10月15日執行（補欠選挙 任期は平成12年10月16日から平成13年4月27日まで 定数1）

原 和世

フ 平成13年4月22日執行（任期満了一般選挙 任期は平成13年4月28日から平成17年4月27日

まで 定数31)

木下 容子	下平 勝熙	伊壺 敏子	大谷 恵子	湯澤 宗保	森本美保子
村松まり子	牛山満智子	清水 可晴	小池 清	牛山 重一	牧内 信臣
原 和世	原 勉	林 幸次	渡 淳	久保田平八郎	柄澤 紀春
菅沼 立男	中島武津雄	上澤 義一	佐々木重光	荒木 興利	井坪 隆
岩崎 和男	矢澤 芳文	熊谷 富夫	下平 政幸	木下 昭一	西尾 喜好
小林 利一					

へ 平成16年10月24日執行（補欠選挙 任期は平成16年10月25日から平成17年4月27日まで 定数2）

後藤 荘一 木下 克志

ホ 平成17年4月24日執行（任期満了一般選挙 任期は平成17年4月28日から平成21年4月27日まで 定数27）

清水 勇	代田 剛嗣	新井信一郎	内山 要子	吉川 秋利	伊藤 清春
永井 一英	木下 容子	下平 勝熙	後藤 荘一	木下 克志	湯澤 宗保
森本美保子	柄澤 紀春	村松まり子	林 幸次	清水 可晴	伊壺 敏子
原 和世	原 勉	中島武津雄	上澤 義一	佐々木重光	矢澤 芳文
岩崎 和男	熊谷 富夫	牧内 信臣			

マ 平成17年10月30日執行（上村及び南信濃村の編入合併に伴う増員選挙 任期は平成17年10月31日から平成21年4月27日まで 定数2）

山崎 紀男 後藤 修三

ミ 平成21年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は平成21年4月28日から平成25年4月27日まで 定数23に減少）

湯澤 啓次	湊 猛	清水 勇	吉川 秋利	永井 一英	福沢 清
内田 雄一	牛山満智子	新井信一郎	木下 克志	木下 容子	下平 勝熙
村松まり子	森本美保子	後藤 荘一	伊壺 敏子	中島武津雄	上澤 義一
清水 可晴	林 幸次	井坪 隆	原 和世	原 勉	

ム 平成25年4月21日執行（任期満了一般選挙 任期は平成25年4月28日から平成29年4月27日まで 定数23）

竹村 圭史	木下 徳康	熊谷 泰人	湯澤 啓次	山崎 昌伸	森本 政人
古川 仁	小倉 高広	湊 猛	新井信一郎	清水 勇	吉川 秋利
永井 一英	木下 容子	福沢 清	後藤 荘一	木下 克志	中島武津雄
村松まり子	林 幸次	清水 可晴	井坪 隆	原 和世	

メ 平成29年4月16日執行（任期満了一般選挙 任期は平成29年4月28日から平成33年4月27日
まで 定数23）

清水優一郎	岡田 倫英	塚平 一成	竹村 圭史	小林 真一	福澤 克憲
古川 仁	木下 徳康	山崎 昌伸	熊谷 泰人	湯澤 啓次	永井 一英
福沢 清	木下 容子	後藤 荘一	湊 猛	新井信一郎	清水 勇
吉川 秋利	木下 克志	村松まり子	井坪 隆	原 和世	

3 1年間の記録

(1) 付議事件及び議決結果一覧表

① 市長提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第1号	公平委員会の委員の選任について	29. 2. 23	29. 2. 23	同意
議案第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	29. 2. 23	29. 2. 23	同意
議案第3号	飯田市南部財産区管理委員の選任について	29. 2. 23	29. 2. 23	同意
議案第4号	飯田市羽場財産区管理委員の選任について	29. 2. 23	29. 2. 23	同意
議案第5号	飯田市長野原財産区管理委員の選任について	29. 2. 23	29. 2. 23	同意
議案第6号	飯田市時又財産区管理委員の選任について	29. 2. 23	29. 2. 23	同意
議案第7号	飯田市桐林財産区管理委員の選任について	29. 2. 23	29. 2. 23	同意
議案第8号	飯田市上川路財産区管理委員の選任について	29. 2. 23	29. 2. 23	同意
議案第9号	飯田市駄科財産区管理委員の選任について	29. 2. 23	29. 2. 23	同意
議案第10号	飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の制定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第11号	飯田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第12号	飯田市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例及び飯田市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第13号	飯田市税条例等の一部を改正する条例の制定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第14号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第15号	飯田市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第16号	飯田市立幼稚園条例を廃止する条例の制定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第17号	飯田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第18号	飯田市桐林勤労者福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する等の条例の制定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第19号	飯田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第20号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市旧飯田測候所）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第21号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市野底山森林公園）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第22号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市大平宿生活原体験施設）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第23号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市山本都市農村交流促進施設）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第24号	市道路線の認定について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第25号	市道路線の廃止について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第26号	市道路線の変更について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第27号	訴えの提起について	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第28号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市旧小笠原家書院・小笠原資料館）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第29号	喬木村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて	29. 2. 23	29. 2. 23	可決
議案第30号	平成28年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第31号	平成28年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第32号	平成28年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第2号）案	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第33号	平成28年度飯田市水道事業会計補正予算（第3号）案	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第34号	平成28年度飯田市下水道事業会計補正予算（第3号）案	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第35号	平成28年度飯田市各財産区会計補正予算（第1号）案	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第36号	平成29年度飯田市一般会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第37号	平成29年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第38号	平成29年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第39号	平成29年度飯田市介護保険特別会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第40号	平成29年度飯田市地方卸売市場事業特別会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第41号	平成29年度飯田市駐車場事業特別会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第42号	平成29年度飯田市墓地事業特別会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第43号	平成29年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第44号	平成29年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第45号	平成29年度飯田市病院事業会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第46号	平成29年度飯田市水道事業会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第47号	平成29年度飯田市下水道事業会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第48号	平成29年度飯田市各財産区会計予算（案）	29. 2. 23	29. 3. 23	可決
議案第49号	いいだ未来デザイン会議条例の制定について	29. 3. 23	29. 3. 23	可決
議案第50号	工事請負契約の締結について（「産業振興の拠点」整備事業第Ⅱ期建築工事）	29. 3. 23	29. 3. 23	可決
議案第51号	固定資産評価員の選任について	29. 5. 9	29. 5. 10	同意

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第52号	飯田市松尾地区財産区管理委員の選任について	29. 5. 9	29. 5. 10	同意
議案第53号	監査委員の選任について	29. 5. 10	29. 5. 10	同意
議案第54号	農業委員会の委員の任命について	29. 6. 1	29. 6. 1	同意
議案第55号	飯田市特別職の旅費に関する条例及び飯田市特別職の職員で非常勤の者の報酬に関する条例の一部を改正する条例の制定について	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第56号	飯田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第57号	飯田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第58号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第59号	飯田市地域自治区の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第60号	飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第61号	飯田市歴史研究所条例の一部を改正する条例の制定について	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第62号	飯田市過疎地域自立促進計画の変更について	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第63号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市特別養護老人ホーム）	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第64号	市道路線の変更について	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第65号	平成29年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第66号	平成29年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第67号	平成29年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）案	29. 6. 1	29. 6. 23	可決
議案第68号	教育委員会の委員の任命について	29. 9. 5	29. 9. 5	同意
議案第69号	飯田市東野財産区管理委員の選任について	29. 9. 5	29. 9. 5	同意
議案第70号	飯田市千代財産区管理委員の選任について	29. 9. 5	29. 9. 5	同意
議案第71号	飯田市企業立地の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	29. 9. 5	29. 9. 28	可決
議案第72号	飯田市子育て短期支援事業の実施に係る分担金の徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	29. 9. 5	29. 9. 28	可決
議案第73号	飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について	29. 9. 5	29. 9. 28	可決
議案第74号	飯田市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について	29. 9. 5	29. 9. 28	可決
議案第75号	飯田市総合運動場条例の制定について	29. 9. 5	29. 9. 28	可決
議案第76号	飯市勤労者体育センター条例の一部を改正する条例の制定について	29. 9. 5	29. 9. 28	可決
議案第77号	飯田市勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例の制定について	29. 9. 5	29. 9. 28	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第78号	和解をすることについて	29.9.5	29.9.28	可決
議案第79号	工事請負契約の締結について（公民館等耐震化整備事業上郷公民館本体建築工事）	29.9.5	29.9.28	可決
議案第80号	平成28年度飯田市水道事業剰余金の処分について	29.9.5	29.9.28	可決
議案第81号	平成28年度飯田市下水道事業剰余金の処分について	29.9.5	29.9.28	可決
議案第82号	平成29年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案	29.9.5	29.9.28	可決
議案第83号	平成29年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第1号）案	29.9.5	29.9.28	可決
議案第84号	平成29年度飯田市墓地事業特別会計補正予算（第1号）案	29.9.5	29.9.28	可決
議案第85号	平成29年度飯田市水道事業会計補正予算（第1号）案	29.9.5	29.9.28	可決
議案第86号	平成29年度飯田市下水道事業会計補正予算（第1号）案	29.9.5	29.9.28	可決
議案第87号	平成29年度飯田市各財産区会計補正予算（第1号）案	29.9.5	29.9.28	可決
議案第88号	平成28年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第89号	平成28年度飯田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第90号	平成28年度飯田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第91号	平成28年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第92号	平成28年度飯田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第93号	平成28年度飯田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第94号	平成28年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第95号	平成28年度飯田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第96号	平成28年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第97号	平成28年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第98号	平成28年度飯田市病院事業決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第99号	平成28年度飯田市水道事業決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第100号	平成28年度飯田市下水道事業決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第101号	平成28年度飯田市各財産区会計歳入歳出決算認定について	29.9.5	29.9.28	認定
議案第102号	工事請負契約の締結について（「産業振興の拠点」整備事業第Ⅲ期建築工事）	29.9.14	29.9.28	可決
議案第103号	平成29年度飯田市一般会計補正予算（第4号）案	29.9.14	29.9.28	可決
議案第104号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	29.11.28	29.11.28	同意

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議案第105号	職員の育児休業等に関する条例及び飯田市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第106号	飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第107号	市営土地改良事業等の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第108号	飯田市営住宅分譲条例及び飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第109号	飯田市都市計画法施行条例の一部を改正する条例の制定について	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第110号	飯田市土地利用調整条例の一部を改正する条例の制定について	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第111号	飯田市屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第112号	飯田市都市公園条例等の一部を改正する条例の制定について	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第113号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市デイサービスセンター）	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第114号	損害賠償の額を定めることについて	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第115号	損害賠償の額を定めることについて	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第116号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市上村山村文化資源保存伝習施設）	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第117号	平成29年度飯田市一般会計補正予算（第6号）案	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第118号	平成29年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第2号）案	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第119号	平成29年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計補正予算（第1号）案	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第120号	平成29年度飯田市水道事業会計補正予算（第2号）案	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第121号	平成29年度飯田市下水道事業会計補正予算（第2号）案	29. 11. 28	29. 12. 19	可決
議案第122号	飯田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	29. 12. 8	29. 12. 19	可決
議案第123号	工事請負契約の締結について（特別養護老人ホーム飯田荘建設事業建築工事）	29. 12. 8	29. 12. 19	可決
議案第124号	工事請負契約の締結について（特別養護老人ホーム飯田荘建設事業機械設備工事）	29. 12. 8	29. 12. 19	可決
議案第125号	平成29年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案	29. 12. 8	29. 12. 19	可決
議案第126号	平成29年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第2号）案	29. 12. 8	29. 12. 19	可決
議案第127号	平成29年度飯田市病院事業会計補正予算（第1号）案	29. 12. 8	29. 12. 19	可決
議案第128号	平成29年度飯田市水道事業会計補正予算（第3号）案	29. 12. 8	29. 12. 19	可決
議案第129号	平成29年度飯田市下水道事業会計補正予算（第3号）案	29. 12. 8	29. 12. 19	可決

② 議会提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
議会議案 第1号	地域の実情に応じた民泊制度に向けた法整備を求める意見書の提出について	29. 3. 23	29. 3. 23	可決
議会議案 第2号	飯田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	29. 5. 10	29. 5. 10	可決
議会議案 第3号	長野県議会議員の選挙区及び議員定数に関する決議について	29. 6. 23	29. 6. 23	可決
議会議案 第4号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について	29. 9. 28	29. 9. 28	可決
議会議案 第5号	道路整備予算の拡充及び道路整備事業に係る補助率等の嵩上げ措置の継続等を求める意見書の提出について	29. 9. 28	29. 9. 28	可決
議会議案 第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	29. 9. 28	29. 9. 28	可決
議会議案 第7号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書の提出について	29. 9. 28	29. 9. 28	可決
議会議案 第8号	国の責任による35人学級の推進及び教育予算の増額を求める意見書の提出について	29. 9. 28	29. 9. 28	可決
議会議案 第9号	複式学級の編制基準の改善及び教職員定数増を求める意見書の提出について	29. 9. 28	29. 9. 28	可決
議会議案 第10号	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書の提出について	29. 12. 19	29. 12. 19	可決

③ 報告議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 2. 23		
報告第2号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 2. 23		
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について）	29. 5. 9	29. 5. 9	承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）	29. 5. 9	29. 5. 9	承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて（飯田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について）	29. 5. 9	29. 5. 9	承認
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度飯田市一般会計補正予算（第8号））	29. 5. 9	29. 5. 9	承認
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度飯田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号））	29. 5. 9	29. 5. 9	承認
報告第8号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度飯田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号））	29. 5. 9	29. 5. 9	承認
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第2号））	29. 5. 9	29. 5. 9	承認

事件番号	事 件 名	上程日	議決日	議決結果
報告第10号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 5. 9		
報告第11号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 5. 9		
報告第12号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 5. 9		
報告第13号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 6. 1		
報告第14号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 6. 1		
報告第15号	飯田市基本計画の実施状況の概要について	29. 6. 1		
報告第16号	権利の放棄について（市営住宅の家賃に係る債権）	29. 6. 1		
報告第17号	権利の放棄について（病院料金に係る債権）	29. 6. 1		
報告第18号	権利の放棄について（水道料金に係る債権）	29. 6. 1		
報告第19号	平成28年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	29. 6. 1		
報告第20号	平成28年度飯田市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	29. 6. 1		
報告第21号	平成28年度飯田市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	29. 6. 1		
報告第22号	飯田市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	29. 6. 1		
報告第23号	飯田清掃株式会社の経営状況を説明する書類の提出について	29. 6. 1		
報告第24号	株式会社飯田健康温泉の経営状況を説明する書類の提出について	29. 6. 1		
報告第25号	一般財団法人飯田勤労者共済会の経営状況を説明する書類の提出について	29. 6. 1		
報告第26号	一般財団法人飯田市南信濃振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	29. 6. 1		
報告第27号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度飯田市一般会計補正予算（第2号））	29. 9. 5	29. 9. 5	承認
報告第28号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 9. 5		
報告第29号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 9. 5		
報告第30号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 9. 5		
報告第31号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	29. 9. 5		
報告第32号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度飯田市一般会計補正予算（第5号））	29. 11. 28	29. 11. 28	承認
報告第33号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 11. 28		
報告第34号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	29. 11. 28		

(2) 議会において執行した選挙・選任等

(平成29年1月から平成29年12月まで)

会 期	年月日	選挙・選任の内容
第1回定例会	29. 2. 23	・公平委員会の委員の選任
		・人権擁護委員の候補者の推薦
		・飯田市南部財産区管理委員の選任
		・飯田市羽場財産区管理委員の選任
		・飯田市長野原財産区管理委員の選任
		・飯田市時又財産区管理委員の選任
		・飯田市桐林財産区管理委員の選任
		・飯田市上川路財産区管理委員の選任
第1回臨時会	29. 5. 10	・固定資産評価員の選任
		・飯田市松尾地区財産区管理委員の選任
		・監査委員の選任
第2回定例会	29. 6. 1	・農業委員会の委員の任命
第3回定例会	29. 9. 5	・教育委員会の委員の任命
		・飯田市東野財産区管理委員の選任
		・飯田市千代財産区管理委員の選任
第4回定例会	29. 11. 28	・固定資産評価審査委員会の委員の選任

(3) 委員会活動開催状況

(平成29年1月から平成29年12月まで)

	常任委員会			特別委員会		議会運営委員会	議会改革推進会議	広報広聴委員会	全員協議会
	総務	社会文教	産業建設	リニア推進	基本構想基本計画				
委員会	8	7	7	7	1	17	10	15	0
協議会	6	6	6	7	0	0	0	0	8
計	14	13	13	14	1	17	10	15	8

(4)請願陳情

①委員会別審査状況

(平成29年1月から平成29年12月まで)

		処 理 状 況							合計
		採択	趣旨採択	審議未了	取下げ	不採択	審議中	議決を要さず	
請 願	総務	1							1
	社会文教	3	1		1	2			7
	産業建設								
	計	4	1		1	2			8
陳 情	総務								
	社会文教	1	2			1			4
	産業建設	1							1
	計	2	2			1			5

※受理番号1件のもので、要旨が数項目ある場合

- ① 同一委員会で、全ての項目を審査し、全項目を一括採決した場合は、1件とする。
- ② 処理状況が複数にわたる場合は、その結果をそれぞれ1件とする。
- ③ 複数の委員会へ項目を分けて付託審査した場合は、それぞれを1件とする。

したがって②③の処理がされた場合は、「受付番号」の件数より、処理状況合計数は大きくなる。

②請願議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上程年月日	議決年月日	議決結果
社文	29請願第1号	国に対し、給付制奨学金制度の創設を求める意見書を提出願いたい	29.9.5	取り下げ	
総務	29請願第2号	国に対し、「地方財政の充実・強化を求める意見書」を提出願いたい	29.9.14	29.9.28	採択
社文	29請願第3号	国に対し、「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書を提出願いたい	29.9.14	29.9.28	採択
社文	29請願第4号	国に対し、国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書を提出願いたい	29.9.14	29.9.28	採択
社文	29請願第5号	国に対し、複式学級の編制基準の改善及び教職員定数増を求める意見書を提出願いたい	29.9.14	29.9.28	採択
社文	29請願第6号	国及び県に対し、介護の人材確保・離職防止を求める意見書を提出願いたい	29.12.8	29.12.19	不採択
社文	29請願第7号	国に対し、給付型奨学金制度の拡充を求める意見書を提出願いたい	29.12.8	29.12.19	趣旨採択
社文	29請願第8号	市に対し、給付型奨学金制度の創設を求める	29.12.8	29.12.19	不採択

③陳情議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上程年月日	議決年月日	議決結果
社文	28陳情第4号	県に対し、子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める意見書を提出願いたい	28.12.9	29.3.23	趣旨採択
産建	29陳情第1号	国に対し、地域の実情に応じた民泊制度の実現に向けた法整備を求める意見書を提出願いたい	29.3.8	29.3.23	採択
社文	29陳情第2-1号	市に対し、県小学校プールの外壁の基礎部分を補修するとともに、外壁上部にある金網フェンスに換えて目隠しフェンスを設置願いたい	29.12.8	29.12.19	趣旨採択
社文	29陳情第2-2号	市に対し、県小学校西側プールに面した道路について、自動車の待避所を設置願いたい。また、この道は児童の通学路でもあり、安全を考慮して緑色に識別した歩行者レーンを設置願いたい	29.12.8	29.12.19	不採択
社文	29陳情第3号	国に対し、受動喫煙防止対策を進めるために、健康増進法の改正を求める意見書を提出願いたい	29.12.8	29.12.19	採択

(5) 定例会の質問事項

① 平成29年飯田市議会第1回定例会一般質問通告表

平成29年3月7,8日

No.	氏名	項目・要旨
1	井坪 隆 (会派みらい)	1 飯田文化会館の建て替えについて (1) 市長の公約に「文化会館の建て替えに際して検討を進める」とあるが、新・飯田文化会館(仮称)の建設について検討しているか (2) 広域連合のインフラ整備に関する基本方針には、コンベンションセンターの整備が盛り込まれているが、市長の公約とは関連するか (3) 建設するとした場合、建設費をどの程度と見込んでいるか (4) ホールを有する文化施設(飯田文化会館)の在り方についての協議を、今後どのように進めていくか
2	竹村 圭史 (会派のぞみ)	1 飯田市のごみ袋について (1) 燃やすごみの袋の大きさについて ① 現在の規格(材質および大きさ)は、どのような考え方で決められたか ② 稲葉クリーンセンターの運用開始に伴い、ごみ袋の規格をどのように考えているか ③ 介護や育児を行っている市民からは、現在の小袋よりさらに小さなサイズを望む声があるがどうか (2) 飯田市の燃やすごみ、プラスチック製容器包装、埋立ごみ、資源ごみ、それぞれの袋について ① すべての市民に対して判別しやすくなっているか ② 稲葉クリーンセンターの運用開始を機に、すべての市民が判別しやすい規格を考えてみてはどうか
3	吉川 秋利 (会派のぞみ)	1 JR飯田線乗換新駅について (1) 新駅設置の目的は何か、またどのような効果を考えているか (2) 設置に関する経費負担をどのように考えているか (3) リニア中央新幹線との結節はどのように考えているか (4) 今後どのように進めていくか 2 教育課題について (1) コミュニティスクールについてどのように進め、定着を図るか (2) ICT教育についてどのように進めるか (3) 英語教育が小学校3年から取り入れる方向性が示されたが、問題と対応は (4) 小中連携・一貫教育の課題についてどのように考えているか
4	福沢 清 (会派みらい)	1 長野県人口異動調査に伴う人口減少、とりわけ「社会減」をどう捉えるか (1) 飯田市として「社会減」についての分析はどうか (2) 「社会増」にむけての政策は 2 まちなか観光について (1) まちなか観光の現状はどうか (2) まちなか観光の振興策は
5	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	1 スポーツ振興について (1) 「長野県中学生期のスポーツ活動指針」策定後の市内の中学校運動部活動の現状は (2) スポーツ施設・アリーナ建設に向けての取り組み状況は (3) 川路多目的広場の芝生化を行い、サッカー・ラグビーなどスポーツ合宿の受け入れを行うことで、天龍峡温泉交流館との連携が図れると考えるがどうか

No.	氏名	項目・要旨
	熊谷 泰人	<p>2 公共施設マネジメント基本方針について</p> <p>(1) 第一段階としての優先検討施設である文化・生涯学習施設の検討状況について</p> <p>① 文化会館ほか、2つの市民ホールについて、現在の検討状況は</p> <p>② 31年度までの3年間の詳細な検討スケジュールは</p> <p>3 鳥獣被害対策について</p> <p>(1) 猿害の現状と対策は</p> <p>4 いいだ未来デザイン2028について</p> <p>(1) 市民への広報用として、子どもから高齢者までが、目で見ても理解できるよう、12年後の「8つの目指すまちの姿」のアニメーションを制作してはどうか</p>
6	山崎 昌伸 (会派のぞみ)	<p>1 学習指導要領改定案について</p> <p>(1) 改定案の骨子は何か</p> <p>(2) 飯田市の学校教育において、改定案から見えてくる課題をどのように捉えているか</p> <p>(3) 課題に対し、どのように対応する考えか</p> <p>2 ふるさと納税について</p> <p>(1) 平成28年度実績の見込みは</p> <p>① 寄付額と、返礼品の仕入れ他の経費の内訳は</p> <p>② 寄付の目的の内訳は</p> <p>③ 返礼品の内訳は</p> <p>(2) ふるさと納税の制度に対する市の考え方は</p> <p>① 現在の考え方はどうか</p> <p>② 将来の方向性はどうか</p> <p>(3) 返礼品のもつマーケティング機能は発揮されているか</p> <p>① 分析、検証はされているか</p> <p>② 返礼品を選ぶ際には、マーケティング機能も考慮に入れているか</p>
7	森本 政人 (市民パワー)	<p>1 地域医療の充実における市立病院の役割について</p> <p>(1) 医療と介護の連携における市立病院の果たす役割は</p> <p>(2) がん拠点病院としての機能と役割は</p> <p>(3) がん診療の実態は</p> <p>① 飯田下伊那診療情報連携システム(ism-Link)の活用は</p> <p>2 介護支援専門員について</p> <p>(1) 市内に介護支援専門員は何人いるか</p> <p>(2) 介護支援専門員の現状は</p> <p>(3) 資格更新手続きの現状と課題は</p> <p>3 この地域のシードル振興の取組について</p> <p>(1) シードル振興の取組の現状は</p> <p>(2) シードル特区の現状は</p> <p>(3) 取組への支援の考え方は</p>
8	木下 容子 (市民パワー)	<p>1 子どもの貧困対策について</p> <p>(1) 全国的に子どもの貧困が大きな問題となっているが、飯田市の状況はどうか</p> <p>(2) まずは実態把握が必要だと考えるが、実態調査を行う考えはあるか</p> <p>(3) 現状の課題をどのように捉え、対策をどのように展開していくか</p> <p>(4) 飯田市として子どもの貧困対策のための計画策定の考えはあるか</p> <p>2 子どもの福祉医療費給付事業について</p> <p>(1) 福祉医療費給付事業窓口無料化について、どこまで検討しているか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	木下容子	<p>(2) 国では窓口無料化の対象を未就学児までとしているが、飯田市の方針はどうか</p> <p>(3) 子どもの貧困対策として、貸付制度を有効に活用する考えはあるか</p>
9	古川仁 (日本共産党)	<p>1 飯田市の子育て支援について</p> <p>(1) 就学援助の現状と今後の対応は</p> <p>① 新入学児童・生徒への援助費は</p> <p>② 国の基準が引き上げられたが、市の対応は</p> <p>(2) 子ども・障がい者医療費窓口無料化の考えは</p> <p>① 国・県の動向を踏まえ、市としての対応は</p>
10	小倉高広 (日本共産党)	<p>1 新焼却施設の運用開始に伴う燃やすごみ袋代の引き下げについて</p> <p>(1) 新しい焼却施設の運用開始で、燃やすごみ袋代の引き下げは可能か</p> <p>① 飯田市の燃やすごみ袋代は他市町村と比べ高いが、その理由は何か</p> <p>② 新しい焼却施設の運用開始で、1kgあたりのごみ処理費用はどう変わるか。それにより燃やすごみ袋代は安くないか</p> <p>③ 一袋あたりのごみの処理費用を市と市民が1/2ずつ負担するという方式は、どのような理由によるか</p> <p>(2) 「ごみの有料化」はごみの減量やリサイクル事業にどのように貢献したか</p> <p>① 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」では、ごみの処理及び清掃に関する地方自治体の責務はどのように規定されているか</p> <p>② 「ごみの有料化」によって、ごみの減量化やリサイクル事業はどのように進んだか</p> <p>③ 「ごみの有料化」の検証はどのようにされているか</p> <p>(3) ごみ出しが困難な高齢者に対する対策はどのようにするか</p> <p>① ごみ集積場の設置基準を緩和する考えはあるか</p> <p>② いいだ未来デザイン2028戦略計画に集積所までのごみ運搬が困難な世帯に対する支援の拡充を図るとあるが、どのように行うか</p>
11	村松まり子 (公明党)	<p>1 発達障がい児・者への支援の充実について</p> <p>(1) 改正発達障害者支援法に伴う市の取組みについて</p> <p>① 法改正を市としてどのように捉えているか</p> <p>② 改正された発達障害者支援法の具体的な対応は</p> <p>ア 第2条の発達障害者における社会的障壁とは何か</p> <p>イ 第5条の児童の発達障害の早期発見の観点から、保護者への情報提供、助言についての取組みは</p> <p>ウ 第8条の教育の観点から、個別の教育支援計画及び個別の指導計画の策定と今後の取組みは</p> <p>エ 関係機関間の相談支援体制の整備は</p> <p>(2) 障がい児・者への理解を深めるバリアフリー教育を推進してはどうか</p> <p>(3) 災害時の発達障がい児・者への支援について</p> <p>① 避難所開設時の障がい児・者受け入れ態勢は</p> <p>② 災害時における発達障がい児・者の特性への理解、支援体制は</p>
12	林幸次 (公明党)	<p>1 市長の市政経営方針について</p> <p>(1) 若い人が帰って来られる産業づくりについて</p> <p>① 「地域経済活性化プログラム」による経済振興策の成果や課題は何か</p> <p>(2) 誰もが住み続けたいと思う地域づくりをどう進めるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	林 幸 次	(3) リニア・三遠南信自動車道の開通を見据えた飯田ブランドの確立について <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田ブランドとして何を売りにするか (4) 国際学術研究機能を有する「小さな世界都市」の具体像は何か 2 リニア時代を見据えた中山間地域の振興について (1) 中山間地域振興計画の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> ① 計画策定後8年を経過したが、進捗状況はどうか ② 各地区の基本構想・基本計画や地域の要望が反映されているか (2) 若者の地方定住化を推進する「地域おこし協力隊」について <ul style="list-style-type: none"> ① 地域おこし協力隊員の活動状況及び評価はどうか ② 地域おこし協力隊員の定住・定着のための支援策は (3) ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージについて <ul style="list-style-type: none"> ① 今年で12回目を迎えるが、継続開催に向けた取り組みはどうか
13	湯 澤 啓 次 (会派のぞみ)	1 年頭所感「イノベーションが起こる地域社会の創造に向けて」について (1) 「いいだ未来デザイン2028」との関係は <ul style="list-style-type: none"> ① これからの地域社会におけるイノベーションとは何か ② 「百人による一歩」の革新とは ③ 飯田市が地方創生の全国モデルとして果たすべき役割とは (2) 地域社会におけるイノベーションの創発にマーケティングの古典であるイノベーター理論の応用について <ul style="list-style-type: none"> ① 庁内横断プロジェクトにイノベーター(革新者)を活用する考えは ② 誰もがイノベーターに成りえる「飯田版イノベーションサイクルの構築」の考えは 2 リニア中央新幹線関連事業の取組みについて (1) リニア駅周辺整備区域に隣接するエリアの土地利用計画は (2) リニア関連事業に伴う市道整備計画は (3) 代替地対策の進捗は (4) 市長の「住民に寄り添う」方針はどこまで共有されているか
14	新 井 信 一 郎 (会派のぞみ)	1 山岳・里山の観光事業について (1) 現在取り組まれているポイントは (2) 課題認識は (3) 今後課題解決にどう取り組むか (4) 飯田市のシンボルの一つである風越山(かざこしやま)の保全及び活用状況は (5) 南アルプスについて <ul style="list-style-type: none"> ① 市道142号線の工事進捗状況は ② 今後の対応は ③ 国立公園であるが故の利活用は (6) 南アルプスジオパーク、エコパークについて <ul style="list-style-type: none"> ① 市民の認知度は ② 周知と利活用の取り組みは ③ ユネスコスクールへの取り組みは考えられないか (7) 伊那谷、県、国との連携は <ul style="list-style-type: none"> ① 伊那市商工観光部世界自然遺産登録・エコパーク・ジオパーク推進室発信のメールやFB(フェイスブック)の積極的登録は考えられないか ② 中央アルプスエリアにおいてもジオパークへの取り組みがされつつあるが、連携は考えられないか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎	<p>③ 長野県観光部山岳高原観光課は、『世界水準の山岳高原観光地づくりの推進』を行っている。市との連携は</p> <p>④ 統合型リゾート施設(IR)整備推進法案が成立した。観光や運輸関係者からは、2020年東京五輪・パラリンピック以降にも、インバウンド(訪日外国人客)需要がつながるといった経済効果に期待を込める声が聞かれるが、リニア開通に向け研究してはどうか</p> <p>2 市民協働事業推進の手法は</p> <p>(1) 現在の取り組みの主体は誰か</p> <p>(2) 市民の健康増進と併せた新しい市民協働の活動支援を考えられないか</p> <p>(3) 空き家のリノベーションを推進し、地域にカフェや図書館等整備し、中山間地域における振興として田園回帰を目指せないか</p> <p>3 子ども基本条例(仮)への取り組みは</p> <p>(1) 「子どもの健全育成」の観点から、非行対策や有害環境からの保護はできているか</p> <p>(2) 「子育て支援」の観点から、子育てに不安を持つ親などの支援はできているか</p> <p>(3) 「子どもの権利」の観点から、子どもの権利は守られているか</p> <p>(4) 大人が果たすべき役割を明確にし、子どもの権利を守り、家庭・地域・学校などの中で、子どもが育成できる条例制定が必要ではないか</p> <p>4 三遠南信サミットから見る飯田市の将来は</p> <p>(1) 鈴木康友浜松市長は、「県境という行政の境ではなく、現代における繋がりある地域連携こそが時代の要請である」と発言した。その発言に対し、市長の考えは</p>
15	清水 可晴 (市民パワー)	<p>1 平和行政の推進について</p> <p>(1) 満蒙開拓平和記念館に行幸啓としてお立ち寄りになられた両陛下のご訪問をどう受け止めたか、また、平和行政の推進について市長の思いは</p> <p>(2) 平和教育の推進にあたり、今以上に満蒙開拓平和記念館を活用する考えは</p> <p>2 工業振興について</p> <p>(1) サイエンスパーク構想の全体像は</p> <p>(2) 台湾新竹サイエンスパークへの視察を検討する考えは</p>
16	後藤 荘一 (日本共産党)	<p>1 市財政について</p> <p>(1) 平成28年度の決算見込みはどうか</p> <p>① 歳入の見込みは</p> <p>② 歳出は予算に照らしてどうか</p> <p>③ 起債や基金残高の状況はどうか</p> <p>(2) 平成29年度の予算案の特徴的なことは</p> <p>① 予算要求時の歳入歳出の額はどうか</p> <p>ア 編成過程は示せないか</p> <p>② 今後の起債や基金の見通しは</p> <p>③ 地域の厳しい経済状況下で、市民の暮らしを守る予算となっているか</p> <p>(3) 新年度から新総合計画がスタートするが、中長期の市財政フレームを示しているか</p> <p>2 雪害対策について</p> <p>(1) 市が除雪する路線外の通学路の除雪を行うか、又は支援ができないか</p> <p>3 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) リニア駅の乗降客数の目的別内訳は。また駐車場台数の見込みは</p>

No.	氏名	項目・要旨
	後藤 莊一	<p>(2) 駅周辺整備による立ち退きや土地建物等の取得に対する補償の考えは</p> <p>(3) 市内の残土置き場候補地に関し、地権者の意向はどうか。また下流域など周辺の住民の意見は</p> <p>(4) 市内の地下走行区間上の地権者への説明は</p>
17	永井 一英 (公明党)	<p>1 急速に進む少子高齢化・人口減少社会にあつて</p> <p>(1) 「いいだ未来デザイン2028」を策定するに当たって、12年先の財政見通しをどのように立てたか</p> <p>(2) 市民生活の様々な場面で、市が行ってきた事業と実態との間にそごが生じ始めていると感じるが、どう対応するか</p> <p>① 例えば、地域住民による公園の管理、街路樹の落ち葉清掃などの実態はどうか</p> <p>② 該当する事業の洗い出しを行ってはどうか</p> <p>③ 市長は、将来を見据えて様々な実態をどのように認識し今後どのように対応しようと考えているか</p> <p>(3) 市が進めてきた市民生活に関わる事業の中には、さらに拡大していく必要に迫られる取り組みもある。例えば、救急医療情報キット、子ども医療費の窓口無料化についてはどうか</p> <p>(4) 厚生労働省が「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部」を立ち上げたと聞く。市の認識は</p> <p>(5) 市長は、「地域共生社会」の意図するところをどう考えるか</p>
18	清水 勇 (会派のぞみ)	<p>1 自然エネルギーの利活用について</p> <p>(1) 太陽光発電について</p> <p>① 市内の太陽光発電の普及率と概ねの発電量の把握はしているか、また公共施設での発電量と使用状況はどうか</p> <p>② 農地、山林等への設置について市はどのような対応をしているか</p> <p>③ 災害対策、環境対策の考えは</p> <p>④ 太陽光発電の取り組みの検証と今後の進め方をどのように考えているか</p> <p>(2) 小型小水力発電について</p> <p>① 小型小水力発電について現状稼働している箇所はどこか、また発電量、使用状況はどうか</p> <p>② 今後計画している所はどこか、また使用目的発電量の予定はどうか</p> <p>③ 検証と今後の進め方をどう考えているか</p> <p>2 天龍峡再生事業について</p> <p>(1) 今までの整備状況と今後の取り組みについて</p> <p>① 天龍峡温泉交流館の状況と誘客の考えは</p> <p>② 天龍峡テニスコートの使用状況はどうか</p> <p>③ 今後整備をして誘客につなげる考えは</p> <p>3 中山間地域振興計画について</p> <p>(1) 地域振興住宅の現状と利用者の状況について</p> <p>① 今後の取り組みをどのように考えているか</p> <p>② 市以外の他町村では、長期的運営方法を決めているが飯田市はどうか</p>

② 平成29年飯田市議会第2回定例会一般質問通告表

平成29年6月12,13日

No.	氏名	項目・要旨
1	福 沢 清 (会派みらい)	1 公契約条例について (1) 飯田市は3年前、公契約条例の必要性を認めたが現在も同じ認識か (2) 公契約条例の実効性について検討結果はどうか (3) 今後、公契約条例の制定に向けた飯田市の考えは 2 住宅セーフティネット法について (1) 住宅セーフティネット法とは (2) 飯田市での「住宅セーフティネット法」の生かし方は ① 住宅確保要配慮者の飯田市の実態は ② 法律と地方自治体の関連は ③ 今後どのように飯田市で生かしていくか
2	福 澤 克 憲 (市民パワー)	1 ふるさと納税と総合計画の推進について (1) 平成28年度の実績について ① 飯田市への寄附金の総額と件数は ② 寄附金に対しての返礼品等に関わる経費は ③ 市民の他自治体への寄附金の総額と件数は (2) 国の制度を受けての市の考え方について ① ふるさと納税の理念とは ② 税法上はどのような仕組みになっているか、また住民税等への影響は ③ ふるさと納税制度の課題はあるか ④ 平成29年6月1日にスタートした20地区応援隊とはどのような仕組みか (3) 今後の方向性について ① 「いいだ未来デザイン2028」に基づく、地域と行政が一体となったさらなる取り組みは ② 地域住民に目を向けた、飯田市独自の政策は考えられないか
3	小 林 真 一 (公明党)	1 いいだ未来デザイン2028の戦略計画における「若者が帰ってこられる産業づくり」について (1) 目標設定の考え方はどうか ① 学卒者の地域内回帰、定着率目標を設定した根拠は何か ② 目標に対して指標値が右肩下がりにならないための方策はどうか (2) 信州大学航空機システム共同研究講座の設置に伴う地元の小・中・高生へのアプローチについて ① 信州大学航空機システム共同研究講座と社会人スキルアップコースの現状はどうか ② オープンキャンパス等の展開は (3) 子供たちの進路選択、また人材育成に力を入れることを踏まえ、現在任意の色覚検査を全ての児童に実施をしてはどうか 2 市民意識調査結果について (1) 防災意識と備蓄食料について ① アンケート結果から市民の防災意識を向上させるための方策をどう考えるか ② 行政で管理している備蓄食料の管理方法等はどのようにしているか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	木 下 徳 康 (会 派 の ぞ み)	<p>1 公共工事の地産地消</p> <p>(1) 地元業者、地元産資材の優先利用について</p> <p>① 現状と発注者としての市の取組みは</p> <p>② 地元産資材の利用について</p> <p>ア 蛇籠(フトン籠)の施工例は</p> <p>イ 施工時の業者・資材等、地元は優先されたか</p> <p>③ 今後の取組について</p> <p>ア 地元産資材を優先するシステムを構築できないか</p> <p>イ 県の仕様書等を参考にできないか</p> <p>2 稲葉クリーンセンター稼働に向けて</p> <p>(1) 9月1日に向けた進捗状況は</p> <p>(2) 燃やすごみの指定袋について</p> <p>① 新しい燃やすごみ指定袋の準備状況はどうか</p> <p>② 広告収入について</p> <p>ア 現行の紙袋掲載の広告収入額は</p> <p>イ その広告収入は市民に還元されているか</p> <p>ウ 新しい袋の広告掲載はどうするか</p> <p>(3) ごみ出しが困難な方への対応について</p> <p>① 現状をどのように把握しているか</p> <p>② どのような対策をとっているか</p> <p>③ ごみ出しボランティアに対する支援策は</p>
5	新 井 信 一 郎 (会 派 の ぞ み)	<p>1 下水道事業について</p> <p>(1) 第一次飯田市下水道事業経営計画の進捗状況はどうか</p> <p>① 長寿命化・耐震対策はどうか</p> <p>(2) 平成7年飯田市下水道整備基本計画により「市民皆水洗化」をそれぞれの事業手法により普及に努めてきたが、現在新たな土地利用に伴い見直しが必要ではないか</p> <p>① 農振地域と工業用地の近接による不便はないか</p> <p>(3) ゲリラ豪雨などの発生や水利用の減少による河川の氾濫に対する雨水渠等の対応は</p> <p>2 公共工事の入札制度について</p> <p>(1) 最低制限価格設定は</p> <p>① 設定はあるか</p> <p>② その根拠は</p> <p>③ 今後の考えは</p> <p>(2) くじによる落札者の決定は</p> <p>① 現状は</p> <p>② 集中する理由は</p> <p>③ この現状を良しとするか</p> <p>④ 今後の考えは</p>
6	湊 猛 (会 派 の ぞ み)	<p>1 市営住宅の運用について</p> <p>(1) 長野県住宅供給公社へ管理委託してからの運用についての課題は</p> <p>① 市営住宅の入居及び空室状況は</p> <p>② 市営住宅を取り巻くコミュニティに関する課題等に迅速に対応できているか</p> <p>③ 長野県住宅供給公社と担当課との関わりは</p> <p>(2) 遠山地区の市営住宅に関する課題について</p>

No.	氏名	項目・要旨
	湊 猛	<ul style="list-style-type: none"> ① 独身住宅・若者住宅と位置づけているが入居希望者との間にミスマッチが生じている点についての考えは ② 若者定住を促進するためには条例の改正が必要と思われるがどうか ③ 今後移住者向けに希望者が下見できる「モデルハウス」を設置する考えは ④ 遠山地区で取り組む「田舎へ還ろう戦略」事業での住宅の利活用をどう考えるか
7	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	<p>1 市議会議員選挙の開票事務について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 開票作業はどのように行われたか <ul style="list-style-type: none"> ① 作業員の体制及び事前説明は ② 開票作業の流れは ③ 開票所の責任者及びチェック体制は (2) 4月市議選での開票速報について <ul style="list-style-type: none"> ① 今回の開票速報は、速報とはほど遠い実態であった。なぜ、このような事態が生じたか ② 午後11時(開票率87.5%)での速報と11時20分(開票率95.8%)での速報で候補者によっては得票数に極端な差があったが、該当する候補や支持者にはどのようなストレスを与えたと考えるか (3) 正確な開票作業を行うには、作業の流れや速報の出し方など、現システムの再検討が必要と考えるがどうか (4) 信頼の回復のためにも、選挙管理委員会として集計作業が遅れた原因など市民への説明と謝罪が必要と考えるがどうか <p>2 管理不全空き家の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市役所に隣接する箕瀬地区、大通り地区の状況について <ul style="list-style-type: none"> ① 特定空家、準特定空家の状況は把握できているか ② 「飯田市空家等の適正な管理及び活用に関する条例」による所有者への指導状況は ③ 「緊急安全措置」を実施した事例はあるか (2) 解体費用への補助制度の検討状況は
8	岡田 倫英 (会派のぞみ)	<p>1 リニア長野県駅周辺における用地取得について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市として、現在の進捗は順調か (2) 移転対象者、移転候補先を地権者など関係者同士でスケジュール感を共有できているか <ul style="list-style-type: none"> ① 先々の手順、行程を分かりやすく示す必要があるが、現状は ② 代替地登録制度に応じてくれた方との意思疎通は <p>2 人形とけい塔「ハミングパル」の改修について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在あるとけい塔の課題は <ul style="list-style-type: none"> ① より親近感が高まるモニュメントにすべきでは ② より維持管理をしやすい構造にできないか (2) 寄附を呼びかけているが、目標金額に到達する見通しは
9	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	<p>1 IIDAブランド推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) IIDAブランドとは何か <ul style="list-style-type: none"> ① IIDAブランドを推進する目的は ② 「世界」と「若者」をターゲットにした具体的戦略的展開は ③ 市民参画をどう進めるか ④ 庁内の取り組み体制は (2) 各分野でのIIDAブランドの推進は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	湯 澤 啓 次	<ul style="list-style-type: none"> ① 市田柿、南信州牛、焼肉に加え、シードル等の地元酒については ② 飯田発祥グリーンツーリズムの更なる進化、インバウンドへの対応は ③ 世界に向けた飯田水引ブランドの推進は <ul style="list-style-type: none"> ア 2016東京オリンピック招致ロゴのデザイン精神の継承は イ 水引をモチーフにした第2市章の考えは <p>2 リニア駅周辺整備デザイン、基本設計について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「世界に一つのリニア駅周辺整備」の認識は <ul style="list-style-type: none"> ① リニア駅周辺整備基本計画策定で浮かび上がった検討すべき課題はなにか <ul style="list-style-type: none"> ア IIDAブランドを感じられる基本設計は イ 若者定住の視点をどう基本設計に取り込むか ② リニア駅周辺整備におけるデザインの重要性をどう考えているか <ul style="list-style-type: none"> ア (仮称)デザイン検討会議とは何か、具体的にどう進めていくか ③ 今後の進め方については <ul style="list-style-type: none"> ア 基本構想のコンセプトを実現する進め方は イ 市民参画、イメージ共有についてどう取り組むか ウ 計画策定に地元関連企業と連携する考えは
10	村 松 まり子 (公 明 党)	<ul style="list-style-type: none"> 1 命を守る自殺予防への取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> (1) これまでの自殺予防対策の結果と検証は (2) ゲートキーパー養成講座の内容は (3) 教育現場における自殺予防の取り組みは 2 教育環境の改善について <ul style="list-style-type: none"> (1) 小中学校の暑さ対策の取り組みは (2) 学校施設のトイレの洋式化について <ul style="list-style-type: none"> ① 排せつの重要性をどう捉えているか ② トイレの洋式化の現状と課題は ③ 今後の取り組みをどう考えているか 3 道路・橋梁の長寿命化について <ul style="list-style-type: none"> (1) 道路・橋梁の点検と長寿命化の取り組みの現状は (2) 路面下の空洞化の危険性についての認識は (3) 路面下の空洞調査を実施してはどうか
11	清 水 優 一 郎 (会 派 の ぞ み)	<ul style="list-style-type: none"> 1 市議会議員選挙の投票率にみる市政関心度について <ul style="list-style-type: none"> (1) 今回の市議選を通して行政に対する関心をどう捉えたか (2) 低下傾向にある投票率の現状は <ul style="list-style-type: none"> ① 全体の特徴は ② 地区別の特徴は ③ 年齢別の特徴は (3) 市政に対する市民の関心度を高めることが投票率を上げることにつながると考えるが、今後どう取り組むか <ul style="list-style-type: none"> ① より投票しやすい工夫は ② 若い人たちの関心を高めるための工夫は 2 こどもを産み育てやすい環境づくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成28年度市民意識調査問24の結果をどう捉えているか (2) 出産、不妊に関する現状の取り組みは (3) こどもを産みやすい環境づくりのための今後の対応はどうか

No.	氏名	項目・要旨
12	木下容子 (市民パワー)	<p>1 次期学習指導要領の移行措置について</p> <p>(1) 次期学習指導要領が実施されるに当たり、文部科学省から移行措置が公表されたが、それはどのようなものか</p> <p>① 移行措置はいつから始めるか</p> <p>② 移行措置の内容はどのようなものか</p> <p>③ 移行措置のための授業時数はどの程度増加し、それをどう確保するか</p> <p>(2) 短期間での移行は、児童生徒の負担増にはならないか</p> <p>(3) 現在でも教員の過重勤務が問題視されているが移行措置の実施は、さらなる負担増につながらないか</p> <p>2 食品ロス削減のための取り組みについて</p> <p>(1) 飯田市における食品ロスの現状はどうか</p> <p>(2) 食品ロス削減のための活動をどのように取り組んでいるか、また、今後どう取り組むか</p> <p>(3) 30・10(さんまる いちまる)運動など、他地域での取り組みを参考にできないか</p> <p>(4) ロスしてしまう食料をフードバンク等へ寄付するシステムを構築できないか</p>
13	塚平一成 (会派のぞみ)	<p>1 魅力発信及び都市間交流の推進について</p> <p>(1) 市民による20地区の魅力発掘及び発信活動について</p> <p>① 各地区での取り組みをどのように把握しているか</p> <p>② 地域の魅力発信活動に対して市としての協力体制をどのように考えているか</p> <p>(2) 他都市との市民交流の促進について</p> <p>① 首都圏における市民の地域間交流の現状は</p> <p>② 飯田市や20地区の認知度向上に寄与する市内外の協力者を「市民交流大使(仮称)」に任命する制度を提案したいがどうか</p> <p>2 地域福祉計画について</p> <p>(1) 計画の周知について</p> <p>① 市民へより幅広く周知する必要があるがどうか</p> <p>② 市民に計画のポイントをわかりやすく説明できる仕組みをどう考えるか</p> <p>(2) 計画の方向性について</p> <p>① 関連する他の計画との位置づけは</p> <p>② 幼児期からの情操教育こそ地域福祉の根源とと思うがどのように考えるか</p>
14	後藤荘一 (日本共産党)	<p>1 土砂災害特別警戒区域について</p> <p>(1) 飯田市内の指定箇所数は</p> <p>(2) 対策に対する指導は</p> <p>(3) 指定地の対策を講じるための援助はあるか</p> <p>(4) 防災の観点からも、支援を拡大する考えは</p> <p>2 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) 市内の残土置き場候補地の状況は</p> <p>① 地権者の意向は</p> <p>② 下流域など周辺の住民の意見は</p> <p>③ 安全性の調査は</p> <p>(2) 市内の地下走行区間の地権者への説明は</p> <p>(3) 駅周辺整備について</p> <p>① 用地、建物等固定資産の買取予定価格は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後 藤 莊 一	<ul style="list-style-type: none"> ② 計画段階での事業費の概算は ③ 本事業実施に当たって財源は
15	古 川 仁 (日本共産党)	1 飯田市の新しいごみ袋について <ul style="list-style-type: none"> (1) 新しいごみ袋は、いつ頃からの販売か (2) 大量の在庫が発生すると考えるが従来のごみ袋の流通状況は (3) 9月の焼却場切り替え前に新しいごみ袋で出された場合の対応は
16	山 崎 昌 伸 (会派のぞみ)	1 20地区「田舎へ還ろう戦略」について <ul style="list-style-type: none"> (1) この戦略を実効性のあるものとするために、どのように進めていく考えか <ul style="list-style-type: none"> ① 「田園回帰1%戦略」との関連は ② 各地区が担う役割は何か ③ 市が担う役割は何か (2) 地区指定のふるさと納税制度の課題は何か <ul style="list-style-type: none"> ① 各地区の取組の現状は ② 寄附金額の見込みは ③ 地区による偏りへの支援策は 2 地域で歌い継がれる愛唱歌について <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域で歌い継がれる愛唱歌のもつ力をどう考えるか <ul style="list-style-type: none"> ① 愛唱歌は、地域に想いを寄せる、想いを馳せる要素のひとつになり得るか ② 小中学校における地域で歌い継がれてきた歌の扱いは ③ 定住人口の確保に多少なりとも寄与するとは考えられないか ④ 地区指定のふるさと納税制度に好影響を及ぼすとは考えられないか
17	吉 川 秋 利 (会派のぞみ)	1 道路行政について <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田下伊那地域の広域道路計画の現状はどのようになっているか (2) 道路整備における問題点について <ul style="list-style-type: none"> ① 都市計画との整合性は ② 財源確保の考え方は (3) 今後どのように進めていくか 2 産業振興と人材育成の拠点整備について <ul style="list-style-type: none"> (1) 航空機システム研究講座の概要と今後の方向性は (2) コンソーシアムの現状と飯田市の関わり方は (3) 「航空産業支援サテライト」の開設と「(連携先)産業技術総合研究所」の目指すものは

③ 平成29年飯田市議会第3回定例会一般質問通告表

平成29年9月13,14日

No.	氏名	項目・要旨
1	吉川 秋利 (会派のぞみ)	1 議会選出監査委員について (1) 地方自治法が改正されたが、地方自治体にとって地方自治法とはどのようなものか (2) 行政から見た議会選出監査委員のメリットは (3) 議員の立場での監査委員は不要と考えるがどうか 2 コミュニティスクールについて (1) 小中連携・一貫教育については、どのように進展しているか、またどのような課題があるか (2) 小中連携・一貫教育とICT教育については、どのように連携していくのか、またICT教育の進捗状況は (3) このような教育方針と連携したコミュニティスクールの目指すものは
2	竹村 圭史 (会派のぞみ)	1 公共施設マネジメント基本方針における小中学校の建物維持の考え方について (1) 公共施設マネジメント基本方針における小中学校の建物維持の考え方は ① 建設以降30年を経過した校舎がほとんどの中で、旧耐震基準に該当する校舎については耐震化工事を実施してきたが、長寿命化を視野に入れた工事を実施したか。その場合、どのくらいの耐用年数の延命を考えたか (2) 従来の対応で浮き彫りとなった課題は何か。また、その要因をどのように考えているか (3) 今後予防保全の考え方を進めていくにあたり、課題となる点は何か (4) 市内28校の小中学校の校舎における屋根・外壁・給排水設備の状況はどのようになっているか (5) その中で、最優先に対応しなければならないものは何か (6) 学校現場からはトイレの洋式化を早期に望む声が上がっているが、給水設備と合わせ小中学校を対応するのにどのくらいの期間を要すると想定しているか (7) 今後の小中学校の建物維持をどのように考えていくか 2 社会福祉施設の防火対策の推進について (1) 夜間の就寝を伴う施設の防火対策の把握状況は (2) 施設管理者の防火意識をどのように受け止めているか (3) 市民から、施設が安心・安全に利用できるかという問い合わせはあるか (4) 防火意識を更に向上させるための取り組みは何か必要と考えるか (5) 市民の安心・安全のため、防火対策を推進している施設を情報発信することを考えてはどうか
3	原 和 世 (会派みらい)	1 政策決定に関わる庁議の議事録公開に関して (1) 庁議議事録公開の実情と課題について ① 市長は地方行政を進める上で、住民自治と知る権利及び情報公開についてどのように考えるか ② 市政経営の基本方針及び重要政策を協議し、また執行機関の総合調整を行う会議として飯田市庁議規程が有るが、どのように運用されているか ③ 今年度から庁議議事録公開を進めているようだが、その運用の基本的な考え方をどのように整理しているか ④ 市長はこれからの成熟した住民自治に向けて、政策決定プロセス公開のあり方をどのように考えるか 2 道路・河川の維持および改良における戦略的思考に関して

No.	氏名	項目・要旨
	原 和 世	<p>(1) 市民生活の利便性と安全安心の地域づくりのための維持・補修に関する財政面から見た課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 各地区から提出される地区要望に関して、市民要望件数と予算措置の推移、および事業の進め方はどのようなか ② 地区要望に対する予算措置について、財政課では部局別枠配分についてどのような観点で措置しているか ③ リニア新幹線に関連する道路等整備事業と在来の道路整備事業が予算上混同し、予算確保の中で在来の整備事業が進まない恐れはないか ④ 目的税である都市計画税の使途に関し、予算決算において明示することが必要ではないか <p>(2) 維持補修・除雪など市民生活に直結する事業に関し、建設事業者からみた課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公共事業が減少する中、市内建設事業の実情はどうか ② 今後の道路・河川整備事業に対する不安要素としてはどのように捉えているか ③ 建設事業者の経営実態に関し市は現状把握しているか ④ 事業者選定のための総合評価方式の導入と課題は ⑤ 維持補修事業を維持していくための課題と方向性は
4	岡 田 倫 英 (会派のぞみ)	<p>1 地域防災を担う人材の育成について</p> <p>(1) 避難所を開設・運営する人材の育成をどのように進めるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自主防災リーダーの育成人数について目標を立ててはどうか ② 「南信州いいむす21」の仕組みを応用して、飯田市独自のリーダー養成講習を計画してはどうか <p>(2) 子どもたちの防災教育をどのように進めるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 子どもたちの防災教育をメニュー化してはどうか ② 教育委員会としてどのように対応するか <p>2 シードル振興について</p> <p>(1) 飯田市が「シードルのブランド力」を持つ上で、課題は何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市としてシードル特区(果実酒特区)の認定を受けてはどうか ② 製造から販売・消費までの一貫した戦略は <p>3 リニア時代に向けた地域資源の活用について</p> <p>(1) 集団生活体験ができる地域資源を活用し、特色ある体験教育を推進してはどうか</p> <p>(2) 保存・活用のため一定の規範が必要と思うがどうか</p> <p>(3) 大平宿の保存継承・活用は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 大平宿について伝統的建造物群保存地区、国指定有形文化財の指定を考えてはどうか ② 大平憲章の精神に則った保存継承の考えは
5	木 下 徳 康 (会派のぞみ)	<p>1 災害時における受援体制、支援体制について</p> <p>(1) 災害相互応援協定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在、協定している自治体、民間等の内容と数は ② 通常時の協定している自治体、民間等との活動は ③ 協定を相互のみでなく、グループ化して関係を密にする考えは ④ 飯田市が必要とされる災害支援の可能性は <p>(2) 市の受援体制は</p> <p>(3) 戸倉山東側尾根付近の林野火災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 消火活動の経過は ② 現地指揮本部とはどのような組織でおこなったか

No.	氏名	項目・要旨
	木下 徳康	<ul style="list-style-type: none"> ③ 消防防災航空隊と自衛隊のヘリコプターの消火能力の差に対する認識は ④ 自衛隊の災害派遣を要請する判断基準は 2 (仮称)天龍峡大橋に関して <ul style="list-style-type: none"> (1) (仮称)天龍峡大橋添架歩廊について <ul style="list-style-type: none"> ① 設置に至った経緯は ② 床窓を設置してはどうか
6	福澤 克憲 (市民パワー)	1 飯田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> (1) 第6期事業計画の進捗状況は <ul style="list-style-type: none"> ① 地域包括ケアシステムの構築の状況は <ul style="list-style-type: none"> ア 介護予防と日常生活支援の総合的な進捗状況は イ 高齢者の住まいの安定対策は <ul style="list-style-type: none"> i 老人福祉施設(養護老人ホーム、軽費老人ホーム)、サービス付き高齢者向け住宅等の整備状況は ウ 地域で安心して暮らせる支援体制は <ul style="list-style-type: none"> i 地域包括支援センターの事業推進状況、相談件数は ② 介護サービスの充実と質の確保対策は <ul style="list-style-type: none"> ア 介護保険施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設)の整備状況と床数は イ 地域密着型サービス施設の整備状況と結果は (2) 第7期事業計画策定に向けての方向性は <ul style="list-style-type: none"> ① 計画策定のためのアンケート調査等から推測される今後の課題は ② 介護職場の人材確保・育成は ③ 公共サービスの今後の方向性は 2 「飯田版！上質な子育て環境」づくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の取組状況は <ul style="list-style-type: none"> ① 公立保育所で取り組む「信州やまほいく」の認定とは ② 飯田市版「地域と連携した自然型保育」は、どのような保育を想定しているか (2) 今後の方向性は <ul style="list-style-type: none"> ① 私立保育園・幼稚園・認定こども園等への展開は ② 良質な保育を行うための施設整備は
7	古川 仁 (日本共産党)	1 飯田市の介護保険事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)について <ul style="list-style-type: none"> ① 昨年4月からの進捗状況はどうか (2) 介護職員の状況はどうか <ul style="list-style-type: none"> ① 各事業所の介護職員の状況はどうか ② 介護職員不足が懸念されるが、市はどう考えどう対応するか 2 中学校の職場体験実施について <ul style="list-style-type: none"> (1) 実施状況はどうか (2) 自衛隊の体験状況はどうか
8	湊 猛 (会派のぞみ)	1 飯田市観光振興ビジョンについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 新交通網を見据えた、観光振興ビジョン推進におけるロードマップの取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ① 地域資源の魅力向上策の進め方は ② 観光プログラム開発と受入れ態勢整備の状況は ③ 情報発信と人材育成に関しての取り組み状況は

No.	氏名	項目・要旨
	湊 猛	<p>④ 今後マネジメントする推進体制の構築とDMOの確立に向けた取り組みは</p> <p>(2) 飯田市の観光誘客推進について</p> <p>① まちなか誘客事業の取り組み状況は</p> <p>② 天龍峡活性化事業の取り組み状況は</p> <p>③ 遠山郷観光戦略プログラムの現状は</p>
9	小林 真一 (公明党)	<p>1 飯田市における健康寿命を延ばす方策について</p> <p>(1) 若年層への健康意識向上のための啓発について</p> <p>① 全体、世代別の特定健診受診率はどうか</p> <p>② がん検診の周知の状況は</p> <p>2 防災、災害時の対応について</p> <p>(1) 避難所の運営について</p> <p>① 女性、子どもへの配慮はどうか</p> <p>② 高齢者、障がい者への配慮はどうか</p> <p>③ 避難所のトイレの設置状況は</p> <p>④ 災害時の空き家活用は</p>
10	井 坪 隆 (会派みらい)	<p>1 リニアによるまちづくり戦略について</p> <p>(1) 「駅周辺整備」と、リニアを活かしたまちづくりの戦略とを、どう結びつけるか</p> <p>(2) 拠点集約連携型都市構造で位置付けている「中心拠点」に対する違和感を持つ意見があるが、市長はどう説明していくか</p> <p>(3) 交流人口の拡大に資する施設整備として重要であるとしているコンベンションセンターは、まちづくりにおいてどのような位置付けと考えているか</p> <p>(4) リニアを「長野県の南の玄関口」とする一方、「メガリージョンの地下鉄」としているが、本市におけるまちづくりにおいては、どのように捉えているか</p> <p>(5) JR(グループ)に、地域振興への協力を求めることは考えられないか</p> <p>2 市長の考える、地域自治・地域運営組織の在り方について</p> <p>(1) 「飯田市の地域運営の取組みは、真の地方創生を成し得る全国のモデル」(市長の年頭所感)としているが、地域自治組織をも含めて、そのように言い切れるか</p> <p>(2) 新時代に向けた地域経営の仕組みにおいては、「コミュニティーの質の向上を図ることが大事」(市長の年頭所感)と述べているが、そのための市役所の役割、地域(住民)の役割をどう考えるか</p>
11	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	<p>1 リニア関連事業に伴う代替地確保について</p> <p>(1) 「住民に寄り添う」との市長の方針と、影響を受ける市民の感じ方とのギャップをどのように埋め、信頼関係を構築するか</p> <p>(2) 代替地の3つの斡旋方法について</p> <p>① 用地買収時期に対する市の認識は</p> <p>② 代替地登録制度の登録状況、情報開示の進め方は</p> <p>③ 宅建業者との連携とは具体的に何か</p> <p>④ 新規造成・確保(市道新規建設)は買収時期に間に合うか</p> <p>ア 進捗状況、今後のスケジュール、提供時期は</p> <p>(3) 移転を余儀なくされる住民の立場で考え、市は責任を持ち代替地斡旋事業を最優先に進める覚悟は</p> <p>2 学童保育の抱える諸課題について</p> <p>(1) 児童センター、児童クラブなどの学童保育をどのように評価しているか</p> <p>(2) 学童保育の現状及び課題認識は</p> <p>① 閉所時間30分延長の実態は</p> <p>② 平成31年度定員970人体制に向け見えてきた課題は</p>

No.	氏名	項目・要旨
	湯澤啓次	<p>(3) 課題克服に向けての市の考えは</p> <p>① 有効な職員確保策は</p> <p>② 運営委員会に任せ過ぎているとの意見もあるが、見直しは</p> <p>③ 飯田コミュニティースクールとの連携は</p> <p>(4) 学童保育専門の部署を設置する考えは</p> <p>3 全国的に注目を集める自然保育について</p> <p>(1) 自然保育に対する市の考えは</p> <p>(2) 県が進める「信州やまほいく」信州型自然保育認定制度への対応について</p> <p>① 認定制度の概要及び市の対応は</p> <p>② 期待される効果は</p> <p>③ 普及推進に向けた具体的取り組み、今後のスケジュールは</p>
12	清水優一郎 (会派のぞみ)	<p>1 中山間地域の現状について</p> <p>(1) 人口や産業の現状は</p> <p>(2) 魅力や役割をどう捉えているか</p> <p>(3) 飯田市における中山間地域の将来像は</p> <p>2 三遠南信道を生かした中山間地域の観光振興、地域振興について</p> <p>(1) 三遠南信道の概要は</p> <p>(2) 工事の進捗状況は</p> <p>(3) 各インターチェンジの周辺整備計画は</p> <p>(4) (仮称)天龍峡大橋の開通に伴う、天龍峡周辺の観光振興計画は</p> <p>(5) 中山間地域の振興と天龍峡周辺の観光振興のための拠点となる「道の駅」の整備はどうか</p>
13	永井一英 (公明党)	<p>1 中小企業・小規模事業者への支援策について</p> <p>(1) 「2017年問題」と指摘される中小企業の事業承継が問題になっていると聞く。飯田市内の中小企業・小規模事業者の状況は</p> <p>① 国は既に対策に乗り出していると聞く。どのようなものか。また、県や市の独自の取り組みは</p> <p>② 商工会議所の取り組みと行政との役割分担は</p> <p>③ 「ものづくりのまち」東京都墨田区が、全製造業への訪問面接調査を実施した上で、関係支援機関と連携し、企業のものづくり資産を承継する仕組みを作るなどのサポートを行っている。市はどうか</p> <p>(2) 製造業における販路開拓への支援と行政の役割は</p> <p>① 海外展示商談会への出展に関する支援と成果は</p> <p>② 海外の企業から飯田市内の中小企業・小規模事業者へアプローチしてもらうことは考えられるか。また、行政の支援は</p> <p>(3) 国や県そして市が進めようとする様々な支援策を、一つひとつの中小企業・小規模事業者にまで周知する上での課題は何か</p> <p>① 中小企業・小規模事業者が、国や県が直接あるいは市や関係機関を通して実施する補助金・助成金制度その他の支援策を利用する場合の手続きは、ワンストップで行うことができるか</p>
14	山崎昌伸 (会派のぞみ)	<p>1 「リニア・三遠南信道」の時代に向けて、この地域をどのように発信するか</p> <p>(1) ブランディングとシティプロモーションをどう加速化するか</p> <p>① 「IIDAブランド推進課」が果たすべき役割は何か</p> <p>② 交流人口増加に向けての考え方は</p> <p>(2) シティプロモーションにおいて「信州ブランド」をどう活かすか</p> <p>① 海外も含め「信州ブランド」の浸透度をどう捉えているか</p> <p>② 「南信州ブランド」の浸透度はどうか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	山崎昌伸	<p>③ 当地域の発信に「信州ブランド」を最大限に活かすべきと考えるがどうか</p> <p>(3) リニア開通後、JR飯田線をどう活かすか</p> <p>① リニアとローカル線の対比をどう際だたせるか</p>
15	塚平一成 (会派のぞみ)	<p>1 文化芸術のまちなみや史跡の利活用について</p> <p>(1) 人形劇文化の溢れるまちづくりについて</p> <p>① 「人形劇のまち」としての浸透度は</p> <p>ア かつて市長より「人形劇フェスタが『知る人ぞ知る祭典』の趣を呈してきた」という事であったが、その後の取り組みと経過は</p> <p>イ 来飯者より「日常のまちなみに人形劇文化を感じない」との意見が多いとみるが、どのように捉えるか</p> <p>ウ 2018年のAVIAMA総会及び世界人形劇フェスティバル開催を見据え、まちづくりへの課題としての取り組みは</p> <p>② 日常に人形劇文化がどう根付いているか</p> <p>ア 市内学校での人形劇をとおしての活動の現状は</p> <p>イ 人形劇関連施設の活用状況は</p> <p>ウ 人形劇のまちとして、フェスタをクライマックスとした年間の運営取り組みをどのように考えていくか</p> <p>(2) 飯田古墳群の文化的活用について</p> <p>① 地域文化資源としての位置づけは</p> <p>ア 国史跡指定を契機に古墳群の文化的位置づけをどのように考えているか</p> <p>イ 歴史上、学術上価値は高いが、市民に魅力を感じさせる仕掛けをどのように考えるか</p> <p>ウ 市外へ情報発信して来ていただく体制をどう考えるか</p> <p>② 各地区の古墳文化保存継承活動への協働体制は</p> <p>ア 宣伝材料・モデルコース作成等の各地区での取り組みをどのように把握し、協働体制をとっているか</p> <p>イ 古墳及び周辺空間の更なる整備体制が必要と考えるが、どのように捉えるか</p> <p>ウ 上記整備事業に対する各地区への支援体制をどのように考えているか</p>
16	木下容子 (市民パワー)	<p>1 行財政改革の推進について</p> <p>(1) 飯田市行財政改革大綱における、平成28年度までの改革プランの実績はどうか</p> <p>① これまでの「行財政改革大綱」は平成28年度で一つの区切りを迎えたが、取り組みの成果はどうか</p> <p>(2) 新たな「飯田市行財政改革大綱」に基づく実行計画について</p> <p>① 行革の4つの柱とはどのようなものか。それをどう活かすか</p> <p>② 実行計画の目玉となる「1%戦略」をどう活かすか</p> <p>③ 公共施設マネジメントの推進について現在の取り組み状況は</p> <p>(3) 「飯田市公共施設マネジメント基本方針」について</p> <p>① 「公共施設マネジメント基本方針」の基本方針1の「長寿命化の推進」には、どのような方法で対応するか</p> <p>② 施設の予防保全のために、庁内で技師を活用しての、新たな専門部署を立ち上げる考えは</p> <p>③ 公共施設マネジメントの取り組みを市民に理解してもらうための方法は</p> <p>2 読書を支える市民の活動について</p>

No.	氏名	項目・要旨
	木下容子	(1) 読書活動を支える市民の活動は、どのようなものがあるか (2) 視覚障害者のための音訳活動については、どう捉えているか (3) 機器の購入や勉強会参加への補助は、考えられないか
17	後藤 莊一 (日本共産党)	1 ごみの減量化策について (1) 焼却施設の変更にともない、プラスチック製品などの一部が燃やすごみに移行したが、燃やすごみの増加につながらないか (2) 事業系のごみが全国的に増加の傾向だが、飯田市はどうか (3) 事業系含め、特に燃やすごみの減量化策は ① 生ごみ処理に取り組んでいる自治体があるが、飯田市としても再度研究する考えはないか (4) 他市と比べ、ごみ袋の料金が高いと言われる。ごみの減量化に結びついていると思わないが、どうか (5) 2018年4月から焼却炉の排出ガスの水銀規制が開始されるようだが、市としての対応は 2 リニア中央新幹線について (1) リニア長野県駅周辺整備について ① 基本設計の開始はいつか ② 基本設計はどの段階まで設計するか ③ 事業費の概算見積もりを基本設計開始後すぐに示すべきだと考えるがどうか ④ 移転を余儀なくされる方への代替地確保の状況は ⑤ 様々な理由により、移転が困難な方にはどう対応するか (2) 地下走行区間について ① 井戸水等水資源の調査を行なっているようだが、状況は
18	新井 信一郎 (会派のぞみ)	1 学校教育環境について (1) 長野県は、「学びの改革 基本構想(平成29年3月30日県教委定例会決定)」に基づき今後の方針から、飯田市で学ぶ者の将来について ① 「学びの改革」をどう受け止めるか (2) 小・中学校の「学びの改革」は、県同様に必要ではないか ① 「学びの改革」を必要としないか ア 社会激変への対応について イ 少子化への対応は ② 新たな学習方法について ③ 学びの質・環境の充実と改善について ④ 立地の特性を活かした学校づくり・再編について 2 産業振興と人材育成の拠点整備(旧知の拠点・旧飯田工業高校跡地利用)について (1) 南信州地域振興局(長野県)は、地域未来投資促進法に基づき、南信州の地域特性を活用する8分野を示したが、市として取り組みは ① 航空宇宙関連部品産業の集積(成長ものづくり分野)について ア 信州大学との連携状況は イ MRJ等、開発事業進行を不安視する声があるが、問題はないか ② 飯田メディカル・バイオクラスターなど、メディカル・バイオ関連の知見について ア 国と県は、東京一極集中是正について地方への機能分散を計画し、飯田市に産業技術総合研究所(創薬)部門を示したが、動向は イ 産総研は、地域産業振興連携をしているが、市内企業との連携状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新 井 信 一 郎	<p>ウ 私立新潟薬科大学(新潟市)が長野県内に「長野薬学部」を設置する計画があったが、当初の予定市では不可能との見解が示されたが、その受け皿に飯田市はなれないか</p> <p>③ 南信州の気候、地理的特性などの自然環境や、豊富な日射量や森林資源など特徴ある自然環境について</p> <p>ア 現状は</p> <p>イ 財産区や個人山の多くが一部を除いて運営・運用が厳しいが、対応策はあるか</p> <p>ウ ツリークライミングや新たな森林活用に、リニア時代を見据えた世界規模のフォレストパーク等の整備は考えられないか</p> <p>3 農業・農地等について</p> <p>(1) 農地バンクの利用状況は</p> <p>① 新規就農者、認定農業者(人・農地プラン)への対応は</p> <p>② 情報の共有化はどうなっているか</p> <p>(2) 農地等であった場所に、太陽光パネルが敷設されるケースが目につくようになってきた</p> <p>① 農地・農作地や林野等から、太陽光パネル設置に移行された箇所・面積はどのくらいあるのか</p> <p>② 土地の有効活用や、自然エネルギーの利活用は非常に大切なことであるが、その一方で、河岸段丘の美しい飯田の、農ある風景にそぐわないとの意見もある。市としての今後の方向性は</p> <p>4 リニア中央新幹線長野県駅を中心とした整備事業について</p> <p>(1) リニア周辺整備デザイン会議に、学識者として、東京芸術大学美術学部建築科北川原教授を迎え入れた意図は</p> <p>(2) これまで飯田市の中心市街地再生整備には、デベロッパーや大手ゼネコンに頼ることなく、住民と市役所が一体となって小規模開発を連鎖させ地方都市再生のモデル(飯田方式)としてこれまでは事業化してきた</p> <p>① リニア駅を含め、その手法を活かすか</p> <p>② 市長は、飯田版ダボス会議が開催できる世界都市飯田をイメージしているか</p> <p>③ 「飯田らしさ」と駅機能の世界へのポテンシャル発揮の必要性をどう考えるか</p> <p>④ 世界を知り尽くしたデベロッパーやゼネコンの意見を聞いてはどうか</p> <p>⑤ 北海道ニセコ町は、外国人資本家や外国人とのパートナーシップが功を奏し、ブランディングやシティープロモーションが成功している。「小さな世界都市」を標榜する飯田市としての今後の取り組みは</p>

No.	氏名	項目・要旨
1	湯澤啓次 (会派のぞみ)	<p>1 市長の政治姿勢と予算編成方針について</p> <p>(1) 就任14年目に向けた市長の政治姿勢について</p> <p>① 10年後のリニア時代を見据え、人口減少・高齢化が顕在化する困難な時代に、市長は何を大切に市政経営を進めようとしているか</p> <p>② 総合計画「いいだ未来デザイン2028」を多様な主体とどう共有し進めていくか</p> <p>(2) 平成30年度予算編成の基本方針は</p> <p>2 持続可能な地域自治の推進について</p> <p>(1) 市長の地域自治組織に対する基本的な考えは</p> <p>(2) 地域自治組織の今後のあり方について</p> <p>① 10年が経過した地域自治組織の検証、新たな取り組みは</p> <p>② 地域コミュニティの活性化に対する考えは</p> <p>③ 地域自治を支える財源についての考えは</p> <p>3 リニア中央新幹線に関連する諸課題への取り組みについて</p> <p>(1) 関係自治体、団体等との更なる連携強化をどう図るか</p> <p>① JR東海、県、近隣市町村との更なる関係強化に市長はどう臨むか</p> <p>② リニア駅周辺整備基本設計を進める上で、地元経済界との連携、市民参画に対する市長の考えは</p> <p>(2) 影響を受ける市民にどう寄り添い、切実な要望等にどう応えていくか</p> <p>(3) 諸課題に迅速かつ有効に対応するための態勢拡充は</p> <p>4 リニア・三遠南信時代を見据えた交流・定住人口の拡大に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 交流人口増の視点から、これからの観光振興策をどう進めていくか</p> <p>① 地域連携DMOの創設を視野に、IIDAブランド構築に向けた、市、飯田観光協会、南信州観光公社の連携をどう強化していくか</p> <p>② 天龍峡と遠山郷の二つの交流拠点を交流人口増につなげる取り組みは</p> <p>(2) 交流・定住人口増につなげる20地区「田舎へ還ろう戦略」に対する市長の本気度は</p> <p>① 各地区との共有、支援策は</p> <p>(3) 交流・定住人口増につなげる中山間地域振興は</p> <p>① 飯田市の中山間地域の現状と今後の可能性についての市長の考えは</p> <p>② 10年目を迎える飯田市民間地域振興計画の検証、評価と今後の考えは</p> <p>5 若者定住につながる産業振興の取り組みについて</p> <p>(1) 市長は若者定住の現状をどう認識、分析し、どうしようと考えているか</p> <p>(2) 若者が帰って来られる産業振興は</p> <p>① 「新たな産業振興の拠点」形成に向け、施設整備後のソフト事業をどう進めていくか</p> <p>② 戦略的な企業誘致の推進、地域産業の高付加価値化をどう進めていくか</p> <p>③ 若者定住につながる今後の農業振興策は</p> <p>④ リニア関連工事による地元経済波及効果を高めるための市の取り組みは</p> <p>6 子育て環境、健康長寿日本一を目指す取り組みについて</p> <p>(1) 飯田市の子育て環境、健康長寿の延伸に対する市長の現状認識と今後の考えは</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	湯 澤 啓 次	<p>(2) 飯田市立病院を核とした地域医療の一層の充実は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域医療維持のための政策、市民理解、医療スタッフの確保とケアは ② 飯田市立病院の安定経営と、市民から愛され信頼される拠点病院づくりをどう進めるか <p>(3) 人口減少・長寿時代に対応した地域包括ケアの仕組みづくりは</p> <p>7 これからの学校教育、社会教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リニア時代に向けて、どのような人材育成、教育を行いたいのか、市長の思いと教育長の考えは (2) 学校教育について <ul style="list-style-type: none"> ① 小中連携・一貫教育をどう評価し、今後どのように進めていくか ② 飯田コミュニティスクールに何を期待し、今後どのように推進するか ③ ICTを活用した教育課題への対応、成果の見える化と推進ロードマップは (3) 社会教育について <ul style="list-style-type: none"> ① 「地域振興の知の拠点」の形成をどのように進めるか ② これからの公民館に期待される役割、現状と課題に対する市長の認識と、今後の考えは <p>8 安全安心で環境に配慮した社会への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域防災の要である消防団員確保と地域防災リーダーの養成は (2) 空き家対策を進めるための態勢強化、解体費用の補助制度の創設は (3) 市道、河川の長期的改修整備計画の策定は (4) 「ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例」の検証と今後の対応は
2	福 沢 清 (会派みらい)	<p>1 行財政政策の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「いいだ未来デザイン2028」に沿った年度ごとの中期財政計画が必要ではないか (2) 「いいだ未来デザイン2028」の検証のため、市の評価をどの様に行っていくか (3) 「公共施設等総合管理計画」を推進するのに、縮減の目標値はどうか <p>2 リニア中央新幹線整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リニア事業に係る庁内体制はどうか (2) リニア事業を推進するにあたってJR東海とそれぞれの関係地区との協定が必要ではないか (3) まちづくりの観点から、中心市街地とリニア長野県駅とのアクセスをどう整備していくか <p>3 産業振興政策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田市の産業構造の実態把握は (2) 飯田下伊那労働白書の策定は (3) リニア時代の農業、とりわけこの地域特有の「小農(家族の暮らしを中心に地域に根差して営まれる農業のこと)」の振興策は (4) 技能労働者の育成が急がれるが対策は (5) 公契約条例の制定は <p>4 福祉政策の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「飯田市地域福祉計画」における地域福祉コーディネーターの役割は重要と考えるがどうか (2) 認知症の方や高齢者に対する見守り体制の確立は <p>5 まちづくりの推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 今後の空き家対策は (2) 地域おこし協力隊の状況は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福 沢 清	<p>(3) 地域経営アドバイザーの活用は</p> <p>(4) 多文化共生、小さな世界都市を目指す取り組みは</p> <p>6 教育環境の整備について</p> <p>(1) 学校施設の老朽化が進んでいるが対策は</p> <p>(2) スポーツ環境とりわけ競技場の整備は</p> <p>(3) 教職員の負担軽減の施策は</p> <p>① 学校給食費を市で徴収することはどうか</p> <p>② 部活動へのかかわりはどうか</p> <p>7 防災について</p> <p>(1) 業務継続計画の策定は</p> <p>8 南信州広域連合と飯田市の在り方について</p> <p>(1) スポーツ施設、コンベンションセンターの整備構想をどう進めるか</p> <p>(2) 飯田文化会館の建て替えを目指す市長公約との関係は</p>
3	村 松 まり子 (公 明 党)	<p>1 SDGs(持続可能な開発目標)の理念と飯田市の進める市政について</p> <p>(1) SDGs(持続可能な開発目標)の推進についての考えは</p> <p>(2) 「いいだ未来デザイン2028」のスタート元年をどう評価するか</p> <p>(3) 地方創生関連の事業推進の検証は</p> <p>(4) 30年度予算編成の基本方針と重点的な取り組みは何か</p> <p>2 リニア中央新幹線の取り組みについて</p> <p>(1) リニア本体工事関連について</p> <p>① 明かり区間(上郷北条地区・座光寺地区)の進捗状況について</p> <p>② トンネル区間の進捗状況について</p> <p>ア 建設発生土の発生箇所(松川坑口・黒田非常口・土曾川非常口)は</p> <p>イ 建設発生土置き場は</p> <p>③ 環境影響関連について</p> <p>ア 水資源調査の進捗状況は</p> <p>(2) 社会基盤整備関連について</p> <p>① リニア駅周辺整備について、「リニア駅周辺整備基本計画」策定後どのように進めていくのか</p> <p>② JR飯田線乗換新駅設置に向けて今後どのように進めていくか</p> <p>③ 国道153号線飯田北改良及び座光寺上郷道路の進捗状況は</p> <p>④ 座光寺SICの進捗状況は</p> <p>(3) 戦略的地域づくりの関連は</p> <p>① リニア未来都市ブランディング事業の取り組み状況は</p> <p>② 今後の進め方において、「いいだ未来デザイン2028」とリニア推進ロードマップとの関係は</p> <p>3 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくりについて</p> <p>(1) 産業振興と人材育成の拠点整備を着実に推進し、産業振興に寄与させる取り組みは</p> <p>(2) 南信州・飯田産業センター機能強化についての市の考えは</p> <p>(3) 中小・小規模事業者の事業承継の取り組みは</p> <p>(4) 大筋合意した環太平洋連携協定(TPP11)の影響、今後の取り組みについて</p> <p>① この度のTPP11の大筋合意による飯田市への影響はどうか</p> <p>② 飯田市の農業の生産性の向上と競争力の強化の取り組みは</p> <p>③ 農業振興センターを核とし、農地を維持し産業経済として成り立つ姿からバックキャストした農業のあるべき姿を農業振興ビジョンにどう描くか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	村松 まり子	<p>4 包み支え合う「社会的包容力」の構築を目指して</p> <p>(1) 高齢化社会への取り組みは</p> <p>① 本市の高齢者の現状及び2025年までの推移の見通しと、介護従事者の確保の現状及び見通しはどうか</p> <p>② 在宅医療・介護連携の取り組み状況と今後の取り組み方針は</p> <p>(2) 子どもを産み育てやすい環境の充実について</p> <p>① 妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援する体制の取り組み状況は</p> <p>② 人口の将来展望を直視するとき、また、地方創生のねらいを考えあわせた時、国の幼児教育・保育料の無償化の動向に先立って第2子以降の保育料の無料化を図るべきと考えるがどうか</p> <p>(3) 医療の充実と心と体の健康づくりについて</p> <p>① 飯田市立病院経営について</p> <p>ア 「地域医療構想」策定に伴う飯田市立病院の対応は</p> <p>イ 今までの「現飯田市立病院中期計画」の進捗状況は</p> <p>ウ 30年度診療報酬改定の影響は</p> <p>② 児童・生徒へのがん教育の取り組み状況は</p> <p>③ 保険者によるレセプト・健診データ等を活用したデータヘルス計画の推進状況は</p> <p>④ ヘルスケアポイントの付与等のインセンティブ措置の導入など、個人の予防・健康づくりの推進の考えは</p> <p>(4) 地域が共生する社会の構築について</p> <p>① 地域の自立性主体性を発揮させるため、パワーアップ交付金の見直しを前向きに検討すべきと考えるがどうか</p> <p>② 人口減少、少子高齢化が進行する中において、自治会による公園の管理、街路樹の落ち葉清掃などのあり方、家庭ごみの出し方、など先を見通して考えてはどうか</p> <p>5 持続可能な教育環境の整備について</p> <p>(1) 中学校教師の部活動における長時間労働について</p> <p>① 本市の中学校部活動における長時間労働の実態とその管理はどのように行われているか</p> <p>② 昨年6月文部科学省からの「学校現場における業務の適正化に向けて」等の通知に対する市の検討内容と対策は</p> <p>(2) プログラミング教育について</p> <p>① 本市の現状とこれからの取り組みは</p> <p>② 今後のプログラミング教育を進めるうえでの環境の整備は</p> <p>6 ワーク・ライフ・バランスの更なる推進について</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスの具体的な取り組みは</p> <p>(2) 今後、地域を挙げてワーク・ライフ・バランスをどのように推進していくか</p>
4	木下 容子 (市民パワー)	<p>1 リニア中央新幹線開通を見据えたまちづくりについて</p> <p>(1) 伊那谷自治体会議で協議されたリニア駅と伊那谷各地とを結ぶ移動の考え方について</p> <p>① 来訪者の視点、居住者の視点から見た移動方法が示されたが具体的にはどのようなものか。また、今後の方向性は</p> <p>② JR飯田線乗換新駅設置計画について</p> <p>③ 知事から駅周辺にヘリポート設置に対する問いかけがあったと聞くが、市にその考えはあるか</p> <p>(2) 県が首都圏や中京圏で企業への調査を実施したが、その結果をどう考えるか</p> <p>2 人づくりの教育政策について</p> <p>(1) 小規模特認校指定について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木 下 容 子	<ul style="list-style-type: none"> ① 今回、上村小学校を指定した「小規模特認校」とはどんな制度でどのような目的で行うか ② 具体的な取り組み方法は (2) 平和教育の推進について <ul style="list-style-type: none"> ① 平和教育の必要性をどう考えるか ② 満蒙開拓平和記念館を活用した平和教育の現状はどうか (3) スマートフォン、携帯電話などが子どもたちにもたらす影響と対策について 3 保健・医療・介護・福祉の充実について <ul style="list-style-type: none"> (1) 「医療介護総合確保推進法」の現状について <ul style="list-style-type: none"> ① 2014年に「医療介護総合確保推進法」が施行され、様々な施策が動き出したが、飯田市における取り組みの現状はどうか ② 超高齢化を迎えるこれからの社会では、医療と介護の連携を強化することが重要と考えるがどうか ③ 市立病院に設置された地域包括ケア病棟の目的と具体的な役割はどうか
5	後 藤 庄 一 (日本共産党)	<ul style="list-style-type: none"> 1 市長の政治姿勢と新年度予算編成について <ul style="list-style-type: none"> (1) 市長の政治姿勢について <ul style="list-style-type: none"> ① 市政運営全般が日本国憲法の精神を生かしたものになっているか <ul style="list-style-type: none"> ア 特に福祉や納税の窓口では、市民の困難に向き合った対応ができているか ② 地域自治組織の運営をさらに支える考えは <ul style="list-style-type: none"> ア 自治組織をさらに発展させるため、また役員の活動をしやすくするため、まちづくり専任の職員を自治振興センターに配置してはどうか ③ 「地域福祉計画」を実行して行くための市長の決意は <ul style="list-style-type: none"> ア NPOなどの団体等への支援をどう考えるか (2) 平成30年度の予算編成について <ul style="list-style-type: none"> ① 市財政について、今後人口減少に対応した財政にすべきと考えるがどうか ② リニア中央新幹線計画について <ul style="list-style-type: none"> ア JR東海に対する市民の不安や不満に市としてどう対応するか イ リニア駅周辺整備にあたって必要なものから整備する考えは ③ 暮らして良かったと実感できる福祉・医療行政について <ul style="list-style-type: none"> ア 低所得者への日常生活支援策として「灯油代」の助成をしたらどうか イ 来年度から介護保険事業第7期が始まるが、介護保険料に対する考えは、また、在宅介護に対する市としての考えは ④ 子どもたちの健全な発達のための学校教育について <ul style="list-style-type: none"> ア 「ICT」活用は子どもの成長にどう影響するか、また、教師の負担は ⑤ 地域内で循環する経済の構築について <ul style="list-style-type: none"> ア 「中小企業振興基本条例(仮称)」を制定し、域内に多数を占める中小零細企業の振興策を図ってはどうか イ 「公契約条例」の制定が緊急の課題と捉えているが、状況は ウ 地域農業の現状とこれからの見通しは <ul style="list-style-type: none"> i 中小農家や兼業農家への支援策をどう考えているか ii 遊休農地対策は、景観保全や農業の持つ多面的な機能などをどう働かせていくかが重要であると考えているが、市としての考えは

No.	氏名	項目・要旨
1	福澤克憲 (市民パワー)	<p>1 働くことを軸とする安心社会の実現に向けて</p> <p>(1) 非正規雇用労働者の現状と課題をどう考えるか</p> <p>(2) 飯田市の生活保護世帯の動向は</p> <p>(3) 生活困窮者自立支援制度について</p> <p>① 生活就労支援センター「まいさぼ飯田」の運営状況は</p> <p>② 任意事業の取り組みは</p> <p>③ 関係部署の連携は</p> <p>(4) 事業者・労働者への支援について</p> <p>① 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法、女性活躍推進法等に基づく事業所への支援は</p> <p>② ワーク・ライフ・バランス実現に向けての取り組みは</p>
2	岡田倫英 (会派のぞみ)	<p>1 ポストAVIAMA、人形劇のまちづくりについて</p> <p>(1) AVIAMA総会に向けた取り組みは</p> <p>① 準備の状況は</p> <p>② 総会を機に、飯田市が“アジアのハブ都市”を担っていく考えはどうか</p> <p>③ 総会参加者に特に伝えたいポイントは何か</p> <p>ア 飯田市は“人形劇のまち・飯田”にどのように関わってきたか</p> <p>(2) 人形劇のまちづくりを今後どのように支えていくか</p> <p>① いいだ人形劇フェスタのサポートスタッフの充足状況はどうか</p> <p>ア スタッフ確保のために市としてさらに関われないか</p> <p>② 「工作室」の環境改善を図る考えはどうか</p> <p>2 太陽光パネルの使用済み対策について</p> <p>(1) 市内における太陽光パネルの状況は</p> <p>① 設置の状況は</p> <p>② パネルの機能停止後、リサイクルや廃棄にかかる市の対応は</p> <p>③ 非住宅用パネルの放置予防策を講じてはどうか</p> <p>ア “空き太陽光パネル”を防ぐため、責任所在の追跡ができる仕組みはどうか</p>
3	古川仁 (日本共産党)	<p>1 飯田市の個人番号の扱いについて</p> <p>(1) 飯田市役所の職員の個人番号をどのように扱っているか</p> <p>(2) 各事業所宛での「住民税特別徴収額の決定通知書」について</p> <p>① 個人番号を記載した経緯は</p> <p>② 漏洩する原因と考えるがどうか</p> <p>2 飯田市の教育について</p> <p>(1) ふるさと飯田を思う心を育てるためにどのような教育をしているか</p> <p>① コミュニティスクールとの関係は</p> <p>② ふるさとを思う心を育むのに地域の行事や伝統芸能・お祭りが効果的と考えるがどうか</p>
4	木下徳康 (会派のぞみ)	<p>1 公共施設マネジメントについて</p> <p>(1) 進捗状況について</p> <p>① 公共施設マネジメント基本方針の意義と進め方は</p> <p>② 現在の進捗(検討)状況はどうか</p> <p>(2) 公共施設マネジメントと「いいだ未来デザイン2028」との関連性をどう考えるか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	木下 徳康	2 ホール施設とコンベンション機能について (1) 市長が考えるコンベンション機能とは何か (2) 市内の3つのホール施設についての検討状況はどうか (3) ホール施設とコンベンション機能をどう考えるか (4) 今後のスケジュールは
5	小林 真一 (公明党)	1 高齢者の交通手段について (1) 高齢者ドライバーの現状についてどう考えるか ① 市内の高齢者ドライバーの事故の状況は ② 高齢者の運転免許証自主返納への取り組みは ③ 交通安全と公共交通の各所管での連携は (2) 中心市街地以外の公共交通の現状をどう考えるか ① 高齢者の公共交通利用の実態把握は 2 市民バス、乗合タクシーの運行の現状について (1) 運行ルート、運行時間の現状はどうか ① 運行ルート、運行時間の見直しは、どのような手順とサイクルで行っているか ② 高齢者などの住民ニーズをどのように反映しているのか (2) 5年、10年先の三遠南信自動車道、リニア中央新幹線等の交通網の発達を見据えたあり方はどうか ① 観光客を見据えた市民バスの利用は考えられないか ② AIやICTなどを活用した新しい公共交通の研究を始める必要があると思うがどうか
6	塚平 一成 (会派のぞみ)	1 認知症理解への啓発活動について (1) 昨年より飯田で開催されている「RUN伴 ^{とも} 」について ① 開催の意義と成果をどのように捉えているか ② 市としてはどのように関わっているか ③ 今後の協働体制についてどう考えるか (2) 認知症サポーター制度について ① 市内のサポーターおよびキャラバンメイトの現状は ② 新オレンジプランで、サポーターの数値目標が変更がされたが、市としてはどう考えるか ③ 今後はサポーターの養成だけでなく、活躍にこれまで以上に重点をおくとしているが、どのように取り組むか (3) 認知症理解推進の観点から、次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画にどのように反映させ取り組むか 2 婚活支援体制について (1) 現在の状況について ① 市内の生涯未婚率の状況はどうか ② 現状をどのように分析するか (2) 婚活促進業務について ① 結婚相談業務の現状は ② 活動の効果はどのように捉えるか ③ 今後、県の婚活サポーター等との連携の考えは (3) 今後、都市間交流の中でも取り組む考えはどうか
7	熊谷 泰人 (会派のぞみ)	1 入札制度について (1) 工事及び業務委託の29年度に実施した一般競争入札と指名競争入札の内訳は (2) 指名競争入札について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	熊 谷 泰 人	<ul style="list-style-type: none"> ① 実施する理由は ② 応札状況は ③ 工事及び業務委託の指名基準は <ul style="list-style-type: none"> ア 同種、同程度規模の業務でも指名業者が異なるのは何故か ④ 業務委託では全て指名競争入札となっているが、その理由は ⑤ 今後見直す考えは (3) 29年度に実施した入札における落札率(予定価格に対する落札額の割合)について <ul style="list-style-type: none"> ① 工種別工事(土木、建築、上下水道等)の状況は ② 工種によって大きな差が生じる要因はなにか ③ 工事、業務委託の予定価格積算の基準は (4) 最低制限価格の設定について <ul style="list-style-type: none"> ① 業務委託の設定根拠は ② 今後見直す考えは (5) 電子入札導入の考えは (6) 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の目的、基本原則に照らし現状をどう考えるか 2 大型複合アリーナの建設について <ul style="list-style-type: none"> (1) 広域連合で県に要望しているが状況をどう把握しているか (2) 市として規模・建設場所等具体的な検討はされているか (3) 今後の対応は
8	山 崎 昌 伸 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> 1 安心・安全のまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) ミサイル発射に伴うJアラート(全国瞬時警報システム)の緊急情報への対処法は (2) 東海地震の予知は、ほぼ不可能と発表されたが、地域防災計画への影響は (3) 地震への備えにおいて、公助の果たすべき役割は <ul style="list-style-type: none"> ① 緊急時の情報伝達手段の現状と今後の方向性は ② 地震への備えについて、市民への啓発活動は十分になされているか
9	清 水 優 一 郎 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> 1 農業振興について <ul style="list-style-type: none"> (1) 農業の現状について <ul style="list-style-type: none"> ① 今年の農畜産物の生産、販売等の状況は ② 産業としての農業の変遷は ③ 農業の特徴は ④ 現状をどう捉えているか (2) 農業振興の方向性について <ul style="list-style-type: none"> ① 農業振興の目的は ② 農業振興の柱は (3) 農業振興のための具体的な取り組み状況は <ul style="list-style-type: none"> ① 農業者への支援は ② ワーキングホリデー、農家民泊は ③ 鳥獣被害は ④ 市田柿のブランディングは ⑤ 農地の有効利用は (4) 農業振興センターの役割と今後の取り組みは

(6) 本会議等傍聴状況(H29)

会 期	年 月 日	傍 聴 人 数
第1回定例会	平成29年2月23日	1
	平成29年3月7日	41
	平成29年3月8日	29
	平成29年3月23日	0
第1回臨時会	平成29年5月9日	1
	平成29年5月10日	1
第2回定例会	平成29年5月30日	1
	平成29年6月12日	63
	平成29年6月13日	100
	平成29年6月23日	1
第3回定例会	平成29年9月5日	3
	平成29年9月13日	57
	平成29年9月14日	40
	平成29年9月28日	0
第4回定例会	平成29年11月28日	4
	平成29年12月6日	7
	平成29年12月7日	22
	平成29年12月8日	44
	平成29年12月19日	1
計		416

4 市議会のあゆみ（昭和46年から）

年	議会の動き
昭和46年 (1971年)	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田の常備消防を廃止し、飯田市・鼎町・上郷町消防組合へ全面移管するための規約改正を可決 ・議長 近松宗一、副議長 今村輝男を選出 ・昭和45年から始まったコメの減反政策について多くの質問があった ・鼎、上郷との合併を積極的にすすめるよう質問があった ・中央自動車道の早期着工と四車線化を求める意見書を可決 ・中央道遺跡発掘に伴う埋蔵文化財を収蔵・展示する資料館の建設を求める質問があった ・日中国交回復を求める決議がされた ・アメリカのドル防衛措置に対して、地元産業の育成策をただす質問があった ・県下に先がけて「モーテル建築の規制に関する条例」を可決
昭和47年 (1972年)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章の制定について質問があった ・市立病院運営審査特別委員会が市立病院の総合病院化を目指す必要性を検討 ・PCBなど公害の検査機能の充実を求める質問があった ・国民体育大会のラグビー等の競技を飯田において開催できるよう県に対して陳情を行った ・飯田市公民館の全面改築を求める陳情を採択 ・乱開発による環境破壊を防止して郷土の自然を守るため、「自然環境保全条例」を可決 ・中津川線の見通しと中央新幹線構想についての質問があった ・市議会議員補欠選挙 ・松澤市政の誕生に伴い、その政治姿勢について、活発な質問がなされた ・中央自動車道関連の道路整備などを要望する質問があった ・福祉や教育施策充実を要望する質問があった
昭和48年 (1973年)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人医療費を無料化する対象年齢を69歳に引き下げる条例を制定 ・飯田に大学を設立すべきとする質問があった ・市議会議員一般選挙 議長 伊原悦雄、副議長 新井安男を選出 ・中央道開通後予想される騒音、排気ガス、電波障害等の公害対策について質問があった ・老朽化がすすむ小中学校の早期改築を求める質問があった ・オイルショック、物価高、モノ不足に対する対策を求める質問が集中 ・鼎、上郷との合併の推進を求める質問が集中 ・石油危機打開を求める意見書を可決 ・中央新幹線の早期建設と飯田への駅設置を求める意見書を可決

年	議会の動き
昭和49年 (1974年)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計予算に関して予算審査特別委員会で賛否の結論が出ず、「六月段階で措置されるよう市長に要望する」という議長斡旋で収拾され、可決 ・廃棄物の処理及び清掃に関する条例案に関して、し尿の収集料金の改定について意見が分かれ、最終日を迎えても結論が出ないため、議会の会期を延長して審査を行い、委員会修正案を可決 ・国保税率の決定にあたって、特別委員会の意見を踏まえ、市長が税率を下方修正する原案の訂正を行って可決 ・中央道開通を間近に控え、地場産業振興や観光振興策、あるいは公害対策を求める質問があった ・教育文化センター（新飯田市公民館）の建設構想について質問があった ・西部統合中学の計画について、地元対策をたただす質問があった ・東中学校の火災で緊急に議会全員協議会が開かれた ・飯田市民の消費生活を守る条例を可決
昭和50年 (1975年)	<ul style="list-style-type: none"> ・中央道の恵那山第二トンネルの早期着工を求める意見書を可決 ・中津川線の建設見通しをたただす質問があった ・議長 伊原悦雄、副議長 林 昌平を選出 ・中央道開通に伴う飯田 I C 周辺の道路整備、公害対策、観光開発、産業振興策について多くの質問がされた ・窮迫した地方財政のもとでの市行政について集中論議が行われた ・開通した中央道の恵那山、網掛トンネル前後の40キロ規制の緩和を求める意見書を可決 ・風越高校の跡地利用について質問があった ・中央道の騒音公害対策や天竜峡付近の交通渋滞の解決を求める質問があった
昭和51年 (1976年)	<ul style="list-style-type: none"> ・深夜から未明に及ぶ議会において、市議会議員の定数をそれまでの36名から30名に減少する条例が可決された。一口に「暁の本会議」と言われている ・市長が提案した国保税率の引上げ率が下方修正して可決 ・付加価値税新設に反対する意見書を可決 ・工場再配置補助金問題調査特別委員会と駅前観光案内所問題調査特別委員会を設置 ・市議会議員補欠選挙 ・ニホンカモシカの食害対策を求める意見書を可決 ・風越高校跡地利用に関して、警察署の建設と、東中学校の建設を求める陳情が出され、その対応で慎重な審査がされた ・メッキ工場の建設を求める質問があった

年	議会の動き
昭和52年 (1977年)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人医療費特別給付金の一部改正条例を修正可決 ・市議会議員一般選挙 議長 林 昌平、副議長 松江良夫を選出 ・広域水道の統合について質問があった ・飯田駅前再開発を求める質問があった ・円高不況対策について質問があった
昭和53年 (1978年)	<ul style="list-style-type: none"> ・長姫高校の移転を想定した跡地利用について質問があった ・水道事業の統合が特別議決をもって可決 ・中央新幹線・中津川線建設促進特別委員会を設置 ・市立図書館の改築について質問があった ・合併促進特別委員会が設置された ・国道153号線バイパスの建設促進を求める意見書を可決 ・中学生が教師を殴打した事件について質問が集中
昭和54年 (1979年)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人医療費の無料化を65歳までとする条例を可決 ・国際児童年に対する取組について質問があった ・議長 林 昌平、副議長 片桐 勲を選出 ・地震防災対策強化地域の指定に関して質問があった ・駅前、知久町、銀座、本町など旧市街地の再開発について質問があった ・果樹共済制度の改善に関する意見書を可決 ・モデル定住圏の指定に関して質問があった ・県営野球場の誘致と総合運動公園の整備について質問があった ・一般消費税創設反対に関する意見書を可決 ・市立病院の総合病院化について質問があった
昭和55年 (1980年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国鉄経営再建促進特別措置法案の見直しを求める意見書を可決 ・中津川線を断念し、中央新幹線建設促進に乗換えたらどうかとする質問があった ・土地買収に関する土地開発公社の不手際等について調査特別委員会を設置 ・大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の自主的平和統一に関する意見書を可決 ・カモシカの食害防止策についての意見書を可決し ・西部統合中学の改築計画の進捗状況について質問があった ・土地開発公社をめぐる不祥事について質問が集中 ・アメリカシロヒトリの防除対策について質問があった ・B型肝炎への対策について質問があった ・市議会議員補欠選挙

年	議会の動き
昭和55年 (1980年)	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土の返還促進などを求める意見書を可決 ・川路、龍江の天竜川流域の災害危険区域条例撤廃に関して質問があった
昭和56年 (1981年)	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業振興センターの建設について質問があった ・市議会議員一般選挙 議長 林 昌平、副議長 松江良夫を選出 ・国際障害者年に際しての取組について質問があった ・中央新幹線、飯田線の強化、中津川線問題を審議する鉄道問題特別委員会を設置 ・婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する条例の早期批准を求める意見書を可決 ・国鉄飯田線の合理化計画撤回等に関する意見書を可決 ・若者が定着できるよう企業誘致条例の復活を求める質問があった ・地元との調整が長引く西部統合中問題について、多くの質問があった
昭和57年 (1982年)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時議会において、伊賀良と山本の両中学校を統合し、昭和60年に新たに西部中学校として発足することが可決 ・長姫高校跡地のあり方について質問があった ・統合中学の進捗状況について多くの質問があった ・A議員の問責決議案が可決 ・市民の直接請求による西部統合中学校を廃止する条例案を否決 ・飯田市・鼎町合併協議会の設置を可決 ・飯田線の分割・民営化反対に関する意見書を可決
昭和58年 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> ・市立病院の経営改善と改築について審査するため、病院問題特別委員会を設置 ・飯田市農協、中央農協の合併の推進について質問があった ・議長 松嶋健次、副議長 平沢與一を選出 ・農畜産物輸入自由化、枠拡大阻止に関する意見書を可決 ・大中型店の出店の動きと丘の上商店街の活性化について質問があった ・美術博物館の構想について質問があった ・コンピューター導入に伴うプライバシー保護の問題、あるいは情報公開制度について質問があった ・西部統合中学校の名称を「旭ヶ丘中学校」とする条例改正案を可決 ・10万都市実現のため、鼎、上郷との同時合併を求める質問があった ・9月28日の10号台風による災害復旧を検討するため、緊急に臨時議会が開かれ10号台風災害対策特別委員会と、天竜水系治水災害対策特別委員会を設置

年	議会の動き
昭和58年 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> ・40人学級早期実現に関する意見書を可決した ・松くい虫対策について質問があった ・川路、龍江、竜丘の災害危険区域に関する今後の対応について質問があった
昭和59年 (1984年)	<ul style="list-style-type: none"> ・三遠南信自動車道の実現の可能性について質問があった ・非核平和都市宣言を可決 ・人種差別撤廃条約の早期批准に関する意見書を可決 ・天竜川治水対策と天竜峡の景観保全について質問があった ・鼎町との合併に関する議案審議のため臨時議会が開かれ、12月1日の合併を全会一致で議決 ・市職員に60歳の定年制を導入する条例を可決 ・国鉄の分割民営化反対に関する意見書を可決 ・市議会議員の定数を31名に減少する条例を可決 ・新しい街づくりの中での鼎地区の位置付けについて質問があった ・天竜川の恒久的な治水対策を求める意見があった ・テクノハイランド構想について質問があった
昭和60年 (1985年)	<ul style="list-style-type: none"> ・スパイクタイヤの粉じん公害について質問があった ・上郷町との早期合併を求める質問があった ・市議会議員一般選挙 議長 松嶋健次、副議長 平沢與一を選出 ・指紋押捺問題に関連して、外国人登録法の改正に関する意見書を可決 ・ゴミ焼却場移転問題について質問があった ・国鉄飯田線の分割民営化の動きに関して質問があった ・若者の定住対策と企業の育成策について質問があった ・路線バスの廃止問題が質問された ・鼎との合併一年後の評価について質問があった ・学校の「いじめ」問題について質問があった ・世界人形劇フェスティバル開催(1988年)に名乗りを上げることの質問があった ・婦人の地位向上のための施策について質問があった ・高齢化が一層すすむ中で、在宅福祉について質問があった
昭和61年 (1986年)	<ul style="list-style-type: none"> ・上郷町との合併に向けた取組について質問があった ・コンピューター専門学校の建設費について質問があった ・市立病院の赤字と院長人事問題で特別委員会を設置 ・院長解任に伴う市立病院の正常化について質問があった ・大型間接税の導入は慎重に対処すべきという旨の意見書を可決

年	議 会 の 動 き
昭和61年 (1986年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国引き揚げ孤児の定住援護策について質問があった ・ 美術博物館の性格と財源について質問があった ・ 公文書の公開条例と、個人情報の保護条例を可決 ・ 暴力団追放都市宣言を可決 ・ 飯田工業高校の移転に伴う跡地利用について質問があった
昭和62年 (1987年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上げ税導入に反対する意見書を可決 ・ 美術博物館建設特別委員会を設置 ・ 中央新幹線、三遠南信自動車道の建設促進について質問があった ・ エイズ対策について質問があった ・ 議長 平沢與一、副議長 細田直彦を選出 ・ 屋外広告物に係る環境美化等に関する条例を可決 ・ 老人福祉の中間施設の計画について質問があった ・ 市政50周年記念事業として、中学生による子ども議会が開かれた ・ 市立病院の移転決定と、地元対策について質問があった ・ 世界人形劇フェスティバルの準備状況と、シャルルヴィル・メジエール市との姉妹都市締結について質問がされた ・ 中央新幹線の飯田経由と駅舎設置に関する決議を行った ・ 東中学校の教師死亡に関して質問があった ・ 人形劇場の入札が保留になったことについて質問があった
昭和63年 (1988年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ フランスのシャルルヴィル・メジエール市と国際友好都市の締結をすることを可決 ・ 美術博物館の職員体制や、運営について多くの質問があった ・ 三遠南信自動車道の竜東地域にインターチェンジを求める質問があった ・ 新しい市立病院の整備方針（マスタープラン）を了承 ・ 上郷町との合併協議30項目を了承 ・ 天竜川治水対策、四者協議の結論を了承 ・ ギフチョウの保護対策について質問があった ・ 市議会議員補欠選挙 副議長 関島一郎を選出 ・ コメの市場開放阻止に関する意見書を可決 ・ 保育園の空き室を託老所にする質問があった
平成元年 (1989年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費税導入に関して賛成、反対の論議が集中 ・ リニア新幹線が停まるまちづくりについて質問があった ・ 市議会議員一般選挙 議長 塩澤 昭、副議長 竹村仁實を選出 ・ 土曜閉庁関連条例を可決 ・ 新市立病院建設の基本計画を了承

年	議会の動き
平成元年 (1989年)	<ul style="list-style-type: none"> ・有線放送局の不祥事に関して質問が集中 ・長野の冬季五輪招致への考え方について質問があった ・学校教育における日の丸掲揚と君が代斉唱についての考え方について質問があった ・天竜川治水対策の基本計画を了承 ・有線放送を廃止し、オフトーク通信システムを導入することを了承 ・土地利用計画の策定の必要性について質問があった
平成2年 (1990年)	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税導入を想定した新年度予算に関して賛否両論の議論が展開された ・有線放送局不正経理事件について質問が多くされた ・中国からの帰国者のために日本語学級を開設するよう質問があった ・県議会議員の飯田市区定数1名増を求める意見書を可決した ・飯田駅貨物用地跡地利用に関して質問があった ・天竜峡温泉の交通渋滞の解消、下水道の整備等について質問があった ・松尾地区の内水排除について質問があった ・登校拒否児童への適切な指導を求める質問があった
平成3年 (1991年)	<ul style="list-style-type: none"> ・議長 竹村仁實、副議長 松江良夫を選出 ・竜東地区の開発計画について質問があった ・農村集落の活性化を図る地域マネジメント事業について質問があった ・議長 實原 裕、副議長 内山照美を選出 ・松くい虫の被害が広がる深刻な事態に対して質問があった ・土地利用政策審議会の設置を求める質問があった ・りんご並木の整備構想について質問があった ・MRSA感染対策について質問があった ・看護婦養成のための高等看護学校の誘致を求める質問があった ・上郷町との合併時期について市長の政治決断を求める質問があった ・平和予算の創設を求める質問があった ・信州いいだ農協発足に伴い、行政と農協が一体となった農業振興を求める質問があった ・飯田駅貨物用地跡地取得の経過について質問があった
平成4年 (1992年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学誘致についての質問があった ・拠点都市地域の指定を目指すことについて質問があった ・学校5日制の受け皿について質問があった ・オフトークでの議会本会議中継はじまる ・若者定着と工業振興について質問があった

年	議会の動き
平成4年 (1992年)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別委員会にて大詰めの合併協議が行われた ・自然環境の保全と環境に優しい社会の実現を期して、「環境宣言」が決議された ・市役所の完全週休2日制の導入について質問があった ・エイズに対する予防啓発について質問があった ・市議会議員補欠選挙 ・上郷町と平成5年7月1日に合併することを議決した ・拠点都市指定に向けての取組状況について質問があった ・中学生の問題行動に対する指導について質問があった
平成5年 (1993年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガットにおけるコメの例外なき関税化の導入を拒否し、基礎的食料の国内自給堅持を求める意見書を可決 ・地域医療に果たす新市立病院の役割について質問があった ・中心市街地のドーナツ化現象への対策について質問があった ・市議会議員一般選挙 議長 今村八束、副議長 澤柳辨治郎を選出 ・上郷との合併関連議案68件を可決 ・コメの市場開放阻止等を求める意見書を可決 ・拠点都市の計画策定に関して、高速交通網の整備等について質問があった ・上郷合併に伴う議員の増員選挙が行われ、5名が市議会議員に仲間入りした ・シャルルヴィル・メジエール市のロジェマス市長が市議会を表敬訪問された ・地方拠点都市地域整備促進特別委員会を設置 ・みどりの基金創設について質問があった ・県営サッカー場の誘致について質問があった ・不況下での産業振興策について質問があった ・天竜川流域にカヌー競技施設の建設を求める意見書を可決 ・地方分権の実現を求める意見書を可決 ・コメの市場開放を阻止し、抜本的農業施策実現を求める意見書を可決
平成6年 (1994年)	<ul style="list-style-type: none"> ・飯伊広域行政組合設立に伴う関連議案を可決 ・4年制大学の誘致について質問があった ・市町村の共同出資のバス運行について質問があった ・環境、文化、情報化、公共施設の4つのテーマで政策調査研究部会が発足 ・三遠南信地域に首都機能の移転を目指せという質問があった ・サッカーくじ法案化について質問があった ・農業集落排水事業実施区域の拡大を求める質問があった ・不況下において女性の雇用を守ることを求める質問があった ・12年ぶりの水道料金値上げを、建設委員会が3日間にわたる審査のうえ賛成多数で可決した。

年	議 会 の 動 き
平成 6 年 (1994年)	<ul style="list-style-type: none"> ・北信越市議会議長会産業・経済対策特別委員会が天竜峡で開催 ・議会だより100号記念号発行 ・今村八束議長が友好都市シャルルヴィル・メジエール市（フランス）を訪問 ・市民の生活環境の確保と市土の均衡ある発展を図るための国土利用計画（飯田市計画）を可決 ・水道料金を12年ぶりに改定。平均アップ率18・7%を三日間の審議の末に可決 ・上郷町との合併により、新たな議員定数を調査研究する「議員定数問題調査特別委員会」を設置
平成 7 年 (1995年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回臨時会において、今村八束議長・松島年一副議長を選出 ・「中国の核実験に抗議し、フランスの核実験再開中止を求める決議」を可決し両大使館に意見書を送付 ・飯田市における政治倫理の確立のため「市長の資産等の公開に関する条例」を可決。これにより市長は資産等の報告書の作成が義務付けられ、閲覧請求が可能になった ・上郷町編入合併に伴い5人増の36人となっていた議員数を定数31人にすることを議決
平成 8 年 (1996年)	<ul style="list-style-type: none"> ・全議員による「基本構想審査特別委員会」を設置、第四次基本構想・基本計画「環境文化都市を目指して」を可決 ・第 2 回定例会において「第四次基本構想に基づく組織機構改革案」を否決。この採決をめぐり最大会派の明政会が分裂し過半数を割ることとなった。この議案は第 3 回定例会で一部修正のうえ再提案され起立採決の結果賛成多数で可決 ・飯田市はあらゆる人権侵害の根絶を誓うため、「人権尊重都市宣言」を可決 ・「病原性大腸菌O157による食中毒対策に関する意見書」を国関係機関に提出 ・市議會議員補欠選挙で 1 人選出
平成 9 年 (1997年)	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会改選（投票率81・9%、上郷町と合併後初、特例による議員数36人から議員定数31人に） ・第 1 回臨時会において、小林利一議長・片桐司郎副議長を選出 ・市立病院と高松病院の機能、役割分担を検討するために「病院問題特別委員会」を設置 ・風越山麓に計画された送電線建設に対して景観、電磁波、産業振興、飯田市の環境条例などの観点から第 2 回、第 3 回定例会において計 6 件の請願・陳情があり審査・市政に関する独自の調査をし、政策提言をする「政策調査研究部会」（農業振興・交通施策・観光施策の 3 部会）がスタート

年	議会の動き
平成10年 (1998年)	<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数削減に続く財政改革で、「議員の各種審議会報酬を辞退すること」を全会一致で可決。長野県下初であり、全国的にも先駆的な取り組み ・「インド並びにパキスタンの地下核実験に対する抗議の決議」を可決 ・第3回定例会において、人形劇カーニバルのあり方について活発な議論を展開 ・「大型店の元旦営業自粛に関する決議」を可決し、市内大型店に申し入れ
平成11年 (1999年)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成9年にスタートした「政策調査研究部会」が2か年の研究を報告 ・第1回臨時会において、小林利一議長・中田佳甫副議長を選出 ・ごみ処理手数料として30円から60円を負担する、「ごみ処理費用有料化」を可決 ・「公共下水道受益者負担金改定」を可決（面積1㎡当たり現行390円から520円に段階的な引上げ） ・「中心市街地総合再生特別委員会」及び「介護保険特別委員会」を設置
平成12年 (2000年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「政策調査研究部会」（地方分権・ISO・工業振興3部会）が平成12年度1か年の研究を報告 ・介護保険制度の施行に伴い関連する12件の条例を可決 ・国民健康保険税事業から介護保険への移行に伴う、「国保税の引き下げ」を可決 ・公共下水道（平均9.8%）及び農業集落排水施設（7.2%）の「使用料引き上げの改定」を可決 ・市議会議員補欠選挙で1人選出
平成13年 (2001年)	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会改選（投票率75.3%、議員数31人の内女性議員6人が誕生） ・第1回臨時会において、西尾喜好議長・牧内信臣副議長を選出 ・飯田市地域交流センター設置条例（本町一丁目に建設中の「トップヒルズ本町」に「りんご庁舎」を設置、及びその管理について定めるもの）を可決 ・水道料金（上水道平均4.0%・簡易水道平均2.7%）の「引き上げの改定」を可決 ・アメリカでのテロの犠牲者に対し黙祷し、「同時多発テロを強く糾弾する決議」を採択
平成14年 (2002年)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関の保有する情報の公開に関する法律が施行されたのに伴い「飯田市情報公開条例」を可決 ・暴走運転をなくし平穏な地域社会を実現するための「飯田市暴走行為を根絶する条例」を可決

年	議会の動き
平成14年 (2002年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「飯田市議会の議員の報酬等に関する条例」の一部を改正する条例を可決 (議員の月額報酬3%の引き下げ) ・「飯田市議会あり方研究会」を発足 ・「飯田市差別の撤廃と人権の尊重に関する条例」を可決 ・菱田春草筆「菊慈童」及び「牧童」を取得することを承認(取得金額3億5千万円)
平成15年 (2003年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「飯田市福祉医療費給付金条例」を可決(全県統一の自動給付方式を導入) ・第1回臨時会において、議長に岩崎和男氏・副議長に渡淳氏を選出 ・「合併特別委員会」「土地利用特別委員会」「議員定数特別委員会」を設置 ・「住基ネット関連2議案」を可決(住基カードを希望者に、1枚500円で交付するための条例改正) ・「歴史研究所条例案」を可決(市民の教育及び文化の向上発展などに寄与するための研究所を設置) ・「ごみ処理手数料の改定案」を可決(環境保全対策により経費増のため、半分を利用者が負担)
平成16年 (2004年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「市議会議員定数を4人減の27人」にすることを可決 ・「わがまちの“憲法”を考える市民会議」を5月に設置 ・「飯田市都市計画条例」の一部を改正する条例を可決 ・「わがまちの“憲法”を考える市民会議」が11月8日、岩崎和男議長に中間報告を提出 ・「合併関連2議案」を可決(飯田市・上村・南信濃村合併協議会の設置について) ・市議会議員補欠選挙で2人選出
平成17年 (2005年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「上村、南信濃村との合併関連6議案」を可決 ・市議会改選(投票率72.3%、議員数27人) ・第1回臨時会において、議長に熊谷富夫氏・副議長に林幸次氏を選出 ・「自治基本条例」「土地利用計画」の特別委員会を設置 ・「高等学校改革プランの検討に関する意見書」を県に提出(高等学校数の削減を行わないよう求める意見書) ・「個人情報保護条例」を可決 ・一般質問において一問一答方式を試験導入(一括質問一括答弁方式から、一問一答方式に変更) ・上村及び南信濃村の編入合併に伴う増員選挙(定数2、投票率82%、特例により議員定数27人から29人に)

年	議 会 の 動 き
平成17年 (2005年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会本会議の映像生中継をスタート ・ 「男女共同参画推進条例」を可決
平成18年 (2006年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「国民保護法関連2条例」を可決（武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に関連する条例） ・ 飯田市における土地利用の基本的な指針を策定「国土利用計画」（第2次飯田市計画）を可決 ・ 第5次基本構想・基本計画の策定にあたり「基本構想基本計画検討委員会」を設置 ・ 市民・議会・行政の連携により研究を進めてきた「飯田市自治基本条例」を第3回定例会で議員提出議案として全会一致で議決 ・ 飯田市の各地区に平成19年度から設置される地域自治区について、「飯田市地域自治区の設置等に関する条例案、飯田市公民館条例の一部を改正する条例」を可決
平成19年 (2007年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温泉宿舎天竜峡を飯田市が購入することを承認 ・ 「飯田市土地利用基本条例」を可決 ・ 「環境文化都市宣言」を可決 ・ 第1回臨時会において、上澤義一議長・矢澤芳文副議長を選出 ・ 議員定数の削減に向けて「議員定数特別委員会」を設置し定数を23人に決定 ・ 「第2回マニフェスト大賞審査委員会特別賞」を受賞（飯田市自治基本条例の制定までの取組みが評価される）
平成20年 (2008年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「飯田市後期高齢者医療制度に関連した条例」を可決（75歳以上の高齢者に新たな負担となるため議論が集中） ・ 「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例」を可決（子どもの支給対象を小学6年生まで引上げ） ・ 「飯田市議会の議員の定数を定める条例」を可決（平成21年4月の選挙から定数23人に決定） ・ 議会議案検討委員会に置いて、ポイ捨ての規制に関する条例制定の必要性を調査 ・ 決算認定に結びつける議会の行政評価がスタート（行政評価の手法を用い決算を認定） ・ 「庁舎検討委員会」が発足（3回の委員会を経て市側の新庁舎建設の基本的な方針案を了承） ・ 市内20地区で初の議会活動報告会を開催（市政懇談会終了後30分間）

年	議 会 の 動 き
平成21年 (2009年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「副市長の定数を1から2に改める条例」を可決 ・ 「土地利用計画特別委員会」を廃止 ・ 市議会改選（投票率64・3%、上村・南信濃村との合併特例による議員数27人から議員定数23人に） ・ 第2回臨時会において初の立候補制による正副議長選挙を実施。中島武津雄議長・清水可晴副議長を選出 ・ 「リニア中央新幹線の早期実現及び飯田駅設置実現に関する決議」を賛成多数で可決 ・ 市内を6ブロックに分け2回目の議会報告会を開催（市民487名が参加）
平成22年 (2010年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本庁舎の建替整備に向け調査研究を行うため「庁舎特別委員会」を設置 ・ 「飯田市リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金条例」を可決（リニア中央新幹線の実現に向けた取組を強化） ・ 年度内にルート決定が見込まれる中、調査研究を深めていくため「リニア推進対策特別委員会」を設置 ・ 「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例」を可決（子どもの支給対象を中学3年生まで引上げ） ・ 第3回議会報告会を開催（市民469人が参加） ・ 「飯田市地域自治区の設置等に関する条例の一部改正条例」を可決（上村及び南信濃地区を地域自治区に移行）
平成23年 (2011年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回定例会において東日本大震災支援のための22年度補正予算を可決 ・ 第2回臨時会において、上澤義一議長・村松まり子副議長を選出 ・ 東日本大震災支援のための23年度補正予算を可決 ・ 「飯田市国民健康保険条例の一部改正条例」を可決 （2年連続平均7%の増額） ・ 損害賠償に係る議会未提出案件（110件）について議会を軽視するものとして市側に改善申し入れ ・ 「第5次基本構想基本計画後期計画」を可決（人口目標10万2千人に） ・ 第4回議会報告会を開催（市民444人が参加）
平成24年 (2012年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「議会改革・運営ビジョン」を策定し新たな議会改革の取り組みとして常設の機関「議会改革推進会議」を設置 ・ 議会改革の一環として、初の「議長記者会見」を開催、委員会の自由傍聴の実現、本会議のインターネットによる映像配信を開始 ・ 新庁舎実施設計を了承

年	議 会 の 動 き
平成24年 (2012年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「第7回マニフェスト大賞最優秀成果賞」を受賞（行政評価や議会報告会の実践などが評価される） ・第5回議会報告会を開催（市民461人が参加）
平成25年 (2013年)	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会改選（投票率58・3%議員数23人） ・第1回臨時会において、林幸次議長・木下克志副議長を選出 ・常任委員会を3委員会とし、議員の複数所属をやめ単独所属とする ・より開かれた議会運営のため「広報広聴委員会」を設置 ・委員会審議において初の「議員間自由討議」を実施 ・初の政策討論会を開催（不法投棄対策について市長に提言） ・「ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例」を可決 ・「特定秘密保護法案に対する慎重な審議を求める意見書」を国関係機関に提出 ・議会の行政評価で「天竜峡温泉交流館管理事業」について、廃止を含め指定管理委託など検討を行うよう提言 ・第6回議会報告会を開催（市民510人が参加）
平成26年 (2014年)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の行政評価において「農業課合同事務所事業」の廃止、「農作物被害対策事業」「リニア推進事業」「小中連携・一貫教育推進事業」の拡大などを提言 ・天竜峡温泉交流館の指定管理者管理委託を承認 ・「手話言語法（仮称）等の早期制定を求める意見書」を国及び県の関係機関に提出 ・第7回議会報告会を開催（市民543人が参加） ・第4回定例会終了後、議場の新庁舎移転に伴う「旧議場のお別れ会」を開催
平成27年 (2015年)	<ul style="list-style-type: none"> ・初の議会出前講座を広報広聴委員会が実施（松尾小学校） ・県下初の対面式新議場で第1回定例会を開催 ・社会文教委員会が介護保険条例の一部改正に関して自由討議を実施。議案可決後に委員提案の附帯決議を可決。 ・第2回定例会から淡路結びの水引を議場に設置 ・第1回臨時会において、木下克志議長・木下容子副議長を選出 ・「長期欠席議員の議員報酬の特例に関する条例」を議決 ・「平和安全法制の慎重かつ適正な運用を求める意見書」を国及び関係機関に提出 ・「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例」を可決（支給対象を満15歳から満18歳に引上げ） ・木下克志議長が友好都市シャルルヴィル・メジエール市（フランス）を訪問

年	議会の動き
平成27年 (2015年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回議会報告会を開催（市民498人が参加） ・新教育委員会制度で初の教育長に代田昭久氏を任命することに同意
平成28年 (2016年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「飯田市議会パネル取扱要綱」、「飯田市議会災害対応指針」を制定 ・基本構想基本計画特別委員会を設置し、次期総合計画「いいだ未来デザイン2028」を審査 ・天龍峡温泉交流館建設に関し、産業建設委員会で自由討議実施後、附帯決議をつけて可決、本会議での委員長報告に対する討論を経て予算案を可決 ・地元産材のPRを目的に飯田市産ヒノキと遠山杉のネームプレートを作成し、全議員が着用を開始 ・議会だより200号記念号を発行 ・7月から9月にかけて議会による行政評価を実施（42施策、19事務事業） ・インターネットで委員会の映像配信を開始（12月12日 総務委員会から） ・第9回議会報告会を開催（9月～10月、6会場で市民554人が参加） ・議会議案検討委員会を設置し、議員提出による「飯田産の地酒及び果実飲料で乾杯する条例」を議決 ・議会出前講座を松尾小学校で実施（2回目：2月、3回目：11月）
平成29年 (2017年)	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市議会の主催による飯伊市町村議員研修会を開催。藤山 浩氏を講師に迎え、「田園回帰1%戦略」を学ぶ（1月） ・社会文教委員会が「地域ケアシステムの構築」に関する調査研究を行い、議会全体の政策討論会を経て、議会から市長へ政策提言（3月） ・産業建設委員会は、「若者定住の促進について」ほか、5つのテーマについて2年間の調査研究活動をまとめ、所管部署へ提案（3月） ・市議会改選（4月16日執行、投票率 57.95%、議員23名うち新人5名） ・議会出前講座を山本小学校で実施（6月） ・第5次基本構想の平成28年度分について議会による行政評価を実施（7月～）評価結果に基づく成果や課題を反映させるため、4月よりスタートした総合計画「いいだ未来デザイン2028」の戦略計画に対して、市長へ提言（9月） ・第10回議会報告会を開催（10月、6会場で市民582人参加）
平成30年 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会出前講座を松尾小学校で実施（1月、6年生143人） ・飯田市議会の主催による飯伊市町村議員研修会を開催。大森 彌氏を講師に迎え、「自治体議会の改革と議員の法的位置づけ」について学ぶ（1月） ・リニア推進特別委員会が、リニア駅周辺整備などをテーマとして、商工会議所支部や地域団体と意見交換会を実施（2～3月）

VI 参考資料

1 都市宣言

① 安全都市宣言

わが国における産業経済の成長と生活文化の向上は、近年著しいものがあり、わが飯田市も近代的生産都市として発展の一翼をにない、市勢も各方面にわたり伸展しつつある。反面、産業災害、交通事故、火災などの各種災害が多発し、日常生活をおびやかされていることは、憂慮にたえないところである。

もとより、災害を防止するための措置は、それぞれの分野において積極的に実施されているが、われわれはさらに進んで市民の生命尊重と、産業文化伸展の理念のもとに、各種の災害をより効果的に防止するため、飯田市各階層を一丸とする市民運動を強力に推進し市民の安全意識の高揚をはかることこそ緊要であると確信する。

われわれは、この際「国民安全の日」制定の意義に沿い、本市における産業・労働・交通・消防・教育・文化・婦人団体など各界の連携をはかり、市民生活のあらゆる面において安全を確保し、明るく住みよい都市建設を目指して、ここに飯田市を「安全都市」とすることを宣言する。

昭和36年 6月26日

飯 田 市 議 会

② 明るい選挙都市宣言

民主政治の健全を期するためには、明るい選挙が行わなければならない。即ち、民主政治の基盤は選挙にある。

本市は、さきに公明選挙都市宣言をなし、これが運動を推進し、その実績をあげつつあるとはいえ、なお、遺憾な点なしとはいえない。

よって市民の代表である、本市議会はここに決意を新たにするとともに、市民の希望と熱意を結集し、これが現実を期するため、飯田市を「明るい選挙都市」とすることを宣言する。

昭和40年 6月29日

昭和61年 6月25日（一部変更）

飯 田 市 議 会

③ 青色申告都市宣言

本市は自主申告納税の理想郷を実現するため、また市民が青色申告の本質を再認識して国民の基本的義務である納税についての思いを新たにし、かつ、その納税意欲の向上をはかって、社会経済の発展に貢献するとともに、市民相互の繁栄と幸福を築くため、ここに飯田市を「青色申告都市」とすることを宣言する。

昭和52年9月21日

飯 田 市 議 会

④ 電波障害防止都市宣言

今日の情報化社会において、テレビ・ラジオは市民生活にとって不可欠のものとなっている。

しかるに、都市の近代化による高層建築物の増加、電気設備などの高度化は電波障害を誘発する要因となっている。

当市議会は、かつて昭和41年9月、他の市町村に先駆けて「電波無雑音都市宣言」を議決し、多大の成果を得て今日にいたっている。

今後、都市の近代化がさらに進む中で発生を免れない電波障害を一掃し、市民の快適な生活環境を築くため、その宣言の精神を一層敷延化して、ここに本市を電波障害防止都市とすることを宣言する。

昭和54年12月21日

飯 田 市 議 会

⑤ シートベルトヘルメット着用都市宣言

飯田市における交通事故は激増の一途をたどり、悲惨な事故のために多くの市民がその犠牲となっており、昭和56年度における人口1万人当りの事故率は55.3人で、県下17市中第1位という極めて憂慮される事態を迎え、事故絶滅は現下の緊急課題である。

交通事故の実態を見ると、シートベルト並びにヘルメットの着用は被害の防止、軽減を図る上で大きな効果が認められているが、その着用率は未だ十分といえない状況である。交通量の増加に伴い、ますます交通事故の危険が迫る現状にかんがみ、運転者のなご一層の交通安全意識を高めるため、ここに「シートベルト並びにヘルメットの着用」を宣言する。

昭和57年12月21日

飯 田 市 議 会

⑥ 非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

しかるに、米・ソ超核大国による核軍拡競争は拡大均衡をめざすという口実でますます激化し、世界の平和と安全に重大な脅威と危機をもたらしている。

わが国は、世界唯一の核被爆国としてこの地球上に広島、長崎の惨禍を再びくりかえしてはならないと訴えるものである。

飯田市は、平和憲法の精神にのっとり、「非核三原則」を将来ともに尊重し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、もって世界の恒久平和達成をめざすものである。

ここに、飯田市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

昭和59年6月28日

飯 田 市 議 会

⑦ 振替納税推進都市宣言

期限内完納の思想の高揚をはかるため、市民が振替納税の本質を理解して国民の基本的義務である納税意識が向上し、社会経済の発展と市民相互の繁栄に貢献することを願い、ここに飯田市を「振替納税推進都市」とすることを宣言する。

昭和60年6月29日

飯 田 市 議 会

⑧ 暴力団追放都市宣言

飯田市は、美しい自然と長い歴史と伝統文化にまつまれた人情豊かなまちとして、平和で明るく住みよいまちづくりに積極的に取り組んでいるところである。

しかしながら、暴力団による不法行為は増加の一途を辿り、暴力団同志によるけん銃発砲事件も発生し、善良な市民生活が脅かされるなど、美しい郷土のイメージが損なわれことは、まことに遺憾であり、強い憤りを感じるものである。

善良な市民の平穏な日常生活と安全を守る立場から全市民の総意を結集し、暴力を是認しない地域づくりにつとめ、すべての暴力の根絶を図らなければならない。

よって、本市議会は、犯罪のない平和な住みよい郷土の建設をめざし、暴力行為を壊滅し、すべての暴力団を追放するため、ここに飯田市を「暴力団追放都市」とすることを宣言する。

昭和61年12月22日

飯 田 市 議 会

⑨ 人権尊重都市宣言

私たちは、だれもが人間らしく幸福に生きる権利を有し、だれからも尊重され、親しまれ、愛されながら豊かに暮らすことを求めています。そして、美しい自然と同様に、だれ隔てなく接する思いやりのある美しい心を持つ市民が明るく生活するまちちを目指して努力しています。

しかし、大変残念なことに、現実には偏見による差別など様々な人権侵害が存在しています。このことは、早急に解決しなければならない重要な課題です。

よって、私たちは基本的人権を正しく理解し、尊重し、人権擁護の良き実践者となるとともに、善意を広め、互いに励まし合い、手を取り合っであらゆる人権侵害を根絶することを誓うため、ここに飯田市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

平成8年6月24日

飯 田 市 議 会

⑩ 環境文化都市宣言

私たち飯田市民は、地球環境問題が人類共通の課題であることに着目し、人と自然のかかわりを見つめ直して、日々の生活から産業活動まですべての営みが自然と調和するまちづくりに、先駆的に取り組んできました。

自然環境や生活環境などを取り巻く状況が厳しさの度を増している今日、「持続可能性」と「循環」を基本にして自分たちのライフスタイルから社会の有り様に至るまでをあらためて見直し、「環境に配慮」する日常の活動を「環境を優先」する段階へと発展させながら、新たな価値観や文化の創造へと高めていく必要があります。

私たちは、かけがえのない地球にある生態系の中で自然と共生する地球市民の一員としての原点に立ち返り、先人から受け継いだ美しい自然環境と多様で豊かな文化を活かしながら、市民、事業者、行政など多様な主体の積極的な参加と行動とによって人も自然も輝く個性ある飯田市を築くことを誓い、ここに「環境文化都市」を宣言します。

平成19年3月23日

飯 田 市 議 会

2 市政提携に関する覚書

長野県飯田市（以下「甲」という）と岡山県津山市（以下「乙」という）は、市政執行の面において相互に啓発し、いっそう市政の伸展と住民福祉の向上を期するため、緊密に提携することを協定し、当面、この目的達成のため、次の事項を実行することを確認する。

記

- 1 この目的達成のため、甲、乙において作成したあらゆる行政事務資料で、相手方の参考になると考えられるものは、相互に送付するものとする。この場合は窓口は、総務課扱いとする。
- 2 甲、乙は、必要に応じて協議の上、相互に研修のため職員を派遣することができる。この派遣職員の滞在に要する経費は、それぞれ派遣する側の負担とする。ただし、執務に要する事務的経費は、委託を受けた側が負担する。
- 3 この協定書以外の特別な事項で必要があると認めるときは、その都度双方協議のうえ、決定する。

以上この協定を証するため、覚書2通を作成し、甲・乙各1通を保有する。

昭和44年3月25日

甲	飯田市長	清水重美
乙	津山市長	生末敏夫

3 友好都市締結

盟 約 書

日本国長野県飯田市とフランス共和国アルデンヌ県シャルルヴィル・メジエール市は、共に古きよき伝統を有し、人形劇芸術において重要な役割を果たしつつある。

両市の市民と市民が構成するさまざまな組織間の相互理解と友情を深めることにより、日本国とフランス共和国の親善を促進し、世界の平和に貢献することを希求し、ここに両市が友好都市として提携することを盟約する。

昭和63年8月5日

日本国 長野県
飯田市
市長 松澤 太郎

フランス共和国アルデンヌ県
シャルルヴィル・メジエール市
市長 ロジェ・マス

4 飯田市の主要年表

年 月	事 項
昭和12. 4	飯田・上飯田町合併 飯田市誕生 人口31,289人
5	第1回市議会議員選挙
6	飯田市初議会で、市長に野原文四郎氏を推挙
14. 11	市瀬泰一氏第2代目市長に就任
17. 5	市議選翼賛選挙で無投票当選
18. 8	伊那電鉄など飯田線となる
19. 12	県立飯田保健所開所
21. 4	戦後初の衆議院選挙 飯田市の人口33,772人
7	飯田駅前大火
22. 4	公選による知事、市長選。高田茂氏当選 第4代目市長に
4	飯田市大火 市街地の3分の2を焼失
23. 3	飯田市消防本部、消防署発足
26. 12	飯田市立病院開院
28. 11	りんご並木の植付始まる
29. 4	飯田長姫高校全国高校野球選抜大会で優勝
10	飯田市公民館、復興記念館開館
30. 4	市長選に松井卓治氏当選、第5代目市長に就任
31. 9	飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村、下久堅村が合併、新飯田市発足
31. 10	合併初の市議会 飯田市公民館で開催、議員数145名 合併後の市長選 松井卓治氏無投票当選
32. 4	松井市長、鼎町と上郷村へ合併を申入れる
34. 7	飯田市下水処理場供用開始。県下初、全国で6番目
35. 7	飯田市民プール完成
36. 3	川路村を合併
6	梅雨前線豪雨伊那谷を襲う 死者11人 行方不明5人
37. 10	建設大臣伊那谷の災害地を視察
11	飯田市役所新庁舎落成
38. 10	低開発地域工業開発地区に指定される
12	りんご並木後援会発足
39. 3	龍江村、千代村、上久堅村を合併
40. 7	市立病院新館落成
9	組合立、飯田衛生センター落成
12	老人ホーム川路寮開設
41. 1	市議会、地財法準用を議決
10	中央自動車道杭打式（今宮球場附近）

年 月	事 項
昭和42. 5	飯田勤労者福祉センター開館
9	飯田市議会 財政再建のため議員報酬5割削減可決
11	りんご並木15周年記念式典を行う
11	市制施行30周年記念式典を行う
43. 4	飯田市・鼎町・上郷村消防組合発足
5	りんご並木、NHK総合テレビで放映される
8	飯田市・鼎町・上郷村下水道組合発足
10	市長選に清水重美氏当選 第6代目市長に
44. 3	岡山県津山市と市政業務提携
8	36年災害復旧状況視察のため皇太子御夫妻来飯
11	飯伊地域広域市町村圏協議会発足
45. 2	飯田市・鼎町・上郷村上下水道組合発足
11	大平部落解散式
11	飯田卸売団地開設
46. 3	飯田市・鼎町・上郷町消防組合本部開設
6	名誉市民日夏耿之介氏死去 行年81才
6	市議会、生活改善推進を議決
8	りんご並木の碑除幕式
47. 4	飯田文化会館竣工
10	市長選に松澤太郎氏当選 第7代目市長に
49. 3	飯田市農業協同組合発足
5	松川ダム完成、妙琴浄水場通水式
50. 1	飯田中央農業協同組合発足
6	飯伊特別養護老人ホーム「飯田荘」完成
8	中央自動車道西の宮線開通（中津川一駒ヶ根間）
51. 2	鼎町・上郷町へ合併の申し入れをする
3	市議会議員定数を30人に削減
10	松尾終末処理場供用開始
11	飯田市公民館竣工
52. 5	飯田市総合運動場、勤労者体育センター完成
6	市民憲章制定
53. 10	第33回国民体育大会「やまびこ国体」開催（ラグビー会場）
12	飯田市基本構想、基本計画策定
54. 7	飯伊モデル定住圏地域の指定を受ける
8	人形劇カーニバル始まる
12	飯田市墓地霊園、桐林に完成

年 月	事 項
昭和55. 3	市営弓道場移転完成
4	橋北コミュニティ防災センター完成
56. 4	飯田地区広域消防組合発足（松川町・喬木村・大鹿村・豊丘村・高森町・清内路村・阿智村が加入）
9	鼎町早期に合併したいとの回答
57. 3	飯田市武道館完成
7	上郷町に再度合併の要請
8	飯田まつりに新曲「りんごん」を踊る
11	中央自動車道西宮線全線開通
12	飯田市・鼎町両議会合併協議会設置を可決
58. 1	第1回飯田市・鼎町合併協議会開かれる
3	飯田市保健センター完成
9	台風10号大きな被害を受ける
59. 2	座光寺小学校完成
3	橋南にコミュニティ防災センター完成 龍江公民館、支所完成
8	飯田市と鼎町との合併調印式
12	鼎町を合併
60. 3	天竜川治水基本協定の調印
4	旭ヶ丘中学校の開校
4	鼎町と合併後初の市議選
5	「三遠南信道路」3県レベル同盟会の設立
10	「美術博物館」基本構想委員会発足
61. 3	座光寺公民館・支所完成
8	人形劇アジア会議開催
10	飯田消防署新庁舎完成
12	北方地区土地区画整理事業着工
62. 1	飯田市立病院新副院長人事発令
2	飯田工業技術センター完成
3	イタチガ沢埋立地完成 丸山地区土地区画整理事業着工
4	飯田コンピュータ専門学校開校
8	飯田市子ども議会開催
10	市制施行50周年記念式典
11	りんご並木ヘニュートンのりんごの木、国道153号線バイパスへりんご植付
12	飯田市基本構想、基本計画策定

年 月	事 項
昭和63.	3 市道知久町中村線・国道153号線バイパス第1工区竣工
	6 飯田市・上郷町両議会合併協議会設置可決
	7 第1回飯田市・上郷町合併協議会開かれる 人形とけい塔ハミングパル並木通りに設置
	8 シャルルビル・メジュール市と友好都市提携 飯田人形劇場開館 世界人形劇フェスティバル開催
	10 飯田市美術博物館10月1日落成式 市長選に田中秀典氏当選 第8代目市長に
平成元.	3 飯田衛生施設組合 桐林クリーンセンター完成 飯田運動公園県営飯田野球場完成
	6 桐林運動広場完成
	8 アフィニスセミナー開催 山梨リニア実験線、建設正式決定 三遠南信自動車道、程野・飯田東IC間のルート公表
1.	9 伊那谷高速交通フェア開催 第2. 4土曜日の閉庁実施
	10 飯田市美術博物館開館
	11 飯田市立病院、総合病院となる
	12 飯田勤労者総合福祉センター完成
2.	3 松尾公民館・支所完成
	4 名勝天竜峡温泉利用開始
	8 新病院本体建設着工
	11 新し尿処理場着工
	12 県議定数（飯田地区）2人から3人に
3.	1 市営駐車場30分無料化
	2 テレトピアモデル都市に指定
	3 千代診療所完成
	7 飯田市斎苑完成、動物炉が新設される
	9 今田人形座が仏国で開催の人形劇世界フェスに出演
	10 飯田工業高校跡地一帯が建設省「平成記念子供のもり公園」に指定される
	12 飯田農協と飯田中央農協が合併「信州いいだ農協」が誕生
4.	2 天竜川治水対策事業起工式が行われる
	3 飯田市で初の「かなえデイサービスセンター」完成 国道153号線バイパス第2工区と飯田下山線開通 飯田運動公園弓道場竣工

年 月	事 項
平成4. 3	飯田市有線放送局閉局
4	オフトーク通信事業開始 かなえデイサービスセンター開所 飯田ふれあい農園開園
6	オフトーク通信による議会本会議生中継開始 緑ヶ丘中学校プール完成
7	新し尿処理場「飯田竜水園」運転開始 伊賀良「育良町」誕生
9	新市立病院竣工式
10	国道153号線バイパス新市立病院まで開通 新市立病院開院（外来診療開始）
12	飯田市・上郷町合併調印式 飯伊地域が地方拠点都市第一次指定される
5. 1	地方拠点都市整備計画策定室設置
2	丸山羽場第2地区区画整理事業起工式
3	男女共同参画型社会をめざして「信州飯田女性プラン」（女性行動計画） まとまる 上久堅福祉企業センター竣工
4	市役所の業務が毎週土曜日閉庁となる
6	飯田駅前にアイパーク竣工
7	上郷町を合併し、人口が106千人となる
8	人形劇カーニバル15周年を迎える アフィニスセミナー5周年を迎える
10	飯田のシンボル「りんご並木」が40周年を迎える 浜松市のフルーツパークに飯田のりんごの苗木が植樹される また両市の美術館で所蔵品の交換展を開催 特別養護老人ホーム第二飯田荘が開所
12	飯伊地方拠点都市地域基本計画が知事承認を受ける
6. 2	三遠南信地域の振興を考える「三遠南信サミット」が浜松で開かれる 天竜川治水対策事業、龍江側で盛土工事本格着工
3	三遠南信自動車道「矢筈トンネル」供用開始 山本公民館、支所竣工
4	今田人形の館竣工 飯伊広域行政組合発足 オフトーク通信事業の放送業務を民間委託
6	ゆとり宣言都市指定モニュメント「ゆとり創造の樹」完成

年 月	事 項
平成6. 9	飯田市議長が友好都市フランスのシャルルビル・メジエール市を訪問
10	飯田市議会だより100号記念発行 飯田市総合運動場全面改修工事竣工
12	国土利用計画（飯田市計画）策定議決
7. 2	中心市街地から「西友」撤退 阪神大震災被災地へ支援 飯田市下水道整備計画策定
4	北部・竜東デイサービスセンター開所 天竜峡活性化センター「あざれあ」開館
7	飯田運動公園プール「アクアパーク I I D A」竣工 飯田市立病院に併設の伝染病棟隔離病舎（飯伊広域行政組合）供用開始
8	戦後50年平和祈念事業を開催（8～11月）
10	「三遠南信サミット&シンポジウム i n 飯田」開催 第41回風越登山マラソン開催（7年ぶりに復活）
12	飯田市議会12月定例会で条例定数は現行31人で議決 飯田農業振興地域整備計画を変更、都市計画の用途地域も変更
8. 2	天竜川治水対策事業、川路、竜丘側築堤工事起工式 市民構成劇「かざこし姫となかまたち」上演
3	市議会本会議で「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」否決
4	飯田市農政プラン策定 第4次基本構想・基本計画「環境文化都市をめざして」策定 飯田市工業振興マスタープラン策定 飯田やまびこマーチ10周年
5	矢高共同調理場竣工
6	人権尊重都市宣言 「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」可決
7	市役所組織機構改革が実施される（7月1日より）
12	さんとびあ飯田竣工 信州飯田ふるさと大使館開館 21' いいだ環境プラン策定
9. 2	ハートヒル川路竣工
4	市制施行60周年
5	市議会改選
5	市誌編さん委員会誕生
7	太陽光発電に無利子融資

年 月	事 項
平成9. 7	エコタウン地域に指定される
8	全国夏期巡回ラジオ体操会
10	世界地方都市十字路口会議
12	J Aみなみ信州発足
平成10. 2	市民バス運行開始
2	長野オリンピック冬季競技大会開催
3	長野パラリンピック冬季競技大会開催、飯田市より2人参加
3	議員の各種審議会報酬辞退を全会一致で可決
4	天竜川治水対策・龍江側工事完成
6	飯田市役所ISO14001を取得する方針決定
	第1回飯田市藤本四八写真文化賞 (芳賀日出男さん、宮島功さん、南島孝さん受賞)
8	第20回人形劇カーニバル (20回を記念して世界人形劇フェステバル開催)
	第10回アフィニス夏の音楽祭ロストロ・ポーヰチ氏を迎え開催
平成11. 3	市議会「政策調査研究部会」報告(農業振興・交通施策・観光施策3部会の平成9年・10年度の2カ年の研究報告)
	病院問題特別委員会審査終了
	飯田工業技術研修施設・EMCセンターオープン
	りんご並木リニューアル
4	南信州広域連合発足
7	よこね田んぼ「日本の棚田100選」に選ばれる
12	ごみ処理費用負担制度開始
平成12. 1	I S O 14001認証取得
3	市議会「政策調査研究部会」報告(地方分権・I S O・工業振興3部会の平成12年度の1カ年の研究報告)
4	介護保険制度がスタート
7	丸山羽場地区区画整理事業第1地区完成
10	三遠南信パテントメッセ・EMCシンポジウムと工業技術交流相次ぐ
平成13. 1	観測開始以来の大雪に見舞われ市民生活に大きな影響が出る
3	政務調査費の交付に関する条例の制定
4	市議会改選
7	橋南第1地区再開発ビル「トップヒルズ本町」完成
8	地域交流センター「りんご庁舎」オープン
10	いいだFM開局
11	りんご並木「かおり風景100選」に選ばれる

年 月	事 項
平成14.	4 平成記念かざこし子どもの森公園開園
	9 天竜川治水対策事業完成
	10 菱田春草作「菊慈童」を購入
平成15.	1 ISO14001自己適合宣言
	3 市議会「在り方研究会」「合併問題調査研究会」報告(半年間の研究報告) 「環境首都コンテスト」人口規模別第1位、総合第4位
	5 南信州グリーンツーリズム特区取得
	8 飯田市・喬木村・上村・南信濃村の4市村、任意合併協議会設立
	10 りんご並木50周年記念事業
	12 飯田市歴史研究所オープン
平成16.	1 橋南第2地区市街地再開発ビル着工
	2 第1回ほんもの体験フォーラムin南信州の開催
	3 オーライ!ニッポン大賞グランプリ内閣総理大臣賞受賞
	3 飯田お練りまつり盛大に開催
	5 「わがまちの“憲法”を考える市民会議」の発足
	5 第12回環境自治体会議「いいだ会議」開催
	6 自治体環境グランプリ環境大臣賞受賞
	7 市立病院が地域医療支援病院として県から承認を受ける
	10 飯田市長選で、牧野光朗新市長誕生
平成17.	4 地域経済活性化プログラム2005を策定、農業課と農業委員会の事務所移転
	6 国際自転車レース「第9回ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ」を開催
	7 高校統廃合問題に関連し、鼎公民館で「高校改革シンポジウム」を開催
	10 上村及び南信濃村と合併
	10 日独地域国際化サミットを飯田市で開催
平成18.	4 飯田やまびこマーチ20回記念大会 結いターンキャリアデザイン室を設置
	6 一般廃棄物最終処分場(千代地区)の建設工事開始
	9 飯田市自治基本条例の制定
	10 橋南第二地区市街地再開発ビル トップヒルズ第二オープン
平成19.	3 第5次基本構想基本計画と環境文化都市宣言を可決 川本喜八郎人形美術館オープン 市制70周年記念式典を開催
	4 飯田市自治基本条例、地域自治区、第5次基本構想基本計画、総合的土地利用計 画、行財政改革大綱など地域の自立に向けた新しい枠組みスタート 全国さくらシンポジウムin飯田開催
	11 南信濃地域交流センター完成

年 月	事 項
平成19. 11	市議会が、「第2回マニフェスト大賞審査委員会特別賞」を受賞 飯田市自治基本条例の制定の取り組みが評価される
平成20. 4	三遠南信自動車道飯喬道路1工区(飯田山本IC～天竜峡IC)が供用開始
6	天龍峡再生元年として天龍峡百年再生館オープン
7	市政懇談会に合わせて、初の議会活動報告会を市内20地区で開催
8	北京オリンピックに、飯田市出身初の選手として矢澤一輝選手がカヌースラローム競技に出場
	人形劇のまち30年を記念して「世界人形劇フェスティバル・いいだ人形劇フェスタ2008」を開催
	アフィニス夏の音楽祭が20回をもって終了
9	市議会による行政評価が初めて行われ「施策及び事務事業に対する提言書」を市長に提出
10	飯田市・南信州広域連合・みなみ信州農協が共同で運営するマーケティングショップ「南信州ファームプロダクツマーケット」を名古屋市内にオープン、地元旬の農産物の販売や地域への産地ツアーを企画
11	市内を6ブロックに分け、2回目の議会報告会を開催、市民487名が参加
平成21. 1	飯田市が内閣府から環境モデル都市に選定
3	グリーンバレー千代(最終処分場)竣工
4	市内の商工会議所、商工会が統合され新しい飯田商工会議所が誕生
5	オーケストラと友に音楽祭開催
7	飯田下伊那市町村による定住自立圏形成協定書の合同調印式
8	市企画部内に「リニア推進対策室」が設置される
10	飯田北部地区の農免道路が開通(上郷丹保地区～高森町下市田地区) 低炭素社会実現に向け「レンタサイクル事業」開始
11	新型インフルエンザが流行
平成22. 2	メガソーラーいいだ太陽光発電所 飯田市と中部電力(株)で共同建設することについて協定を締結
3	飯田お練りまつり 約32万人 42団体が参加
4	リニア中央新幹線推進本部設置(市役所内)
5	介護保健施設ゆうゆう 竣工
6	日本の環境首都コンテスト2009(第9回)で飯田市が総合2位(昨年3位)
7	集中豪雨による土砂災害(南信濃で昭和58年に次ぐ観測史上2番目となる223mmの降水量 土砂崩れや建物の全壊、床下浸水などの被害)
9	天龍峡盆踊りが25年ぶりに復活
10	定住自立圏全国市長村長サミット2010in南信州が開催
平成23. 1	メガソーラーいいだ太陽光発電所 運用開始

年 月	事 項
平成23.	1 飯田大学連携会議「学輪IIDA」の設立
	3 東日本大震災発生。避難者の受け入れ
	3 飯田市美術博物館デジタルプラネタリウムを導入
	5 国土交通大臣が全国新幹線鉄道整備法に基づき、 リニア中央新幹線の整備計画を決定
平成23.	6 三六災害から50年。三六災害50年シンポジウム開催 日本の環境首都コンテストで「明日の環境首都賞」を受賞
	9 フランス シャルルヴィル・メジエール市に「飯田通り」誕生
	9 菱田春草没後百年 飯田市美術博物館で「没後百年記念特別展」開催
	12 第5次飯田市基本構想後期基本計画策定
平成24.	4 飯田市立動物園リニューアルオープン（ちびっこランド） 8月にはペンギン舎、10月にはコンドル舎がリニューアル
	5 エコハウスがJIA環境建築賞住宅部門で優秀賞を受賞
	7 第10回スローライフまちづくり全国都市会議（スローライフサミット）開催
	8 ロンドンオリンピックに、飯田市出身の矢澤一輝選手がカヌースラローム 男子カヤックシングルで、北京大会に続き出場
	11 市議会が、第7回マニフェスト大賞地方議会部門最優秀成果賞受賞 議会による行政評価及び議会報告会の実施が評価される
平成25.	3 東和町交差点を周辺の改良工事にあわせ、全国で初めて信号機付交差点から ラウンドアバウト方式に変更して整備
	4 「地域環境権」をうたう飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な 地域づくりに関する条例が施行
	4 市役所新庁舎建設工事着工
	8 人形劇フェスタ15周年を記念しアジア人形劇フェスティバルを開催
	9 リニア中央新幹線のルート及び飯田市内への駅設置の決定が発表される
平成26.	2 観測史上最多の積雪深81cmを記録 中央自動車道の通行止め、農業生産 施設の被害等市民生活に多大な影響を及ぼす
	3 恒川官衙遺跡（座光寺地区）が、国史跡に指定される 飯田市立病院周産期センター、がん診療・緩和ケアセンター竣工
	6 南アルプス（飯田市では上村、南信濃地区）がユネスコエコパークに登録さ れる
	10 航空宇宙産業クラスター拠点工場完成 リニア中央新幹線（品川・名古屋間）の工事実施計画が認可される
	12 市役所新庁舎完成
平成27.	1 市役所新庁舎開庁し業務を開始
	2 長野県内初の左右対面式議席の新たな議場で初めての市議会定例会を開催

	3	菱田春草生誕140周年記念事業が行われる、菱田春草生誕地公園が仲ノ町に完成、美術博物館では菱田春草の特別展、ワークショップ、シンポジウム等を開催
	4	パスポート窓口を市役所庁舎内に開設
	4	リニア中央新幹線中心線測量開始
	7	こども家庭応援センター「ゆいきっず」が開所
	9	飯田市長、市議会議長が友好都市フランスのシャルルビル・メジエール市を訪問し、AVIAMA（人形劇の友・友好都市国際協会）総会を招致、平成30年に飯田市で開催されることが決定
	10	マイナンバー制度が始まる
	10	国道152号小道木バイパスが開通
平成28.	3	数えて7年に1度の飯田お練りまつりが開催され、35万の人出で賑わう
	4	教育長に代田昭久教育長が就任
	4	高校生世代までの医療費が無料に（年度末年齢18歳以下の子ども）
	5	飯田市リニア関連事業現地事務所（相談窓口）を上郷飯沼に設置
	6	農地転用許可が市に権限移譲（6月1日付で指定市町村に指定）
	7	「市田柿」が地理的表示（GI）保護制度に県内で初めて登録される
	9	飯田産の地酒および果実飲料で乾杯する条例を市議会が提案し制定
	10	飯田古墳群が国史跡指定、恒川官衙遺跡が追加指定
	10	52年ぶり2期連続無投票で牧野光朗市長が当選。4期目の市政をスタート
	11	市役所庁舎整備事業が全て完了（平成25年4月着工）
	11	天皇皇后両陛下が私的御旅行のため飯田下伊那地域をご訪問（天龍峡、りんご並木、阿智村 満蒙開拓平和記念館）
	12	「地域ぐるみ環境ISO研究会」設立20周年記念
平成29.	4	飯田市総合計画「いいだ未来デザイン2028」スタート
	4	旧飯田工業高校施設を活用した「産業振興と人材育成の拠点」において、信州大学航空機システム共同研究講座が開講される
	4	天龍峡温泉交流館リニューアルオープン
	5	上郷北条地区のリニア駅予定地への幅杭設置が開始される
	6	「信州・伊那谷（ローカル）の個性で世界（グローバル）を惹きつけ、世界へ発信する玄関口（ゲートウェイ）」を基本理念としたリニア駅周辺整備基本計画が策定される
	8	市制施行80周年記念事業としてタイムカプセルを掘り起こし
	9	飯田市美術博物館で菱田春草記念常設展示がスタート
	10	市制施行80周年記念式典が開催される
	12	南信州広域連合稲葉クリーンセンター竣工（燃やすごみの処理が桐林クリーンセンターから移行）

飯田市市歌

堀内 敬三 作曲
宮脇 至 作詞
西條 八十 補

一、山はアルプス赤石の

峰にかがやくしらゆきを

高き心のすがたとあおぎ

かける理想よ我らが飯田

二、谷は伊那谷天竜の

あぐるしぶきにたつ虹を

清き命の泉となして

希望もえたつ我らが飯田

三、南信濃に伝統の

文化花咲く美し町

協す力にいぶきも新た

のびよ久遠に我らが飯田

飯田市歌

犬塚 利国 作詞
飯田 景広 編曲

一、山紫に水明らかに

生業栄え人皆和して

希望の光 遍く充てり

げに飯田市の輝く天地

二、南信濃の陽は照り映えて

四季行楽に名を負うところ

観光都市の誉れも添ひて

げに飯田市の輝く前途

三、落葉に残す千古の偉業

烈婦偲ぶ 不断の煙り

大儒の松風 今なお高し

げに飯田市の輝く誇り

四、ああ天恵に幸負う我等

協同進取の旗なびかせて

目指すは彼方 久遠の理想

げに飯田市の輝く使命

飯田市議会要覧 平成30年度版

発行日 平成30年6月発行

編集・発行 飯田市議会事務局
〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534番地

TEL 0265-22-4523 (直通)
0265-22-4511 (代表： 内線 5611)

FAX 0265-53-8821

E-mail igikai@city.iida.nagano.jp

URL <http://www.city.iida.lg.jp/>